Caplio

RR30

RICOH

使用説明書（使いこなしガイド）

マニュアル構成について

Caplio RR30 には、次の 2 種類のマニュアルが付属しています。

［まず，こちらをお読みください］
『使用説明書（かんたんガイド）』（紙マニュアル）



「撮影前の準備」から，「静止画を撮る」→「見る」→「パソコンで活用する」まで，Caplio RR30 を簡単にひととおり楽しむための説明書です。
ご使用の前に，まず最初にこちらのマニュアルをお読みください。

［必要に応じて，お読みください］
『使用説明書（使いこなしガイド）』※このファイルです。

Caplio RR30 のすべての機能と使いかたを説明しています。
Caplio RR30 を十分にご活用いただくために，一度最後までお読みください。また，必要なときに随時ご利用ください。

本マニュアルの読み方

マークについて
本マニュアルは次のマークを使って表記しています。



注意事項
操作上，守っていただきたい注意事項や制限事項です。



メモ
そのページに関する補足説明や，操作について知っておくと役に立つ事柄です。



用語説明
そのページで説明されている内容から，知っておいていただきたい用語をピックアップして解説しています。



参照
関連する機能のページを示しています。
なお，本文中に参照ページを「→P.xx」という表記で示している場合もあります。

目次

第１部　カメラの使いかた

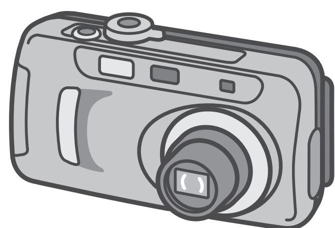
第１章　準備する

ここでは、パッケージからカメラを取り出して、撮影できる状態に
準備するまでを説明します。

同梱品を確認しよう

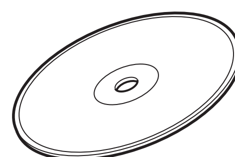
カメラのパッケージには次のものが入っています。すべて揃っているか確認しましょう。

Caplio RR30

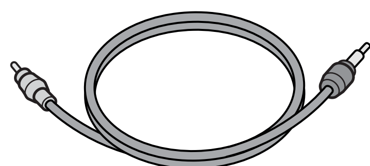


CD-ROM

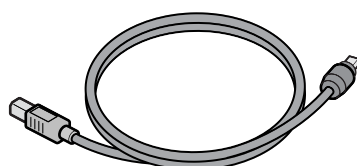
※ソフトウェアと『使用説明書（使いこなしガイド）』が含まれています。



ビデオケーブル



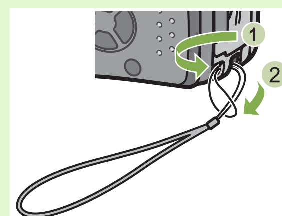
USB ケーブル



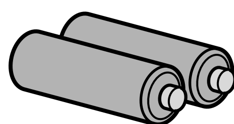


ハンドストラップの取り付けかた

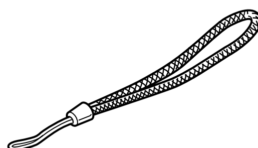
ストラップの先端を，カメラのストラップ取り付け部に通し，図のように取り付ける



単三アルカリ乾電池（2 本）



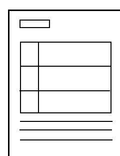
ハンドストラップ



『使用説明書（かんたんガイド）』

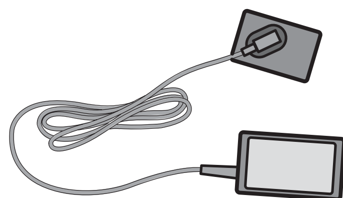


保証書 / ご愛用者登録カード

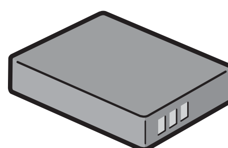


別売り品について

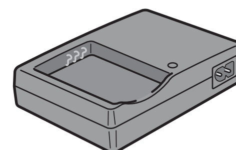
AC アダプター（AC-4a）



リチャージャブルバッテリー（DB-43）



バッテリーチャージャー（BJ-2）



- その他の別売り品：PC カードアダプター（FM-SD53），リチャージャブルバッテリー（DB-40）



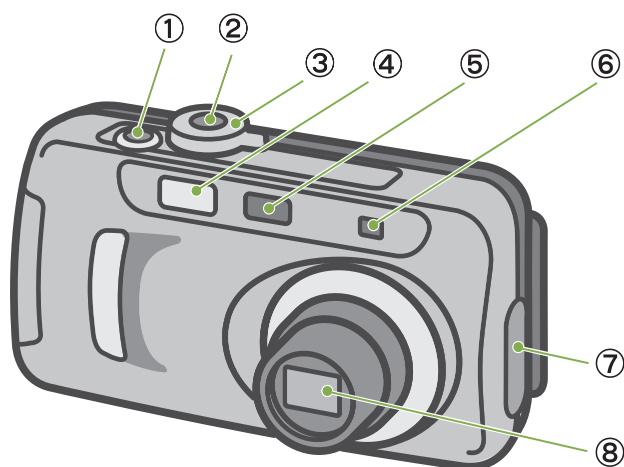
- 万一不足していたり，破損していた場合には，お買い上げの販売店へご連絡ください。
- 保証書は，内容をお確かめの上，大切に保管してください。

各部の名称

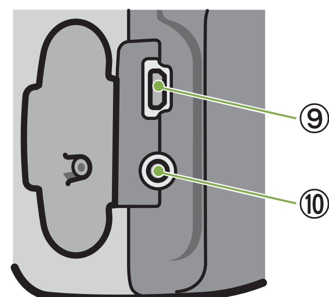
カメラの各部の名称です。本マニュアルでの説明を読む上で必要になります。ひととおり確認しておきましょう。

■カメラ本体

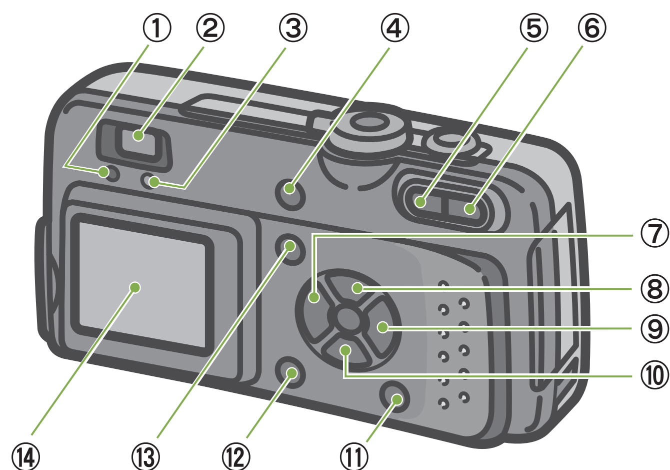
前面



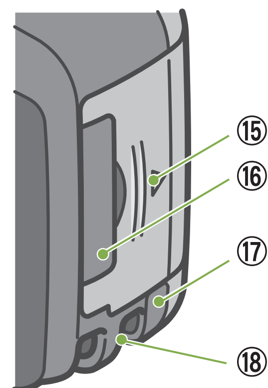
①シャッターボタン
②電源ボタン
③モードダイヤル
④フラッシュ発光部
⑤AF 窓
⑥ファインダー
⑦端子カバー
⑧レンズ
⑨USB 端子
⑩ビデオ出力端子

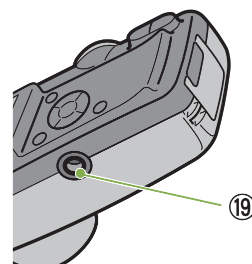


背面



①オートフォーカスランプ
②ファインダー
③フラッシュランプ
④ （削除）/ （セルフタイマー）ボタン
⑤ （広角）/ （サムネイル表示）ボタン
⑥ （望遠）/ （拡大表示）ボタン
⑦ ◀ / （クイックレビュー）ボタン
⑧ ▲ / （フラッシュ）ボタン
⑨ ▶ボタン
⑩ ▼ / （マクロ）ボタン
⑪ DISPLAY ボタン
⑫ OK ボタン
⑬ MENU ボタン
⑭液晶モニター
⑮バッテリーカバー
⑯カードカバー
⑰電源（DC 入力）ケーブルカバー
⑱ストラップ取り付け部
⑲三脚ネジ穴（底面）

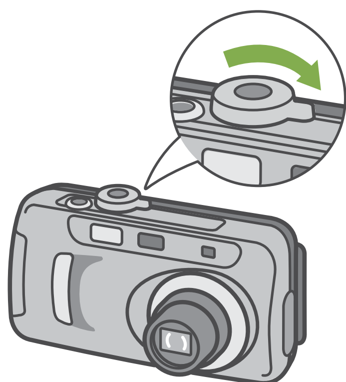




モードダイヤルの使いかた

カメラの上部にはモードダイヤルがあります。
撮影、再生（静止画を見る）、設定の変更などのカメラの操作は、このモードダイヤルを切り替えてから行います。

1 モードダイヤルを回して、使用するモードのマークに合わせる



［モードダイヤルのマークと働き］

マーク	モード名	働き
SETUP	SETUP モード（セットアップ）	カメラの設定や設定確認ができます。
動画マーク	動画モード	動画を記録できます。
SCENE	SCENE モード（シーン）	6 種類のシーンに適した撮影ができます。
カメラマーク	撮影モード	静止画を撮影できます。
再生マーク	再生モード	静止画や動画を液晶モニターで見ることができます。削除も行えます

電池をセットする

カメラには，次の電池が使用できます。用途に合わせて使い分けてください。

電池の種類	特徴
単三アルカリ乾電池（LR6）（付属）	どこでも入手しやすいので，旅行のときなどに便利です。 ただし，寒冷地などの低温環境では，撮影可能枚数が少なくなります。電池を温めて使用してください。
リチャージャブルバッテリー DB-43，DB-40（別売り）	リチウムイオン電池です。バッテリーチャージャー BJ-2（別売り）で充電して繰り返し使用できるので，経済的です。持続時間が長いので，旅行のときなどに便利です。
ニッケル水素電池（市販）	充電して繰り返し使用できるので，経済的です。充電には市販の充電器をご使用ください。

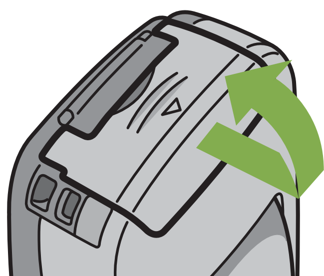
下記に撮影可能枚数の目安を示します。参考にしてください。

電池の種類	枚数	枚数（シンクロモニターモードのとき：→ P.18）
単三アルカリ乾電池（LR6）	約 50 枚	約 60 枚
リチャージャブルバッテリー	約 350 枚	約 400 枚

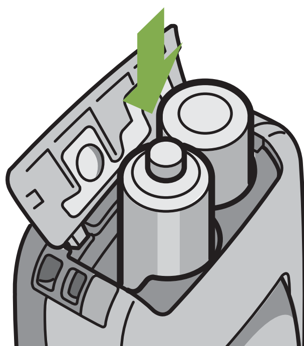
※枚数は，22 ℃，約 30 秒間隔，2 回に 1 回フラッシュを発光して撮影した場合です。
節電モードにすると，撮影可能枚数を増やすことができます。
なお，電池の他にも，AC アダプター（別売り）がご使用いただけます。

電池は、次の手順でセットします。

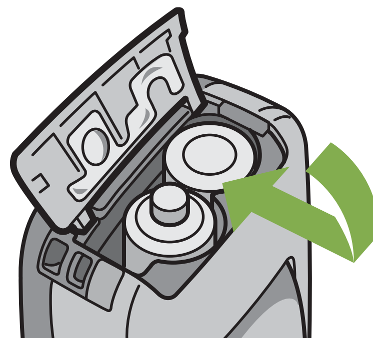
1 バッテリーカバーをスライドさせて開ける



2 電池の向きに気を付けて，電池を 2 本入れる



3 バッテリーカバーを閉じて，スライドさせる





電池が消耗したときには

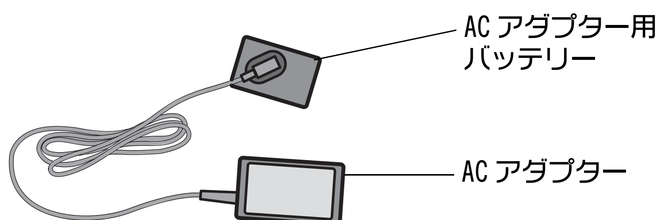
電池が消耗してくると，液晶モニターに， が表示されます。
その場合には，新しい電池を用意してください。



- マンガン乾電池（R6）およびニッカド電池は，ご使用になれません。
- 長い期間カメラをご使用にならない場合には、電池を抜いてカメラを保管してください。
- 単三アルカリ電池の場合，ご購入の電池によっては撮影可能枚数が異なることがあります。

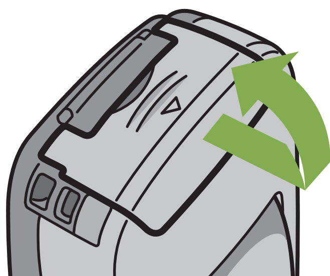
AC アダプターを使うときには

撮影や静止画を見る際に長時間使用したり、パソコンと接続する場合には、AC アダプター（別売り）を接続して、家庭用コンセントから電源をとることをお勧めします。

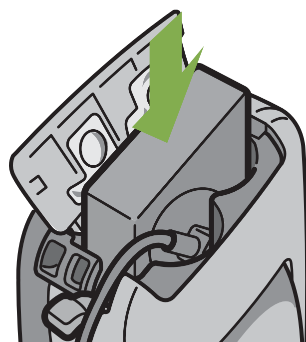


1 カメラの電源がオフになっていることを確認する

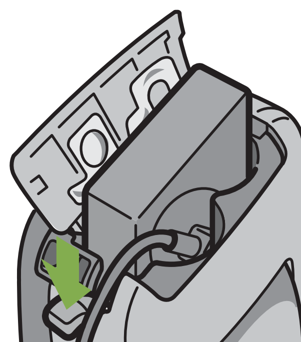
2 バッテリーカバーをスライドさせて開ける



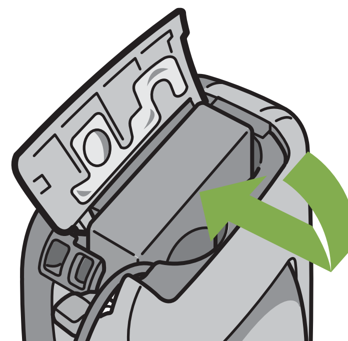
3 AC アダプター用バッテリーを挿入する



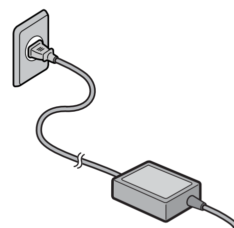
4 電源（DC 入力）ケーブルカバーを開け、ケーブルを外に出す



5 バッテリーカバーを閉じて、スライドさせる



6 電源プラグをコンセントに差し込む





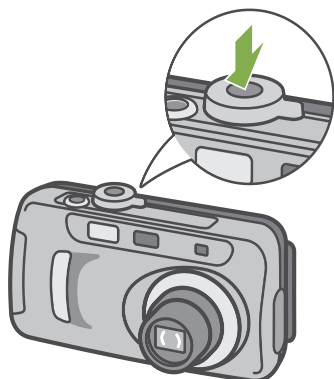
- 電源プラグや接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。
- カメラをご使用にならないときには、AC アダプターをカメラや電源コンセントから抜いておきましょう。
- カメラの使用中に AC アダプターを取り外したり、電源プラグがコンセントから抜けたりすると、データが破壊されることがあります。

電源をオン / オフする

カメラの電源のオン、オフは、次のように操作します。

■電源をオンにする

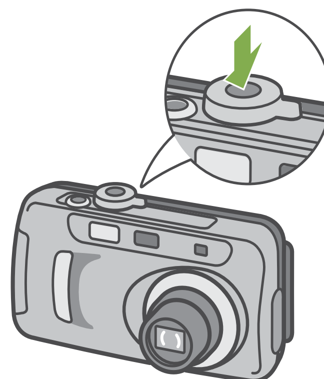
1 電源ボタンを押す



2 フラッシュランプとオートフォーカスランプが、約数秒間交互に点滅します。

■電源をオフにする

1 電源ボタンを押す





オートパワーオフについて

・ 設定した時間内にカメラのボタンを押す操作をしないと、節電のために自動的に電源がオフになります（オートパワーオフ）。引き続きカメラを使用したいときには、もう一度電源ボタンを押してオンにします。購入時のオートパワーオフは 1 分に設定されています。
・ オートパワーオフは、パソコンと接続しているときには、働きません。



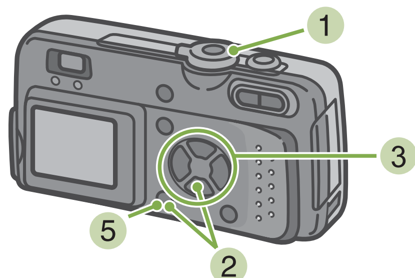
オートパワーオフ時間を変更するには→ P.97

日付時刻を設定する（日時設定）

静止画に日付や時刻を入れて撮影することができます。
購入時には正しい日時に設定されていないので、カメラを使いはじめる前に、まず日付時刻を設定しましょう。

日付時刻を設定するには、次のように操作します。

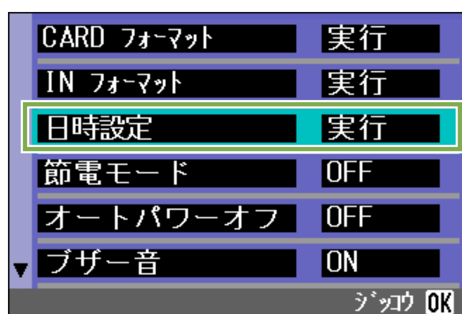
ここで使うボタン



1 電源が入っていることを確認して、モードダイヤルを SETUP に合わせる

液晶モニターに SETUP 画面が表示されます。

2 ▼ボタンを押して、［日時設定］を選び、OK ボタンを押す



3 ▲▼◀▶ボタンを押して、年・月・日・時・分を設定する

▲▼ボタンを押し続けると、高速で数値を増減させることができます。



4 ［ 書式 ］で日時の書式を選ぶ



5 画面の下部の表示を確認し、OK ボタンを押す

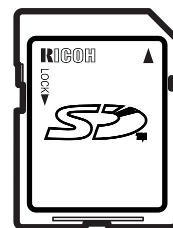
日時が設定されて、SETUP 画面に戻ります。



電池を取り出してから約 2 週間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。再度、設定しなおしてください。

SD メモリーカードをセットする

撮影した静止画や動画は、カメラ本体に内蔵されているメモリーか、SD メモリーカード（市販）に記録されます。

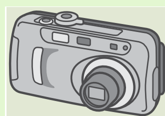


SD メモリーカードをセットしていないときには、内蔵メモリーに記録され、SD メモリーカードをセットしているときには SD メモリーカードに記録されます。
内蔵メモリーの容量は、8MB です。



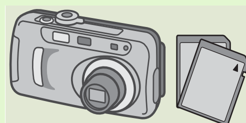
記録先について

本体のみのとき




内蔵メモリーに記録

SD メモリーカードがセットされているとき

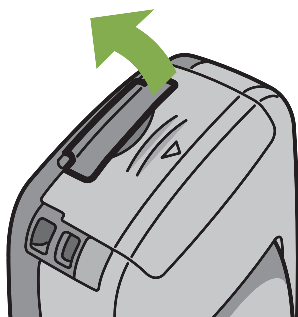



SD メモリーカードに記録

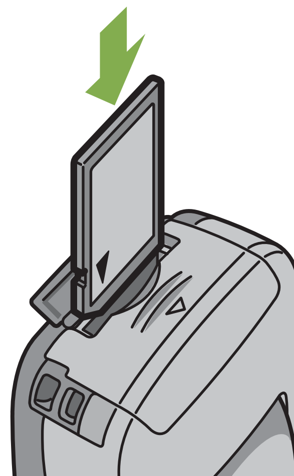
SD メモリーカードは、次のような手順でセットします。

1. 電源をオフにする

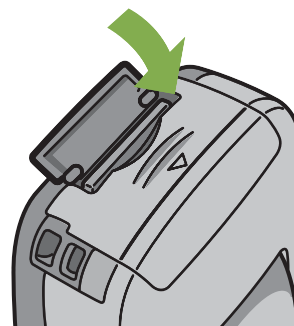
2. カメラ側面のカードカバーのくぼみに指を入れ、カードカバーを開ける



3. カードの向きに気を付けて、「カチッ」と音がするまでカードを奥へ挿入する



4. カードカバーを閉じる



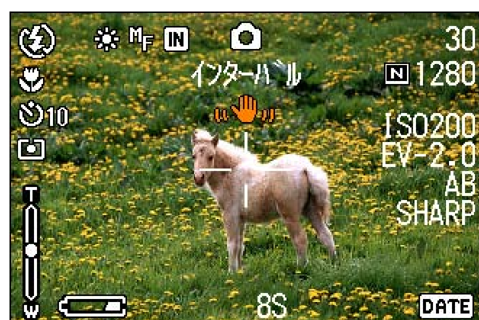


SD メモリーカードをセットする際、カードの金属端子部を汚さないように注意してください。

液晶モニターの見かた

液晶モニターは、撮影時に被写体を表示したり、撮影した静止画や動画を再生することができます。液晶モニターの画面には、カメラの状態や設定を示すマーク / 数字が表示されます。

撮影するときの画面



静止画モード



動画モード

	マーク	表示内容	参照ページ
①フラッシュ	（発光禁止）	フラッシュの発光 / 発光禁止等のモードを示します。	P.44
	（オート）		
	（オート赤目）		
	（強制発光）		
	（スローシンクロ）		
②ホワイトバランス	表示なし（AUTO）	ホワイトバランスの設定値を示します。	P.49
	（屋外）		
	（曇天）		
	（白熱灯）		
	（蛍光灯）		
	（ワンプッシュ）		

	マーク	表示内容	参照ページ
③フォーカス	表示なし（AF: オートフォーカス）	フォーカスの設定値を示します。	P.55
	MF（マニュアルフォーカス）		
	（ｽﾅｯﾌﾟ）		
	（無限遠）		
④記録先	IN	内蔵メモリーに記録されることを示します。	P.13
	SD	SD メモリーカードに記録されることを示します。	P.13
⑤モードの種類		静止画の撮影モードを示します。	P.30
		動画モードを示します。	P.39
		連写モードを示します。	P.37
		S 連写モードを示します。	P.38
		M 連写モードを示します。	P.38
		ポートレートモードを示します。	P.33
		スポーツモードを示します。	P.33
		遠景モードを示します。	P.33
		夜景モードを示します。	P.33
		文字モードを示します。	P.33
		高感度モードを示します。	P.33
⑥インターバル撮影	ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ	インターバル撮影を示します。	P.64
⑦画質	F（ファイン）	画質の設定を示します。	P.52
	N（ノーマル）		
⑧画像サイズ	（設定値）	画像のサイズを示します。	P.52
⑨ ISO 感度	（設定値）	ISO 感度の設定値を示します。	P.59
⑩露出補正	（設定値）	露出補正値を示します。	P.47
⑪シャープネス	SOFT	シャープネス（質感）の設定値を示します。	P.60
	表示なし（標準）		
	SHARP		
⑫日付 / 時刻	DATE	日付入れ撮影を示します。	P.66
⑬長時間露光	（設定値）	露光時間を示します。	P.63

	マーク	表示内容	参照ページ
⑭シャッタースピード	ー	シャッタースピードを示します。	ー
⑮絞り値	ー	絞り値を示します。	ー
⑯電池	（容量不足）	電池の残量の有無を示します。	ー
⑰ズームバー	ー	ズームの状態を示します。	P.40
⑱オートブラケット	AB	オートブラケット撮影を示します。	P.61
⑲測光方式	表示なし（マルチ）	測光方式を示します。	P.57
	（中央）		
	（スポット）		
⑳セルフタイマー	10（10 秒後）	セルフタイマー撮影を示します。	P.46
	2（2 秒後）		
㉑マクロ撮影		マクロ撮影を示します。	P.42
㉒残り記録枚数	（数値）	現在の設定で撮影できる枚数を示します。	ー
㉓残り記録時間	（数値）	現在の設定で撮影できる時間数を示します。	ー
㉔記録時間	（数値）	記録した時間数を示します。	ー
㉕メッセージ	ー	操作やカメラの状態に関するメッセージが表示されます。	ー
㉖手ぶれ注意		ピント調整時に表示されることがあります。	ー



明るすぎる環境での撮影時などでは，露出オーバーとなり露出補正もできないことがあります。その場合には，「!AE」のマークが表示されます。

再生するときの画面



静止画モード



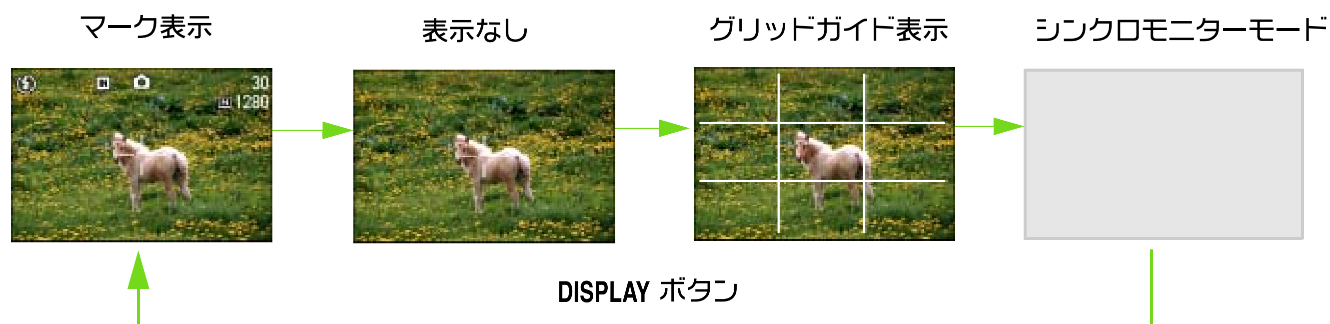
動画モード

	マーク	表示内容	参照ページ
①プロテクト		プロテクトされていることを示します。	P.85
②再生元	IN	内蔵メモリーからの再生であることを示します。	P.13
	SD	SD メモリーカードからの再生であることを示します。	P.13
③モードの種類		静止画の再生モードであることを示します。	P.74
		動画再生モードであることを示します。	P.76
④再生ファイル数		再生しているファイルの番号を示します。	－
⑤総ファイル数		記録されているファイルの総数を示します。	－
⑥画質	F（ファイン）	画質の設定を示します。	P.52
	N（ノーマル）		
⑦画像サイズ	（設定値）	画像のサイズを示します。	P.52
⑧フォルダ番号	－	ファイルが保存されているフォルダ番号を示します。	－
⑨ファイル番号	－	再生しているファイル番号を示します。	－
⑩シャッタースピード	－	シャッタースピードを示します。	－
⑪絞り値	－	絞り値を示します。	－
⑫電池	（容量不足）	電池の残量の有無を示します。	－
⑬プリント		DPOF 設定されていることを示します。	P.90
⑭インジケーター		動画の再生経過を示します。	－
⑮再生時間	（時間）	動画の再生時間を示します。	－
⑯メッセージ	－	操作やカメラの状態に関するメッセージが表示されます。	－

画面表示を切り替える

DISPLAY ボタンを押すと，マークの表示 / 非表示を切り替えるなど，画面の表示状態を変更することができます。

■撮影時



シンクロモニターモードにすると，以下のカメラ操作時以外，液晶モニターの表示がオフ（非表示）になります。節電に効果のあるモードです。

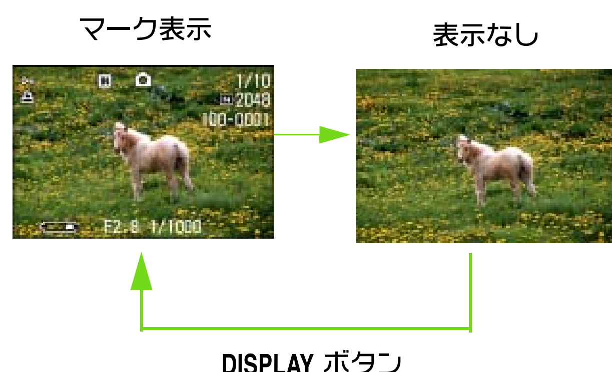
- シャッターボタンを半押しする
  液晶モニターの表示がオンになり，構図を確認することができます。全押しで撮影を終了すると，液晶モニターの表示がオフになります。
- (クイックレビュー）ボタンを押す
  直前に撮った 1 枚を見ることができます（→ P.71）。もう一度，(クイックレビュー）ボタンを押すと，液晶モニターをオフにすることができます。
- MENU ボタンを押す
  液晶モニターの表示がオンになり，いろいろな撮影方法の設定ができます（P.24）。もう一度，MENU ボタンを押すと，液晶モニターをオフにすることができます。

- (セルフタイマー）ボタン，(フラッシュ）ボタン，(マクロ）ボタンを押しても，液晶モニターの表示のオン / オフは切り替わりません。
- 液晶モニターの表示をオフにすると，節電になります。その場合，ファインダーのみで撮影します。


表示なし，およびグリッドガイド表示時は，フラッシュ，セルフタイマー，マクロボタンのいずれかを押すと，その直後の数秒間だけは，押したボタンのみ表示されます。


グリッドガイド表示について→ P.68

■再生時



ボタンの働き一覧

カメラのボタンの働きをまとめています。



電源ボタンについて→ P.11
モードダイヤルについて→ P.8
シャッターボタンについて→ P.30

ボタン	働き
（削除）/ （セルフタイマー）ボタン	撮影モードのときに押すと，セルフタイマーモードになり，セルフタイマー撮影ができます。（→ P.46）
	再生モードのときに押すと，液晶モニターに表示されている静止画や動画を削除できます。（→ P.82）
撮影モードのとき	
▲（ ：フラッシュ）ボタン	フラッシュの発光 / 発光禁止等のモードを切り替えます。（→ P.44）
▼（ ：マクロ）ボタン	接写撮影ができます。（→ P.42）
◀（ ：クイックレビュー）ボタン	直前に撮った静止画を表示します。（→ P.71）
再生モード（一枚表示）のとき	
◀ボタン	1 つ前の静止画や動画を表示します。（→ P.74）
▶ボタン	次の静止画や動画を表示します。（→ P.74）
再生モード（サムネイル表示）のとき ▲▼◀▶ボタン	上下左右の静止画（または動画）を表示します。（→ P.77）
メニューが表示されているとき ▲▼◀▶ボタン	上下左右の項目へ移動します。（→ P.24）
（広角）/ （サムネイル表示）ボタン	撮影モードのときに押すと，広角ズーム撮影ができます。（→ P.40）
	再生モードのときに押すと，液晶モニター表示が分割表示になり，静止画を一覧（6 枚ごと）にして見ることができます。（→ P.77）
（望遠）/ （拡大表示）ボタン	撮影モードのときに押すと，望遠ズーム撮影ができます。（→ P.40）
	再生モードのときに押すと，液晶モニターが約 3.4 倍まで拡大表示になります。（→ P.78）
DISPLAY ボタン	液晶モニターのマークの表示を切り替えます。（→ P.18）
OK ボタン	液晶モニターに表示されたメニュー操作（→ P.20）に使用します。
MENU ボタン	いろいろな撮影方法を設定したり（→ P.20），静止画をパソコンに取り込む操作（→ P.119）などに使用します。

画面一覧

※購入時の初期設定値は，選択肢に［　］囲みを付けています。

■撮影メニュー（撮影モード時）

撮影モードのときに MENU ボタンを押して表示する。



設定項目	選択肢	参照ページ
露出補正	-2 ～ +2	P.47
ホワイトバランス	[AUTO]/ （屋外）/ （曇天）/ （白熱灯）/ （蛍光灯）/ M（ワンプッシュ）	P.49
画質・サイズ	F2048/N2048/F1280/[N1280]/N640	P.52
フォーカス	[AF]/MF/ スナップ / ∞	P.55
連写	[OFF]/ 連写 /S 連写 /M 連写	P.36
測光方式	[マルチ]/ 中央 / スポット	P.57
ISO 感度	[AUTO]/ISO200/ISO400/ISO800	P.59
シャープネス	シャープ /[標準]/ ソフト	P.60
オートブラケット	ON/[OFF]	P.61
長時間露光	[OFF]/1 秒 /2 秒 /4 秒 /8 秒	P.63
インターバル撮影		P.64
日付入れ撮影	[OFF]/ 日付 / 日時	P.66
撮影設定初期化		P.67

■撮影メニュー（動画モード時）

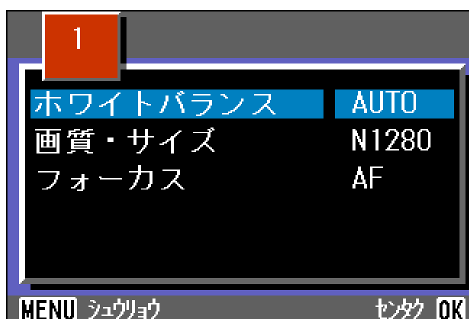
動画モードのときに MENU ボタンを押して表示する。



設定項目	選択肢	参照ページ
動画サイズ	[320 × 240]/160 × 120	P.39
ホワイトバランス	[AUTO]/ ☀（屋外）/ ☁（曇天）/ （白熱灯）/ （蛍光灯）/ Ⓜ（ワンプッシュ）	P.49
フォーカス	[AF]/MF/ スナップ / ∞	P.55

■撮影メニュー（SCENE モード時，文字モードを除く）

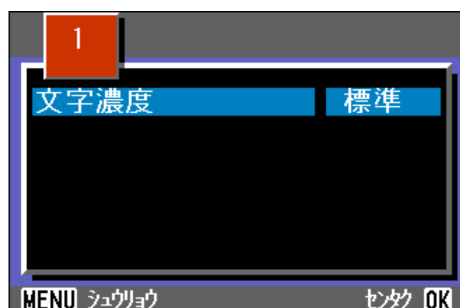
SCENE モードのときに MENU ボタンを押して表示する。



設定項目	選択肢	参照ページ
ホワイトバランス	[AUTO]/ ☀（屋外）/ ☁（曇天）/ （白熱灯）/ （蛍光灯）/ Ⓜ（ワンプッシュ）	P.49
画質・サイズ	F2048/N2048/F1280/N1280/N640	P.52
フォーカス	[AF]/ スナップ / ∞（遠景モードは除く）	P.55

■撮影メニュー（文字モード時）

文字モードのときに MENU ボタンを押して表示する。



設定項目	選択肢	参照ページ
文字濃度	濃い /[標準]/ 淡い	P.69

■再生メニュー

再生モードのときに MENU ボタンを押して表示する。



設定項目	選択肢	参照ページ
スライドショー	ON/[OFF]	P.79
プロテクト	1 ファイル選択・解除 / 全ファイル選択・解除	P.85
プリント	1 ファイル選択・解除 / 全ファイル選択・解除	P.90
CARD へコピー	――――――	P.89

■ SCENE 選択画面（SCENE モード時）

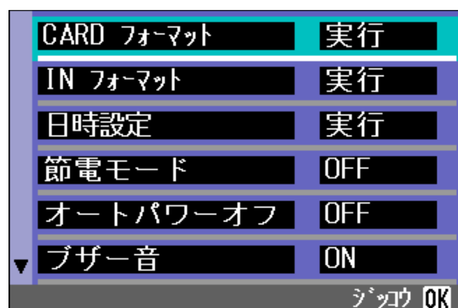
SCENE モードでシーンに適した撮影モードを選択するときに表示される。



マーク	設定内容	参照ページ
	ポートレート	P.33
	スポーツ	P.33
	遠景	P.33
	夜景	P.33
	文字	P.33
	高感度	P.33

■ SETUP 画面（SETUP モード時）

SETUP モードのときに表示される。



設定項目	選択肢	参照ページ
CARD フォーマット	――――――――	P.94
IN フォーマット	――――――――	P.95
日時設定	――――――――	P.12
節電モード	ON/[OFF]	P.96
オートパワーオフ	OFF/[1 分]/5 分 /30 分	P.97
ブザー音	[ON]/OFF	P.98
CARD 連続 No.	ON/[OFF]	P.99
画像確認時間	OFF/[1 秒]/2 秒 /3 秒	P.100
LCD 輝度調整	――――――――	P.101
LANGUAGE	[JPN]/ENG/FRA/GER/ 簡体	P.102
ビデオ方式	[NTSC]/PAL	P.103

撮影メニュー/ 再生メニューの基本的な使いかた

メニューを表示するには

1. モードダイヤルを📷（撮影モード）または▶（再生モード）に合わせる
2. MENU ボタンを押す
   メニューが表示されます。
   メニュー画面では，◀▶ボタンで画面間，▲▼ボタンで項目間を移動することができます。



メニュー画面を切り替えるには（撮影メニュー）

1. ◀▶ボタンを押す
   ［1］～［3］までのメニュー画面を切り替えることができます。

項目を選択するには

1. ▲▼ボタンを押して，選択したい項目を選ぶ
2. OK ボタンを押す

設定値を選ぶには（撮影メニュー）

1. ▲▼ボタンを押して，選択したい項目を選ぶ
2. OK ボタンを押す

確認画面で実行を選ぶには（撮影メニュー）

1. ▶ボタンを押して，［YES］を選ぶ
2. OK ボタンを押す

実行したい項目を選ぶには（再生メニュー）

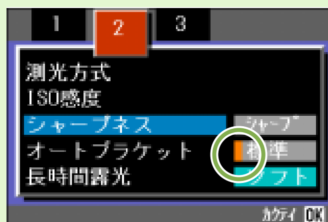
1. ▲▼ボタンを押して，実行したい項目を選ぶ
2. OK ボタンを押す

撮影画面／再生画面に戻るには

1. MENU ボタンを押す



・設定値を選択する画面では，先頭にオレンジ色の■が表示されているのが，現在の設定値です。設定値を変更しても（青色表示を移動しても），設定を確定するまで，前回の設定値を示すためにオレンジ色の表示は残ります。

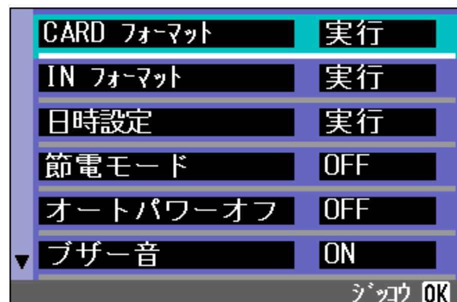


・設定変更を行う項目によってメニュー画面の流れが多少異なります。詳しくは第 2 章（P.26 ～ 42），第 3 章（P.43 ～ 69）の各項目の説明を参照してください。

SETUP 画面の基本的な使いかた

SETUP 画面を表示するには

1 モードダイヤルを SETUP（SETUP モード）に合わせる
SETUP 画面が表示されます。



項目を選択するには

1 ▲▼ボタンを押して、選択したい項目を選ぶ

設定値を選ぶには

1 ◀▶ボタンを押して、選択したい項目を選ぶ

［実行］を選んだときには

1 OK ボタンを押す
2 次の画面が表示されるので、必要な設定を行う

SETUP 画面を消すには

1 モードダイヤルを他のモードに切り替える



設定変更を行う項目によって操作の流れが多少異なります。詳しくは第 6 章（P.93 ～ 103）の各項目の説明を参照してください。

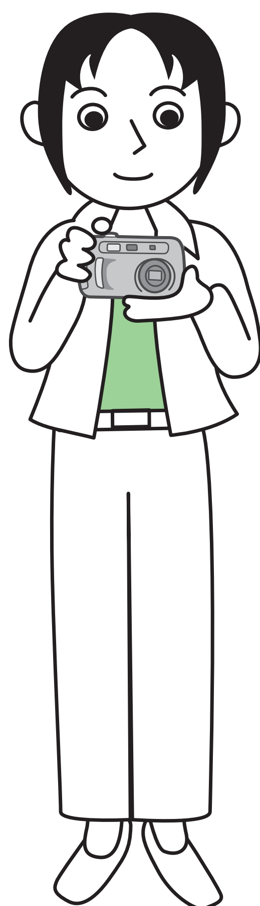
第２章　撮影する

ここでは、カメラの構えかたから、静止画や動画などの撮影のしかたまで、撮影に関する基本操作について説明します。

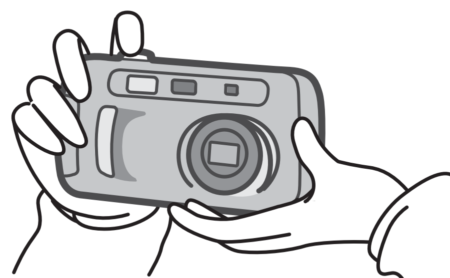
カメラの構えかた

シャッターボタンを押したときにカメラが動いてしまうと，静止画が鮮明に写りません（手ブレ）。
カメラは次のように正しく構えて撮影しましょう。

1 カメラを両手でしっかりと持ち，両ひじを軽く身体につける



2 シャッターボタンに指を当てる



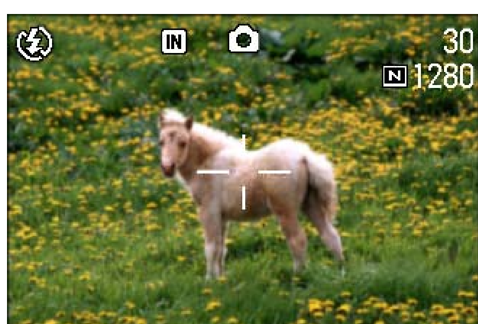


・ 指や髪，ストラップなどがレンズやフラッシュ発光部にかからないようにしましょう。
・ 手ブレを防ぐには，カメラを両手でしっかりと持って撮ったり，三脚を使用したりします。
次のような場合には，手ブレが起きやすいので注意しましょう。
・フラッシュを使わずに，またはスローシンクロモードを使って，暗い場所で撮影する場合
・ズームを使って撮影する場合

ピントの合わせかた

液晶モニターに表示されている範囲が、静止画や動画として写ります。
ピントはシャッターボタンを半分まで押して（半押し）合わせます。
ピントを合わせるには、次のように操作します。

1. 写したい被写体にレンズを向ける
2. 液晶モニターで構図を決める
3. 画面中央部でピント合わせが行われるので、写したい被写体が画面中央部にくるようにカメラ位置を合わせる

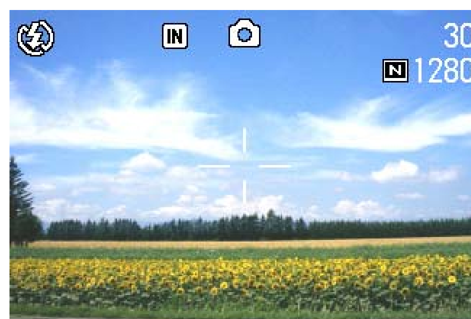


4. シャッターボタンを半押しする

画面下部にＦ値（絞り値）とシャッタースピードが表示され、ピント合わせが行われます。
ピントが合うと、露出、ホワイトバランスが固定され、液晶モニター中央部の十字と、ファインダー左下のオートフォーカスランプが緑色に点灯します。いずれかでピントが合ったことを確認してください。



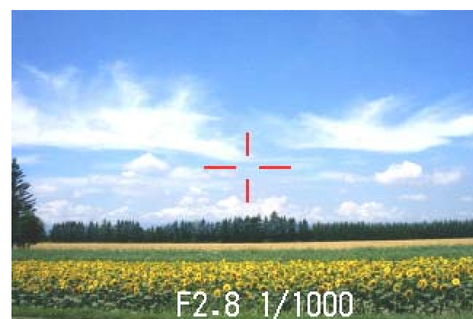
ピントが合わない場合には、液晶モニター中央部の十字は、赤く点灯します。



ピント合わせ前



ピントが合った状態



ピントが合わなかった状態



被写体が構図の中央にないときには→ P.32



・ 半押しを使わずに，最初から全押しで撮る方法もあります。全押しは，一瞬を逃さないための撮影に効果的です。ただし，撮影中にピントを確認することはできません。（→ P.31）
・ 節電モードにして（→ P.96）ファインダーを使って撮影すると，電池が長持ちします。ただし，その場合には，ピントの状態を確認することができません。また，ファインダーで見える範囲と撮影される範囲が，撮影距離によって若干ずれる場合があります。ピントや撮影範囲をきちんと確認して撮りたいという場合には，液晶ファインダーの使用をお勧めします。

静止画を撮る

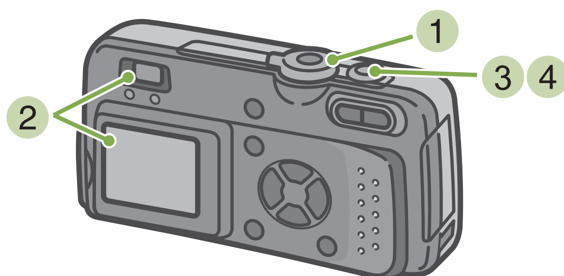
静止画を撮るときには，撮影モードを使います。
シャッターボタンを 2 段階に分けて押す撮影方法（半押し）と，一気に押し切る撮影方法（全押し）があります。
半押しの場合には液晶モニターでピントを確認することができます。また，一瞬のシャッターチャンスを逃したくないという場合には全押しが便利です。



・ズームを使って撮るには→ P.40
・接写で撮るには→ P.42

ピント合わせを確認して撮る（半押し）

ここで使うボタン

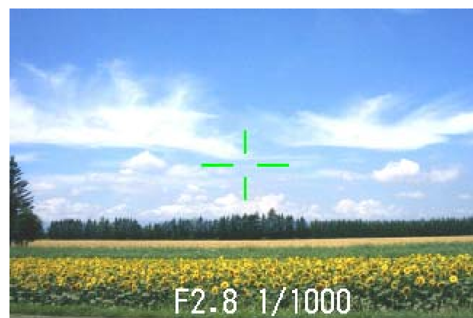


1 モードダイヤルを （撮影モード）に合わせる

2 液晶モニターまたはファインダーを見ながら構図を決める

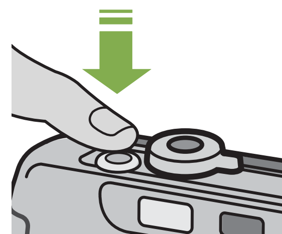
3 被写体が中央にくるようにして，シャッターボタンを半押しする

画面下部に F 値（絞り値）とシャッタースピードが表示され，ピント合わせが行われます。
ピントが合うと，露出，ホワイトバランスが固定され，液晶モニター中央部の十字と，ファインダー左下のオートフォーカスランプが緑色に点灯します。いずれかでピントが合ったことを確認してください。



4 半押ししたシャッターボタンをそのまま静かに押しきる

撮影された静止画は，一瞬液晶モニターに静止状態で表示され，記録が行われます。

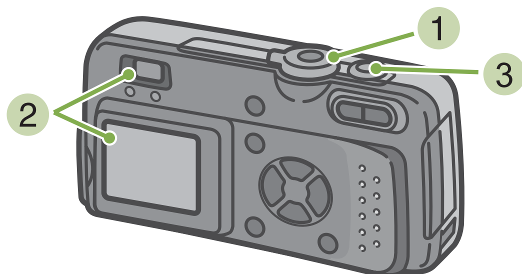




画像確認時間が OFF の時は表示されません。→ P.100

一瞬を逃がさない撮りかた（全押し）

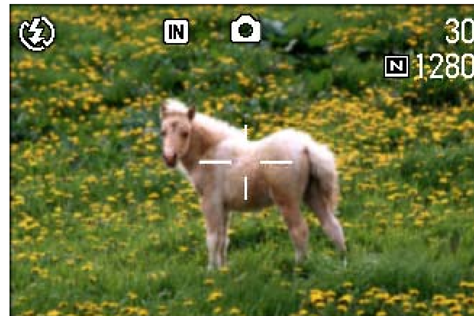
ここで使うボタン



1 モードダイヤルを 📷（撮影モード）に合わせる

2 液晶モニターまたはファインダーを見ながら構図を決める

3 被写体が中央にくるようにして、シャッターボタンを全押しする



自動的にピント合わせが行われた後、静止画が撮影、記録されます。

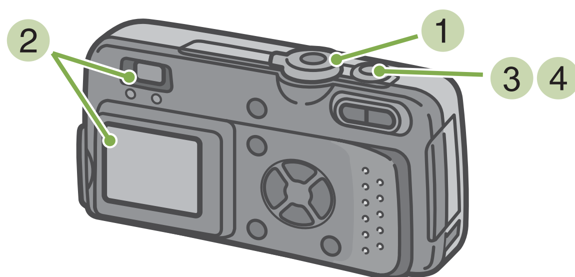


・ピントが合いにくい被写体
　次のような被写体は、ピントが合わせられないことがあります。
　・コントラストのないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）
　・横線だけで、凹凸のないもの
　・動きの速いもの
　・暗いところのもの
　・強い逆光および反射光があるもの
　・蛍光灯などのちらつきのあるもの
　このような被写体を撮影するときは、写したい被写体と同じ距離にある違う被写体にピントを固定してから撮影してください。（→ P.32）
・ピントが合いにくい場合には、半押しで撮影することをお勧めします。

被写体が構図の中央にないときには（フォーカスロック）

被写体が構図の中央にないときには、ピント合わせ後に構図を決めて撮ることができます。この方法を“フォーカスロック”と呼びます。

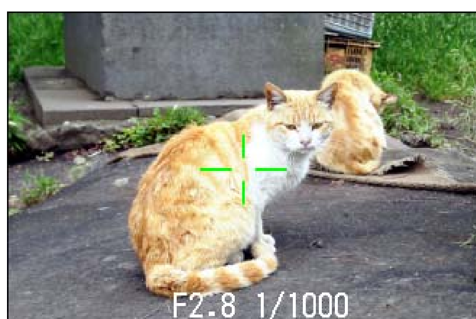
ここで使うボタン



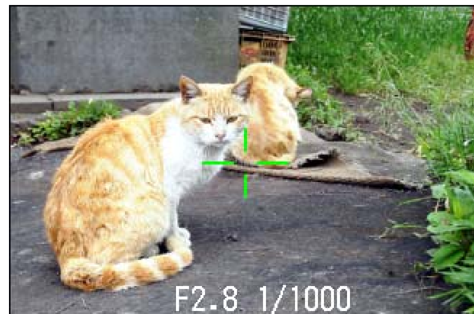
1 モードダイヤルを （撮影モード）に合わせる

2 被写体が液晶モニターまたはファインダーの中央にくるようにして、シャッターボタンを半押しする

画面下部にＦ値（絞り値）とシャッタースピードが表示され、ピント合わせが行われます。
ピントが合うと、露出、ホワイトバランスが固定され、液晶モニター中央部の十字と、ファインダー左下のオートフォーカスランプが緑色に点灯します。いずれかでピントが合ったことを確認してください。



3 半押しのまま構図を決める



4 シャッターボタンをそのまま静かに押しきる

シーンに合わせて撮る

SCENE モードを使うと、6 種類の撮影モードが選択でき、自動的にシーンに適した設定で撮影することができます。
SCENE モードでは、次の 6 種類からモードが選択できます。

ポートレート

人物を撮影するときに適しています。



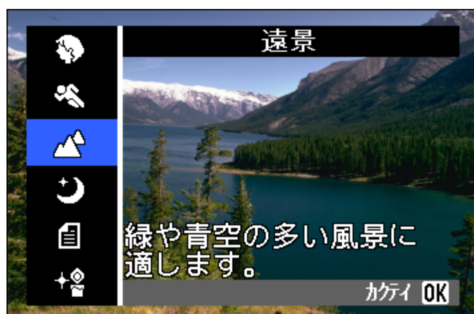
スポーツ

動きのあるものを撮影するときに適しています。



遠景

緑や青空の多い風景を撮影するときに適しています。



夜景

夜景を撮るときに適しています。人物を入れた撮影も可能です。



文字

モノクロの書類のような白と黒の被写体を撮影するときに適しています。撮影した静止画は TIFF ファイルとして記録されます。



高感度

薄暗い場所で撮影するときに適しています。

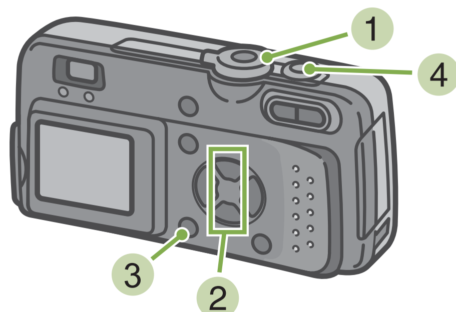




- シーンモードにおいてもホワイトバランス（P.49）の設定ができますが、シーンに合った効果が得られない場合があります。
- シーンモードではマニュアルフォーカスは使用できません。
- シーンモード選択時に、各シーンの説明文の背景に表示される画像は、イメージです。

SCENE モードを使うには，次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを SCENE（SCENE モード）に合わせる

SCENE 選択画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンを押して，使いたいモードを選ぶ



3 OK ボタンを押す

SCENE モードの撮影画面に変わり，画面上側に選択したモードのマークが表示されます。



▶ボタンを押すと，SCENE 選択画面が表示され，モードを変更することができます。

MENU ボタンを押すと，撮影メニューが表示されます。

4 シャッターボタンを押す



- モードダイヤルを 📷（撮影モード）に切り替えると，通常の撮影モードにすることができます。
- 再び SCENE モードに戻ったときには，前回使ったシーンが選択された状態の SCENE 選択画面が表示されます。
- 文字のシーンでは画像サイズに 640 × 480，2048 × 1536 は設定できません。640 × 480，2048 × 1536 の設定で撮影した場合には，自動的に 1280 × 960 のサイズになります。



- ポートレート / スポーツ / 遠景 / 夜景 / 高感度のモードで，画質や画像サイズを変更したいときには→ P.52
- 文字のモードで，文字の濃淡を変更したいときには→ P.69
- フォーカス設定を変更したいときには→ P.55
- ホワイトバランスの設定を変更したいときには→ P.49



TIFF ファイル

「ティフ」ファイルと読みます。画像データをファイルとして保存するときのファイル形式の 1 つです。JPEG（ジェイペグ）ファイルよりファイルサイズが大きくなります。

各シーンモードと機能の組み合わせ

シーンモードの種類によっては、通常の撮影モードと機能の働きが異なる場合があります。下表を参照してください。

モード名	フラッシュ	マクロ撮影
ポートレート	初期値：発光禁止	不可
スポーツ	初期値：発光禁止	不可
遠景	発光禁止に固定	不可
夜景	強制発光は選択不可	不可
	初期値：オート	
文字	初期値：発光禁止	使用可
高感度	初期値：発光禁止	使用可

連写で撮る

連写に設定すると、連続撮影ができます。
シャッターチャンスを逃したくないときに便利です。
連写には、「連写」、「S 連写」、「M 連写」の 3 種類があります。

連写

シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。
静止画は通常の撮影時と同じように、1 枚ずつ記録します。



S 連写

連続した流れ（ストリーム）のシーンを撮影します。
1 回全押しするだけで、撮影間隔 1/7.5 秒で 16 枚（約 2 秒間）の連続撮影ができます。
16 枚の静止画を 1 組にして、1 つの画像ファイルとして記録します。



M 連写

シャッターボタンを押している間、カメラがシーンを記憶（メモリー）し、シャッターボタンを離すと、直前の約 2 秒間が記録されます。
16 枚の静止画を 1 組にして、1 つの画像ファイルとして記録します。

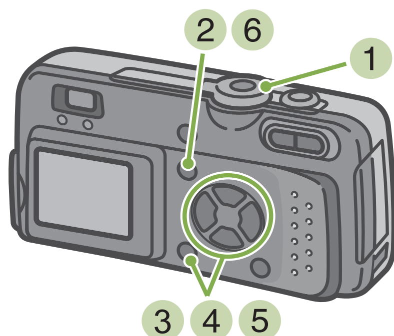


- 画像サイズによって、撮影時間が異なります。
- 連写撮影中は、液晶モニターの表示が消えます。三脚等を使用し、構図を決めて固定するか、ファインダーをご使用ください。
- S 連写・M 連写時の画質モードと画像サイズは N2048 になります。

連写の設定をする（連写）

連写の設定にするには、次のように操作します。

ここで使うボタン



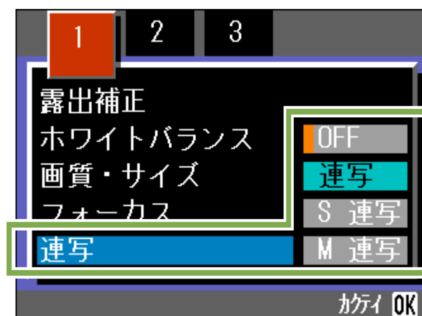
1. モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる

2. MENU ボタンを押す
   撮影メニューが表示されます。

3. ［連写］を選び、OK ボタンを押す

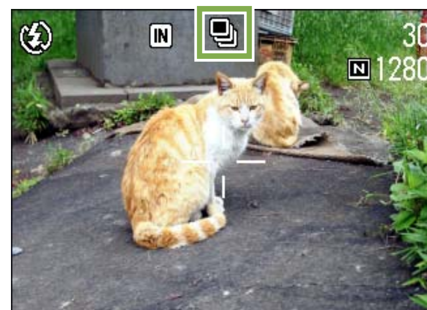


4. ▲▼ボタンを押して、［連写］、［S 連写］、［M 連写］のいずれかを選ぶ



5. OK ボタンを押す

6. MENU ボタンを押す
   撮影メニューが消え、画面上側にマークが表示されます。

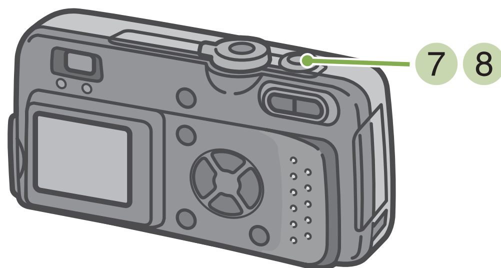




・通常の 1 枚ごとの撮影に戻したいときには、上記の操作 2 を行い、3 で［OFF］を選択して OK ボタンを押します。
・フラッシュは発光禁止になります。

連写で撮影する

ここで使うボタン



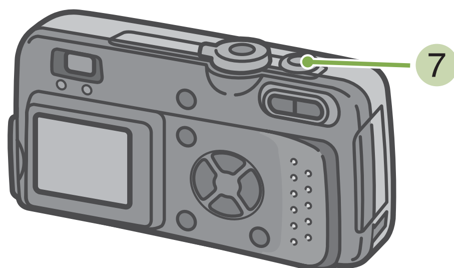
前ページの操作から続けて

7 **構図を決めて，シャッターボタンを押したままにする**
シャッターボタンを押している間，連続して撮影されます。

8 **シャッターボタンから指を離して撮影を停止する**

S 連写で撮影する

ここで使うボタン

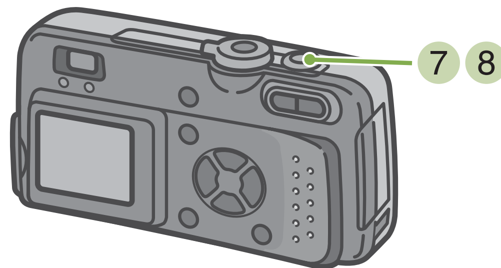


前ページの操作から続けて

7 **構図を決めて，シャッターボタンを押す**
自動的に 16 枚連続して撮影されます。

M 連写で撮影する

ここで使うボタン



前ページの操作から続けて

7 **構図を決めて，シャッターボタンを押したままにする**
記憶を開始します。

8 **シャッターボタンから指を離す**
シャッターボタンを離す前の約 2 秒間をカメラが記憶し，撮影します。



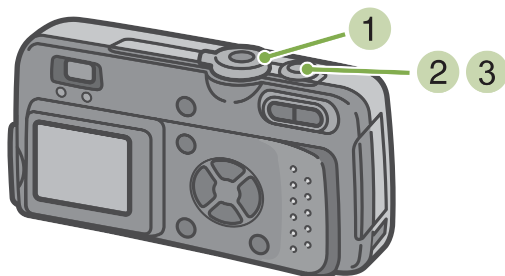
シャッターボタンを押しはじめてから，2 秒以内にシャッターボタンを離した場合は，シャッターボタンを押してから離すまでが撮影記録されます（連続撮影枚数は，16 枚より少なくなります）。

動画を撮る

動画を撮影できます。
画像サイズは、320 × 240、160 × 120 のいずれかが選択できます。
最大記録時間は最大で約 30 秒（320 × 240 の場合）、約 120 秒（160 × 120）です。
撮影した動画は、1 つの AVI ファイルとして記録されます。

動画を撮影するには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを （動画モード）に合わせる

2 シャッターボタンを押す

動画の撮影が開始されます。
次にシャッターボタンを押すまで撮影されます。



3 シャッターボタンを押して撮影を停止する



- フラッシュは発光禁止になります。
- 動画撮影中、ズーム機能は、デジタルズームのみ使用できます。



- 動画の画像サイズを変更するには→ P.52
- フラッシュについて→ P.44
- ズーム機能について→ P.40
- デジタルズームについて→ P.41



AVI ファイル

「エーブイアイ」ファイルと読みます。
動画データをファイルとして保存するときのファイル形式の 1 つです。

ズームを使って撮る

[♠]（望遠）:T/ [·]（広角）:W ボタンを使うと、被写体までの距離を変えずに、被写体の大きさを変えて写すことができます。（35mm カメラ換算で 35 ～ 105mm）

[♠]（望遠）ボタンを押すと、液晶モニターおよびファインダーに見える被写体が大きくなります。
[·]（広角）ボタンを押すと、液晶モニターおよびファインダーに見える範囲が広くなります。



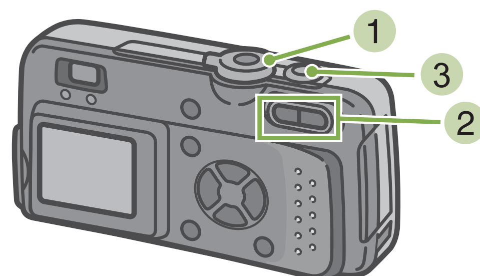
望遠ズーム



広角ズーム

ズームを使って撮影するには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1. モードダイヤルを［カメラ］（撮影モード）に合わせる

2. 液晶モニターまたはファインダーを見ながら、[♠] ボタンや [·] ボタンでズームを行い、構図を決める
液晶モニターにズームの状況を示すバーが表示されます。



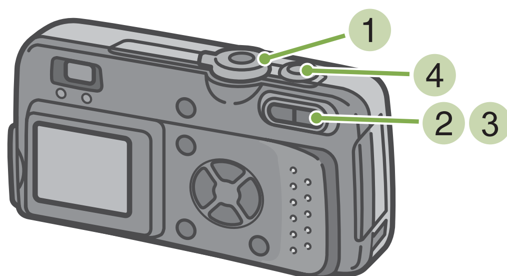
3. シャッターボタンを押す

デジタルズームを使って撮る

デジタルズームとは，画像処理によって画像を拡大する機能です。
デジタルズームを行うと，[♠]（望遠）ボタンを押して設定した拡大倍率（光学ズーム）より，さらに被写体を拡大できます（最大 3.4 倍まで）。

デジタルズームを使って撮影するには，次のように操作します。

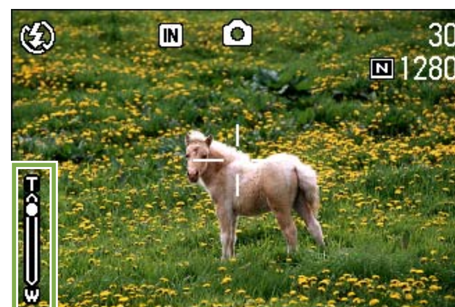
ここで使うボタン



1 モードダイヤルを [カメラ]（撮影モード）に合わせる

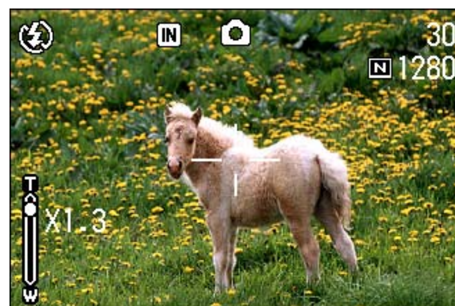
2 液晶モニターを見ながら，[♠] ボタンで最大にズームを行う

液晶モニターにズームの状況を示すバーが表示されます。



3 ズームバーの T 側（望遠）の端まで拡大されている状態で，いったん [♠] ボタンを離し，再び [♠] ボタンを押し続ける

デジタルズームが行われ，被写体が拡大されます。



4 シャッターボタンを押す



- デジタルズームは拡大するほど画質が劣化します。
- デジタルズーム時は液晶モニターで構図を決めてください。
- モードダイヤルでモードを切り替えると，デジタルズームの設定は解除されます。
- デジタルズームを解除するには，[♠]（広角）ボタンを押します。
- 文字モード撮影時には，デジタルズームは使用できません。



光学ズーム

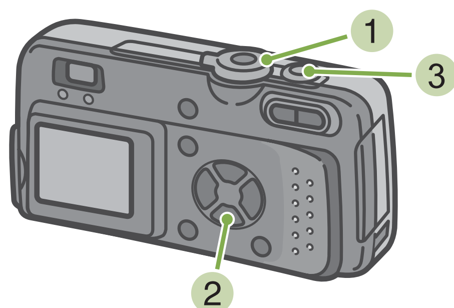
レンズを動かして焦点距離を変更し，拡大する機能のことです。

接写する（マクロ撮影）

（マクロ）ボタンを使うと，レンズを被写体に接近させて撮影できます（マクロ撮影）。
最短 1cm まで近づけることができるので，花や昆虫など小さな被写体の撮影に便利です。

接写するには，次のように操作します。

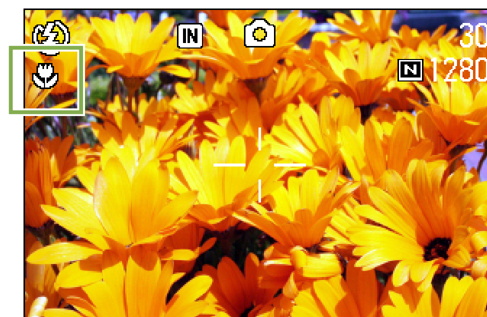
ここで使うボタン



1 モードダイヤルを （撮影モード）に合わせる

2 （マクロ）ボタンを押す

画面左側にマクロモードのマークが表示されます。



3 シャッターボタンを押す



- ズームを使用しているときには，次の距離までのマクロ撮影ができます。
  広角（W）時：最短 1cm
  望遠（T）時：最短 16cm
- マクロモードを解除するには，もう一度 （マクロ）ボタンを押します。
- マクロ撮影の際は，ファインダーは使用できません。液晶モニターをご使用ください。



広角ズームにするには→ P.40

第 3 章　こんな撮影がしたいときには

ここでは、撮影に関するさまざまな設定の変更方法について説明します。

フラッシュを使うには

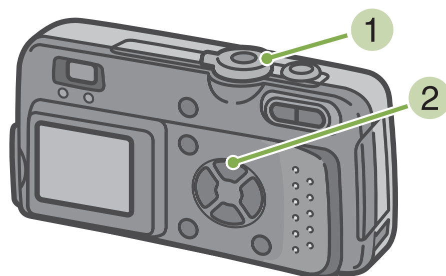
ϟ（フラッシュ）ボタンを使うと、フラッシュモード（発光、発光禁止などの設定）を切り替えることができます。撮影時の状況や、目的によって切り替えて撮影します。
フラッシュの光が､届く距離は､広角の場合約 0.2 ～ 4.5m，望遠の場合約 0.16 ～ 2.5m です。
フラッシュモードの設定は，液晶モニターの左上に表示されるマークで確認できます。

［フラッシュモードの種類］

マーク	モード名	内容
(発光禁止マーク)	発光禁止	フラッシュを発光しません。フラッシュが禁止されているときや、室内の照明を利用して撮影するときに使用します。
(オートマーク)	オート	逆光や被写体が暗いときには自動的にフラッシュが発光します。
(赤目マーク)	オート赤目	赤目現象を軽減しながらフラッシュを発光します。人物を撮影するときに､人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。
ϟ（点灯）	強制発光	撮影時に必ずフラッシュを発光します。 昼間屋外での撮影で､逆光のときなどに使用します。
ϟ（点滅）	スローシンクロ	シャッタースピードを遅くして発光します。 夜景を背景にした人物を撮影するときなどに使用します。

フラッシュモードを切り替えるには，次のように操作します。

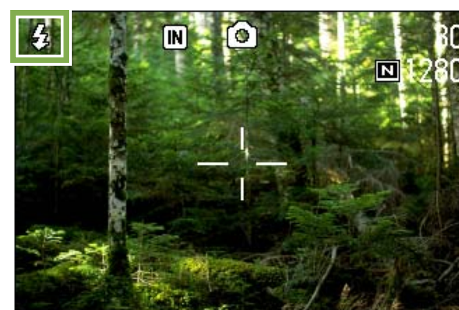
ここで使うボタン



1 モードダイヤルを (撮影モード)に合わせる

または SCENE（SCENE モード）に合わせてシーンを選択し撮影できる状態にします。

2 ϟ(フラッシュ)ボタンを押して､フラッシュモードを切り替える



充電を開始します。フラッシュ充電中は液晶モニターが消え､フラッシュランプが点滅します。充電が完了すると､点滅が点灯に変わり､撮影が可能になります。



スローシンクロ

暗い場所での撮影時に、背景もキレイに撮影したいときに使う手法で、シャッタースピードを遅くしてフラッシュを発光します。

赤目現象

暗い場所で ϟ（フラッシュ）を使って撮影したときに、人物の目が赤く写ってしまうことがあります。これを赤目現象といいます。



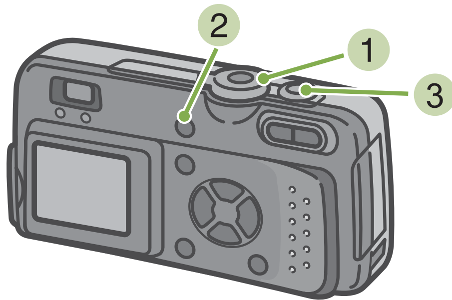
- 購入時には、発光禁止に設定されています。
- ϟ（フラッシュ）ボタンを押して変更するまで、設定内容は保持されます。
- 動画、連写では、発光禁止になります。
- 発光禁止やスローシンクロモードのときには、シャッタースピードが遅くなり、手ブレを起こすことがあります。カメラを両手でしっかり固定させて撮影してください。
- SCENE モードの遠景モードでは、設定が発光禁止に固定されます。
- SCENE モードの夜景モードでは、強制発光は選択できません。また、初期値はオートに設定されています。
- フラッシュ充電中でもフラッシュボタンを押すことにより、発光禁止モードに戻ることができます。この際、フラッシュの充電は中断されます。

セルフタイマーを使うには

セルフタイマーは、10 秒後、2 秒後の 2 種類から選択できます。
撮影者自身も静止画に写りたいときには 10 秒の設定で、手ブレを防ぎたいときには 2 秒に設定すると便利です。
三脚はカメラ下部の三脚ネジ穴へしっかり取り付けてください。

セルフタイマーを使って撮影するには、次のように操作します。

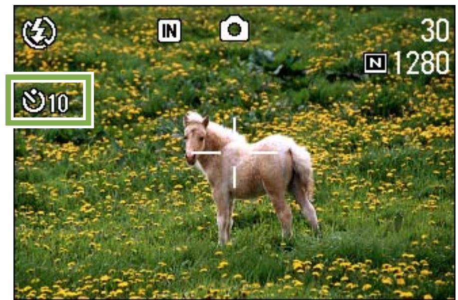
ここで使うボタン



1 モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる

2 （セルフタイマー）ボタンを押す

セルフタイマーモードに入り、セルフタイマーのマークが表示されます。
マークの右側にある「10」は秒数を示しています。この状態でシャッターボタンを押すと、10 秒後に撮影されます。



3 シャッターボタンを押す

フラッシュが点滅し、セルフタイマーがスタートします。約 10 秒後にシャッターが切れます。シャッターが切れる約 2 秒前から「ピピピピッ」というブザー音が鳴ります。

シャッターが切れると、セルフタイマーのモードが解除されます。



- （セルフタイマー）ボタンは、1 回押すごとに、10 秒→ 2 秒→セルフタイマー解除→ 10 秒→ 2 秒→・・・と切り替わります。
- セルフタイマーの設定は、電源をオフにすると解除されます。
- シャッターボタンを押したときに、ピントが固定されます。

露出を変えるには（露出補正）

静止画の写りを全体的に明るくしたり、暗くしたりするのが露出の設定です。
通常、撮影範囲の中央に被写体があると自動的に逆光補正を行い、適切な露出で撮影できます。しかし、次のような場合や、意図的に露出を変えて撮影をしたいときには、露出を変更して撮影することができます。
露出は、-2.0 ～ +2.0 までの間で設定できます。

逆光撮影の場合

背景が非常に明るい場合など、被写体は暗く（露出アンダー）になってしまうことがあります。



白っぽい被写体を写す場合

全体に白っぽい被写体を写すときは，全体的に暗くなり，人物などは暗く，白いものはグレーのように写ることがあります。



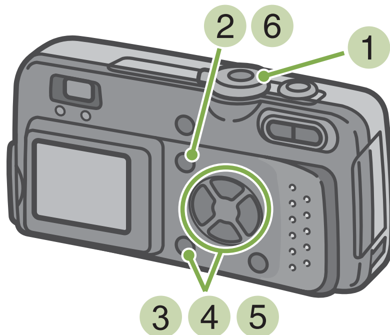
黒っぽい被写体を写す場合

全体に黒っぽい被写体を写すときは，全体的に明るく（露出オーバーに）なり，人物などは白く，黒いものはグレーのように写ることがあります。スポットライトが当たった人物を写すときなども同様です。



露出を変更するには，次のように操作します。

ここで使うボタン

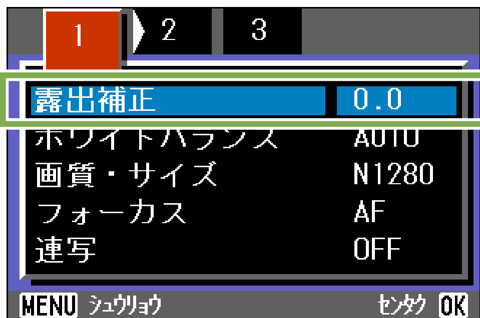


1 モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる

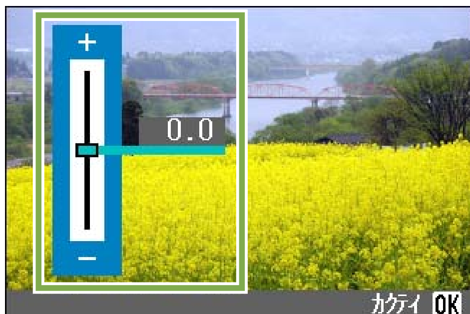
2 MENU ボタンを押す

撮影メニューが表示されます。

3 ［露出補正］を選び，OK ボタンを押す



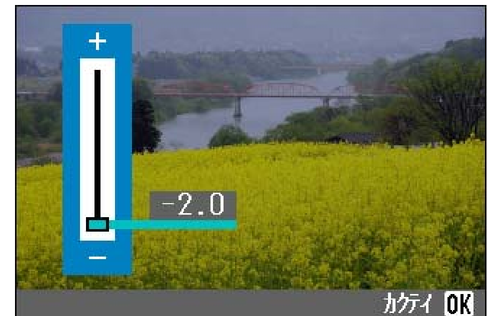
露出補正バーが表示されます。



4 ▲▼ボタンを押して，値を設定する

-（マイナス）側に変更すると，暗くなります。+（プラス）側に変更すると，明るくなります。
この状態でシャッターボタンを押すこともできます。





5 OK ボタンを押す

露出補正の設定が完了します。

6 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え，画面右側に設定値が表示されます。



以降，設定を変更するまで，この設定で撮影されます。



- 購入時には，0.0 に設定されています。この場合，値は表示されません。
- 逆光のとき，撮影範囲の中央に被写体がないときには，カメラは逆光状態と判断しません。露出補正をしてください。

自然光や照明光を使うには（ホワイトバランス）

通常のカメラでは，被写体のまわりの照明によっては，白い被写体が白く写らない場合があります。デジタルカメラでは，ホワイトバランスという機能があり，白い被写体は白く写るように，自動的に調整を行います。
購入時には，ホワイトバランスは「AUTO」（自動）に設定されているので，通常は変更の必要はありませんが，ホワイトバランスの調整がうまく合いにくい場合には，設定を変更します。

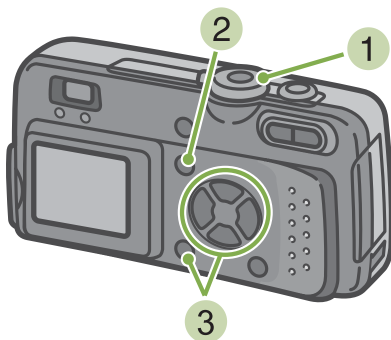
［選択できるモードの種類］

マーク	モード名	内容
AUTO	オート	自動的に調整します。
	屋外	屋外（晴天）の撮影で，ホワイトバランスが合わないときに選択します。
	曇天	曇天や日影などの撮影で，ホワイトバランスが合わないときに選択します。
	白熱灯	白熱灯の下の撮影で，ホワイトバランスが合わないときに選択します。
	蛍光灯	蛍光灯の下の撮影で，ホワイトバランスが合わないときに選択します。
M	ワンプッシュ	手動でホワイトバランスを設定することができます。


次の被写体は，ホワイトバランスの自動調整がうまく合いにくいことがあります。
・単一色の被写体
・複数の光源下にある被写体

ホワイトバランスを設定するには，次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを 📷（撮影モード）に合わせる

SCENE モードで撮影するときには、SCENE（SCENE モード）に合わせ撮影モードを選びます。

動画を撮影するときには，🎥（動画モード）に合わせます。

2 MENU ボタンを押す

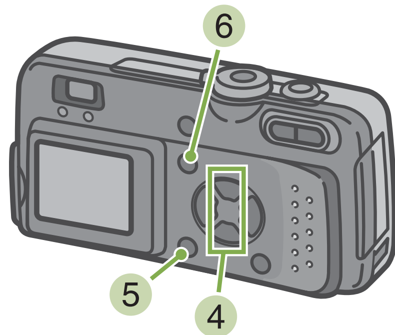
撮影メニュー（または動画メニュー）が表示されます。

3 ▼ボタンを押して，［ホワイトバランス］を選び，OK ボタンを押す



■ AUTO /☀/☁/☼/▭ を選択する場合

ここで使うボタン



4 ▲▼ボタンを押して，モードを選ぶ

この状態でシャッターボタンを押すこともできます。

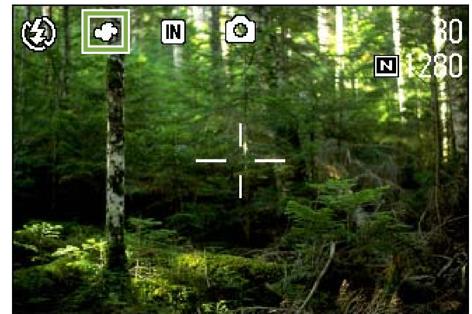


5 OK ボタンを押す

ホワイトバランスの設定が完了します。

6 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え，画面左上に設定値が表示されます。



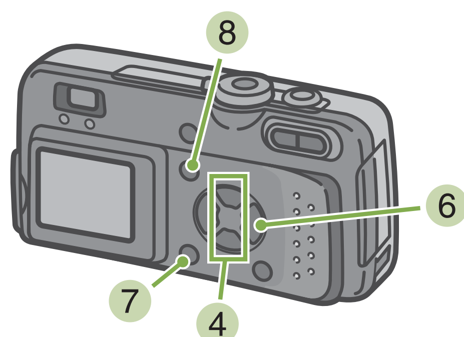
以降，設定を変更するまで，この設定で撮影されます。



・オートモードの場合，被写体に白色系の部分が少ないと，ホワイトバランスが合わないことがあります。このようなときには，被写体に白色系のものを入れて撮影してください。
・屋外，曇天，白熱灯，蛍光灯に設定した場合には，フラッシュは発光禁止になります。

■ Ⓜ（ワンプッシュ）を選択する場合

ここで使うボタン



4 ▲▼ボタンを押して、Ⓜ（ワンプッシュ）を選ぶ



5 撮影する照明の下で、紙などの白い被写体にカメラを向ける

6 ▶ボタンを押す

ホワイトバランスが設定されます。

7 OK ボタンを押す

ホワイトバランスの設定が完了します。

8 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え、画面左上に設定値が表示されます。



以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



操作 6 で▶ボタンを押すと、設定したホワイトバランスで画面が再表示されます。思いどおりにならなかった場合には、操作 5 6 を繰り返して、何度でも設定変更ができます。

画質モード / 画像サイズを選ぶには（画質・サイズ）

記録された静止画や動画のファイルの大きさは，画質モードと画像サイズの設定によって変わります。

画質モードについて

静止画や動画を画像ファイルとして保存するときには，画像データを圧縮してファイルにします。
画質モードとは，そのときの圧縮率の設定のことです。
画質モードには，N（Normal）と F（Fine）の 2 種類があります。

Normal モード

圧縮率は高くなりファイルのサイズは小さくなります。通常は，このモードで撮影します。



Fine モード

圧縮率は低くなりファイルのサイズは大きくなりますが，Normal モードより高画質になります。



画像サイズについて

画像サイズは，画像の大きさのことで，ホームページで利用したり，電子メールで送信したりする場合には，小さいサイズが適しています。印刷して利用する場合には，大きいサイズを選択したほうが，美しく印刷できます。



保存
内蔵メモリーやSDメモリーカードなどの記録媒体にデータをファイルとして記録することを「保存する」と呼びます。一般的には，フロッピーディスクやハードディスクなどに記録する操作の際によく使われる言葉です。



・ 動画では，画質モードの設定はできません。
・ 静止画と動画では，設定できる画像サイズが異なります。



画像ファイル
静止画や動画などのファイルを画像ファイルと呼びます。

静止画の画質モード/画像サイズを変更する

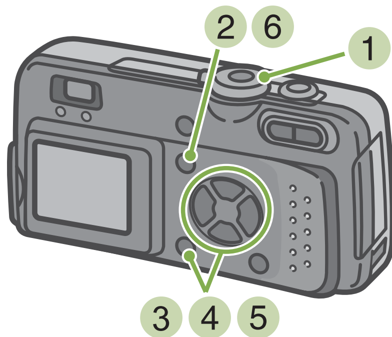
画質モードと画像サイズの組み合わせ

		サイズ		
		2048 × 1536	1280 × 960	640 × 480
モード	F（Fine）	F2048	F1280	――
	N（Normal）	N2048	N1280	N640

太枠内は画面に表示されるときの名称です。
※ 640 は Fine モードはありません。
詳しくは，P.143 をご覧ください。

画質モード / 画像サイズを変更するには，次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを（撮影モード）に合わせるまたは SCENE（SCENE モード）に合わせてモードを選択し撮影できる状態にする

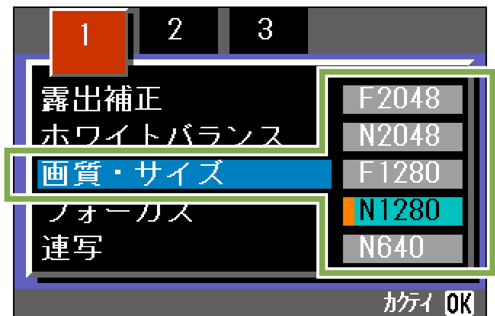
2 MENU ボタンを押す

撮影メニューが表示されます。

3 ［画質・サイズ］を選び，OK ボタンを押す



4 ▲▼ボタンを押して，画質・サイズを選ぶ

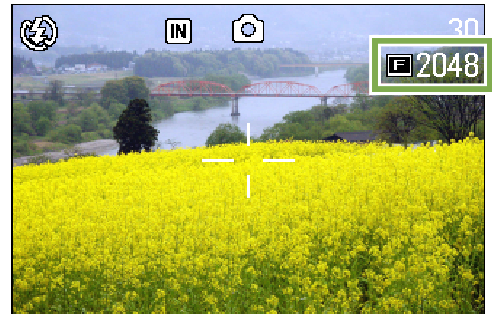


5 OK ボタンを押す

画質・サイズの設定が完了します。

6 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え，画面右上に設定値が表示されます。



以降，設定を変更するまで，この設定で撮影されます。



- 購入時には，N1280 に設定されています。
- SCENE モードで文字のシーンを選択しているときには，自動的に 1280 のサイズになります。

動画の画像サイズを変更する

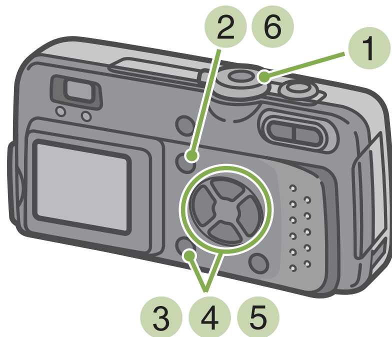
動画では、画質モードは設定できません。
画像サイズには、320 × 240、160 × 120 の 2 種類があります。



・購入時には、320 × 240 に設定されています。

画像サイズを変更するには、次のように操作します。

ここで使うボタン

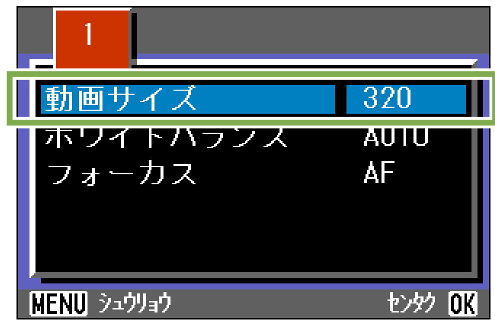


1 モードダイヤルを（動画モード）に合わせる

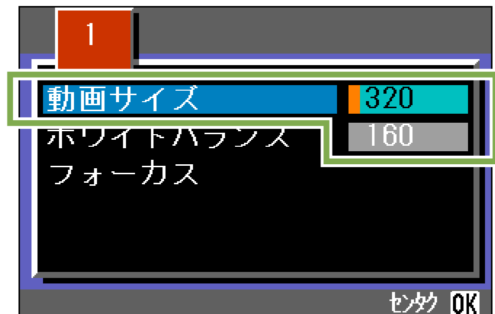
2 MENU ボタンを押す

撮影メニューが表示されます。

3 ［動画サイズ］を選び、OK ボタンを押す



4 ▲▼ボタンを押して、サイズを選ぶ



5 OK ボタンを押す

動画サイズの設定が完了します。

6 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え、画面右上に設定値が表示されます。



以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

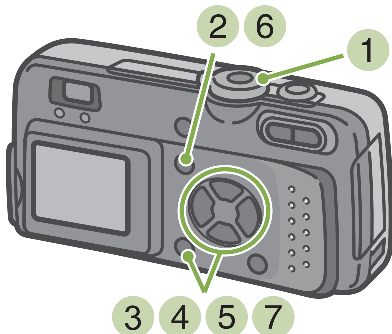
手動でピントを合わせて撮影する（フォーカス）

オートフォーカスでピントが合わないときには、手動でピントを合わせること（マニュアルフォーカス）ができます。
また、撮影距離を固定して撮影することもできます。固定の場合には、スナップまたは（∞）無限遠のいずれかに固定できます。

マニュアルフォーカスで撮影する

マニュアルフォーカスで撮影するには、次のように操作します。

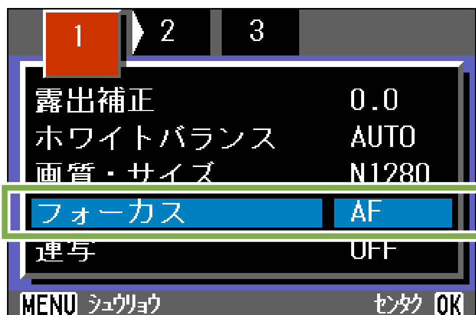
ここで使うボタン



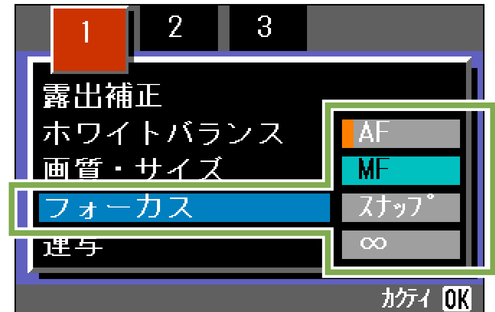
1. **モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる**
   動画を撮影するときには、（動画モード）に合わせます。

2. **MENU ボタンを押す**
   撮影メニューが表示されます。

3. **［フォーカス］を選び、OK ボタンを押す**



4. **▲▼ボタンを押して、［MF］を選ぶ**



5. **OK ボタンを押す**
   フォーカスの設定が完了します。

6. **MENU ボタンを押す**
   メニューが消え、画面上側に MF と表示されます。



7. **◀▶ボタンを押してピントを合わせる**
   ◀ボタンを押すと近距離方向に移動します。
   ▶ボタンを押すと遠距離方向に移動します。

以降、設定を変更するまで、このマニュアルフォーカスで撮影されます。

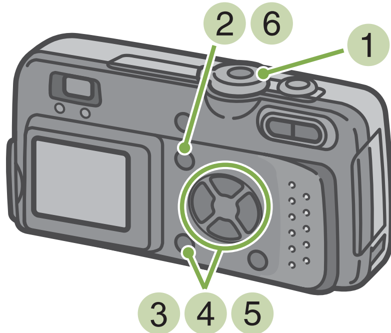


- 購入時には、AF（オートフォーカス）に設定されています。
- マニュアルフォーカスのときには、OK ボタンを押すことで液晶モニター中央部分を拡大表示して、フォーカスを合わせやすくすることができます。ただし、インターバル撮影時は使用できません。
- シーンモードではマニュアルフォーカスは使用できません。

撮影距離を固定して撮影する

撮影距離を固定して撮影するには，次のように操作します。

ここで使うボタン



1 **モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる**

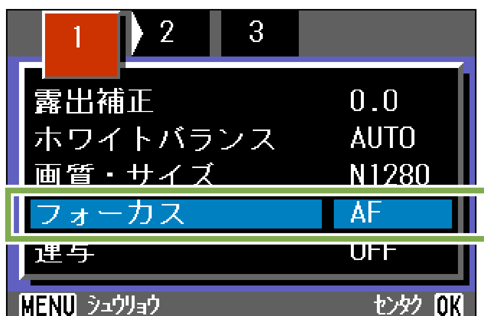
SCENE モードで撮影するときには、SCENE（SCENE モード）に合わせ撮影モードを選びます。

動画を撮影するときには，（動画モード）に合わせます。

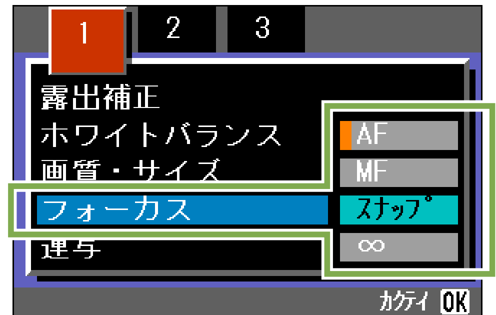
2 **MENU ボタンを押す**

撮影メニューが表示されます。

3 **［フォーカス］を選び，OK ボタンを押す**



4 **▲▼ボタンを押して，［スナップ］または［∞］（無限遠）を選ぶ**

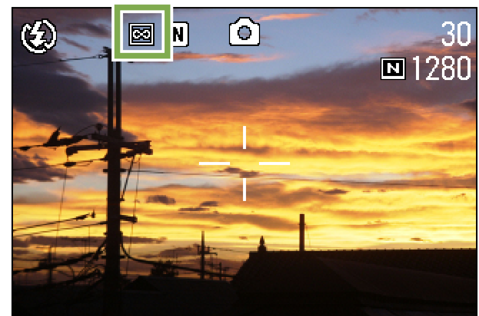


5 **OK ボタンを押す**

フォーカスの設定が完了します。

6 **MENU ボタンを押す**

撮影メニューが消え，画面上側に設定値が表示されます。



以降，設定を変更するまで，この設定で撮影されます。

測光方式を変えるには（測光方式）

露出値を決めるときの測光方式（どの範囲で測光するか）を変更することができます。
測光方式には、マルチ、中央、スポットの 3 種類があります。

マルチ

撮影範囲全体を細かく分割して，それぞれで測光して総合的に判断します。
購入時にはこの値に設定されています。



中央

中央部分に重点を置きつつ，全体を測光して判断します。
中央と周辺の明るさが異なるときに使います。



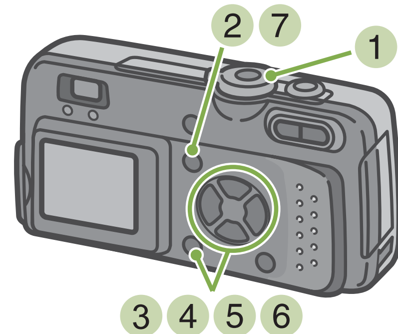
スポット

中央部分のみで測光して判断します。
中央の明るさに強制的に合わせたいときに使います。逆光やコントラストの差が著しいときなどに役立ちます。



測光方式を変更するには，次のように操作します。

ここで使うボタン



1 **モードダイヤルを 📷（撮影モード）に合わせる**

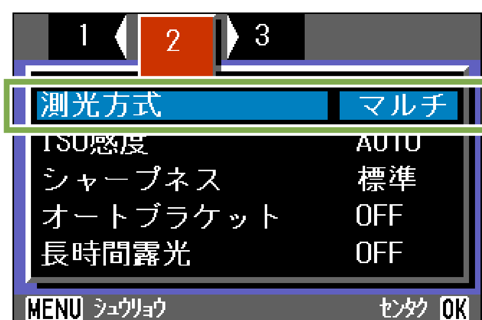
2 **MENU ボタンを押す**

撮影メニューが表示されます。

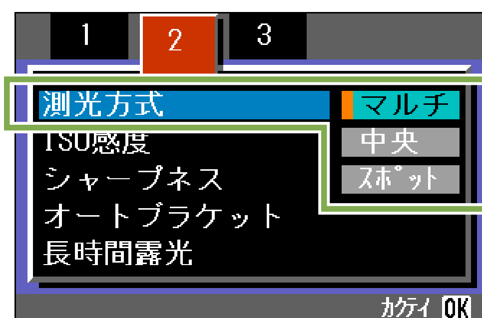


3 **必要に応じて◀▶ボタンを押し、画面を切り替える**

4 ［測光方式］を選び、OK ボタンを押す



5 ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ

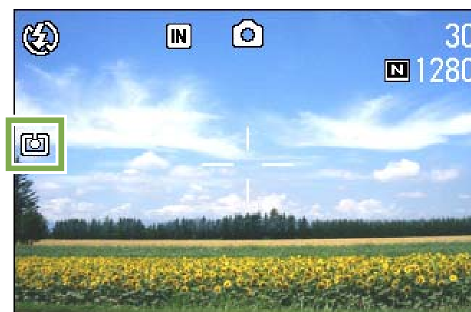


6 OK ボタンを押す

測光方式の設定が完了します。

7 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え、画面左側に設定値が表示されます。



以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



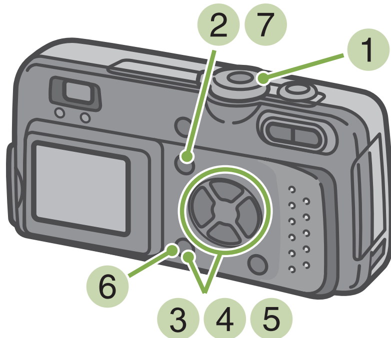
・購入時には、マルチに設定されています。

撮影感度を設定するには（ISO 感度）

撮影感度（ISO 感度）を設定して撮影することができます。
購入時には、ISO 感度は「AUTO」（自動）に設定されています。
高い感度にしたい場合など、次の 3 種類の設定から選択できます。
ISO200、ISO400、ISO800

撮影感度を設定するには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる

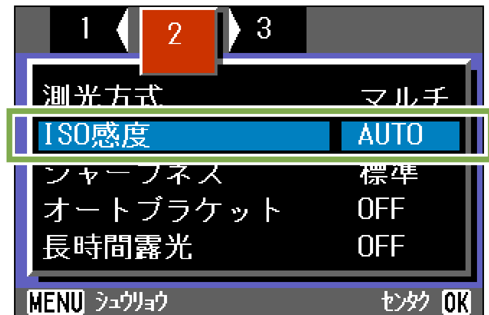
2 MENU ボタンを押す

撮影メニューが表示されます。

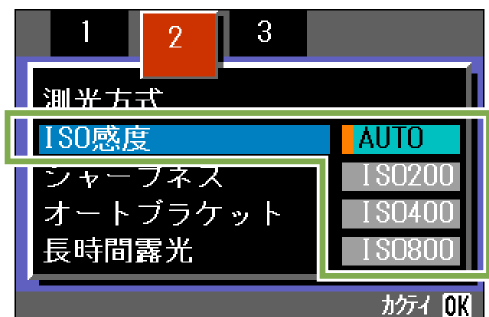


3 必要に応じて◀▶ボタンを押し、画面を切り替える

4 ［ISO 感度］を選び、OK ボタンを押す



5 ▲▼ボタンを押して、ISO 感度を選ぶ

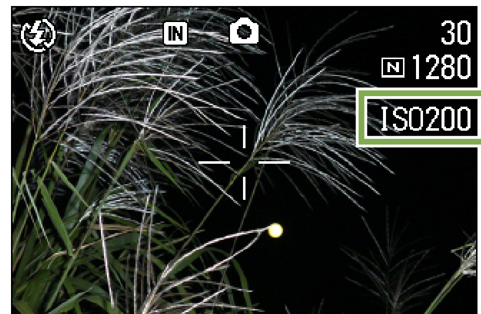


6 OK ボタンを押す

ISO 感度の設定が完了します。

7 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え、画面右側に設定値が表示されます。



以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



- 購入時には、AUTO に設定されています。
- フラッシュを使わずに暗い場所で撮影する場合、感度を上げると被写体を明るく撮影できます。
- ISO 感度を上げると、少ない光量でも撮影できるようになりますが、ノイズが現れることがあります。ISO 感度が高くなればなるほどノイズが現れやすくなりますので、注意が必要です。

静止画の質感を変えるには（シャープネス）

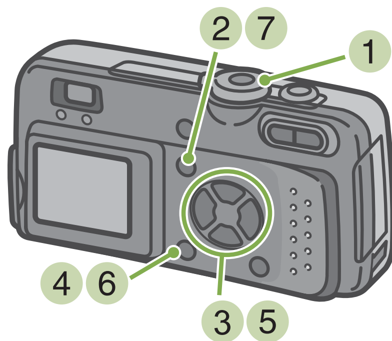
静止画の質感をシャープにしたりソフトにしたりすることができます。



購入時には、標準に設定されています。

静止画の質感を変更するには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを （撮影モード）に合わせる

2 MENU ボタンを押す

撮影メニューが表示されます。

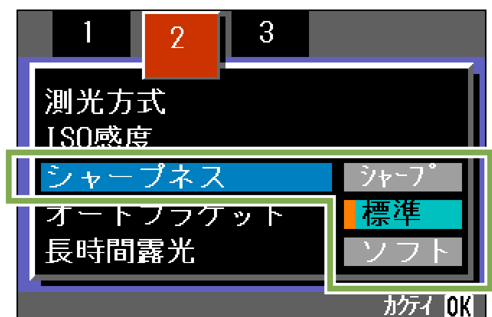


3 必要に応じて◀▶ボタンを押し、画面を切り替える

4［シャープネス］を選び、OK ボタンを押す



5 ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ



6 OK ボタンを押す

シャープネスの設定が完了します。

7 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え、画面右側に設定値が表示されます。



以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

露出を変化させて連続撮影するには（オートブラケット）

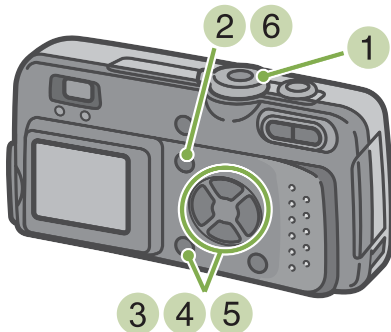
オートブラケットは，設定されている露出を基準に -0.5EV，± 0，+0.5EV と 3 段階の露出で，自動的に 3 枚連続して撮影する機能です。3 枚の中から一番よく撮れた静止画を選ぶことができます。



購入時には，OFF に設定されています。

オートブラケット撮影を行うには，次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる

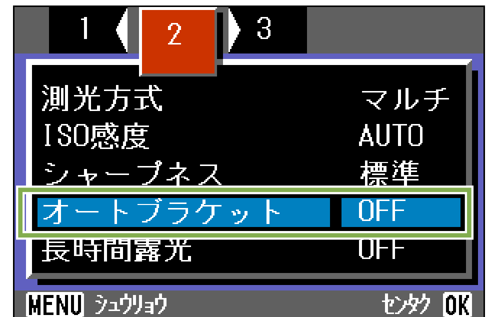
2 MENU ボタンを押す

撮影メニューが表示されます。



3 必要に応じて◀▶ボタンを押し，画面を切り替える

4 ［オートブラケット］を選び，OK ボタンを押す

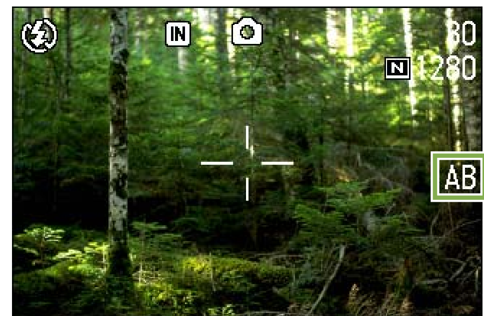


5 ［ON］を選び，OK ボタンを押す



6 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え，画面左側に設定値が表示されます。



7 シャッターボタンを押す

設定されている露出補正値を基準に、-0.5EV、±0、+0.5EVで3枚連続撮影されます。

撮影直後に液晶モニターに表示される 3 枚の静止画は、左から -0.5EV、基準の補正値、+0.5EV です。



以降，変更するまで，この設定で撮影されます。



・ 露出補正値を変更したいときには→ P.47
・ ホワイトバランスを変更したいときには→ P.49

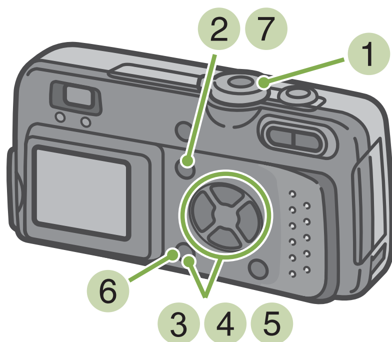
露光時間を設定するには（長時間露光）

露光時間を設定すると、設定した時間内シャッターを開いて撮影します。
露光時間を設定すると、夜景を写したときに、花火や車などの被写体の軌跡を撮影することができます。
露光時間は、１秒、２秒、４秒、８秒から選択できます。



・購入時には、OFF に設定されています。
・露光時間を設定したときには、シャッタースピードが遅くなり，手ブレを起こすことがあります。カメラを両手でしっかり固定させて撮影してください。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる

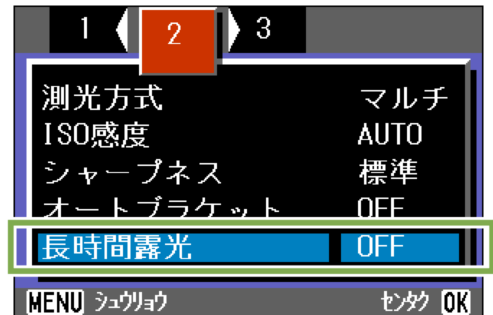
2 MENU ボタンを押す

撮影メニューが表示されます。

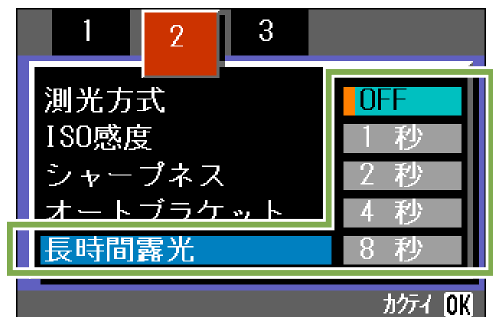


3 必要に応じて◀▶ボタンを押し、画面を切り替える

4［長時間露光］を選び、OK ボタンを押す



5 ▲▼ボタンを押して、露光時間を選ぶ

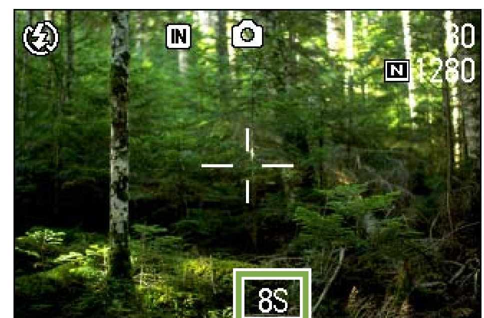


6 OK ボタンを押す

長時間露光の設定が完了します。

7 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え，画面下側に設定値が表示されます。



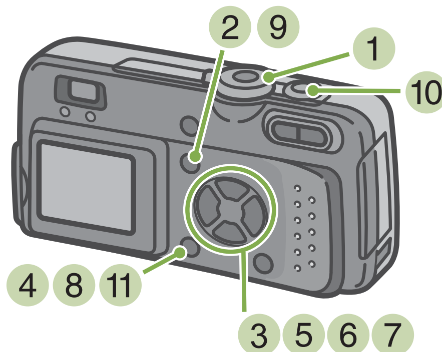
以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）

設定した時間間隔で、自動的に撮影することができます。
撮影間隔は、30 秒～ 3 時間の間で設定できます。

インターバル撮影するには、次のように操作します。

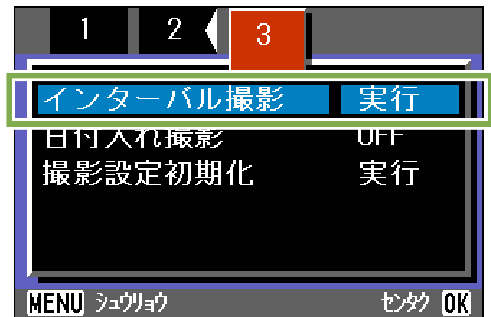
ここで使うボタン



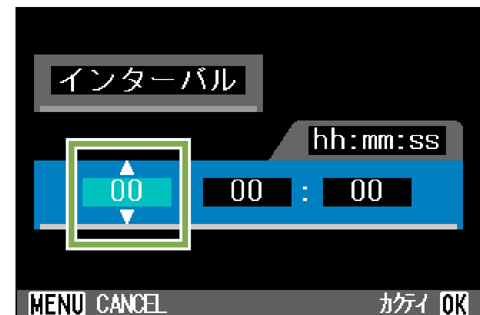
1. モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる
2. MENU ボタンを押す
   撮影メニューが表示されます。



3. 必要に応じて◀▶ボタンを押し、画面を切り替える
4. ［インターバル撮影］を選び、OK ボタンを押す



5. ▲▼ボタンを押して時間を設定する



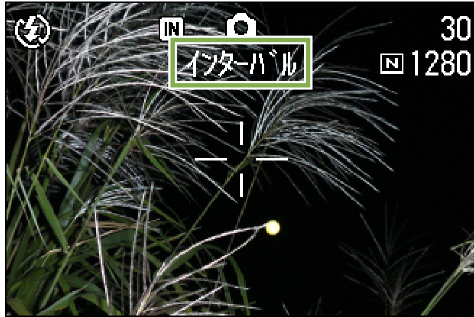
6. ▶ボタンを押して分の設定へ移動し、▲▼ボタンを押して、分を設定する
7. ▶ボタンを押して秒の設定へ移動し、▲▼ボタンを押して、秒を設定する
8. OK ボタンを押す
   インターバル撮影の設定が完了します。



インターバル撮影に設定した場合は、連写の設定が［連写］、［M 連写］に設定されていても、自動的に連写 OFF に切り替わります。

9 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え，画面上部に「インターバル」と表示されます。



10 シャッターボタンを押す

設定した間隔で，次々に撮影されます。

11 撮影を中止するときには，OK ボタンを押す

インターバル撮影の設定は，電源をオフにすると解除されます。



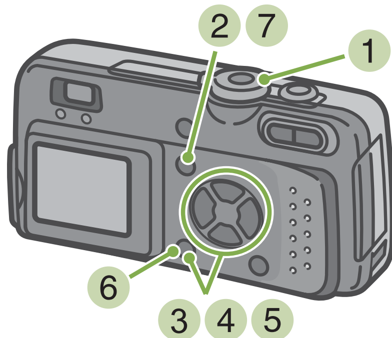
- 手順 5 ～ 7 では，▲▼ボタンを押し続けると，高速で数値を増減させることができます。
- 電源に電池を使用している場合には，電池切れになることがあります。AC アダプター（別売り）の使用をお勧めします。
- インターバル撮影中でも，シャッターボタンを押すと通常の撮影ができます。ただし，インターバル撮影モードはそのまま保持されます。最後の撮影の後，インターバル撮影で設定した時間が経過すると次の撮影が行われます。
- 画質モードやフラッシュモードの設定によっては，設定した時間より撮影間隔が長くなる場合があります。

静止画に日付を入れるには（日付入れ撮影）

静止画の右下に日付を入れることができます。
表示形式は、日付(年/月/日)と日時(年/月/日/時:分)の2種類の形式から選択することができます。

日付または日時を入れるには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる

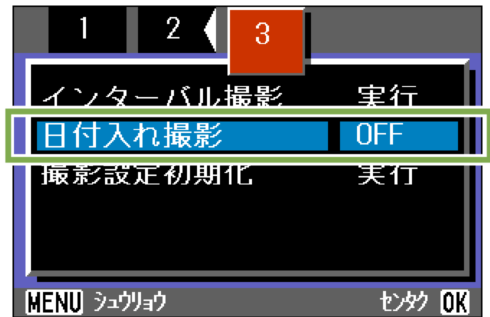
2 MENU ボタンを押す

撮影メニューが表示されます。



3 必要に応じて◀▶ボタンを押し、画面を切り替える

4 ▼ボタンを押して、[日付入れ撮影]を選び、OK ボタンを押す



5 ▲▼ボタンを押して設定値を選ぶ

6 OK ボタンを押す

日付入れ撮影の設定が完了します。

7 MENU ボタンを押す

撮影メニューが消え、画面右下に DATE が表示されます。



以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



・日付時刻が設定されていないと日付入れ撮影はできません。まず、日付時刻を設定してください。
・動画に日付を入れることはできません。
・文字モードの撮影で日付を入れたいときには、撮影モードの状態で上記の設定を行ってください。



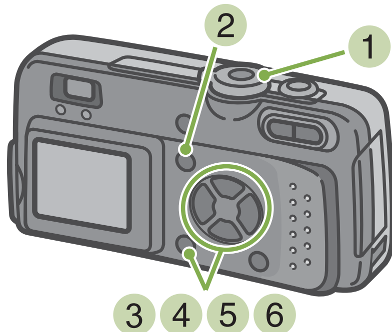
日付時刻を設定するには→ P.12

撮影メニューの設定を元に戻す（撮影設定初期化）

撮影メニューの設定を購入時の設定に戻すことができます。

撮影メニューの設定を初期値に戻すには，次のように操作します。

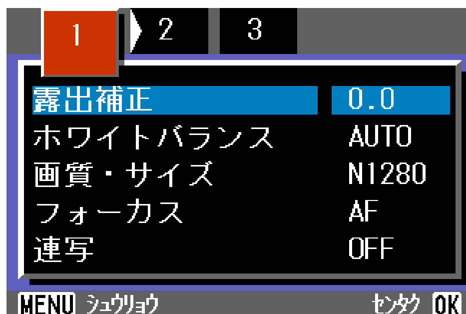
ここで使うボタン



1 モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる

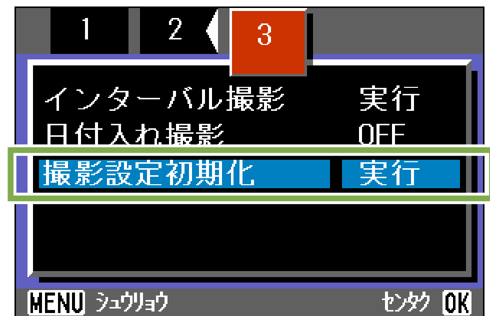
2 MENU ボタンを押す

撮影メニューが表示されます。

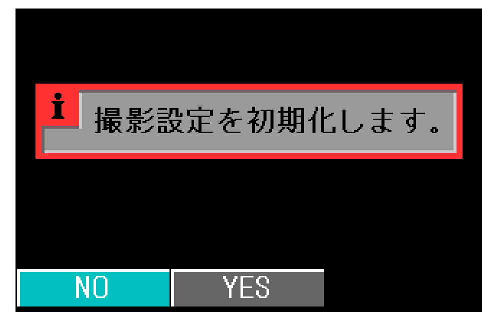


3 必要に応じて◀▶ボタンを押し､画面を切り替える

4 ［撮影設定初期化］を選び，OK ボタンを押す



5 ▶ボタンを押して［YES］を選ぶ



6 OK ボタンを押す

初期化中のメッセージが表示され，完了するとモードの画面に戻ります。



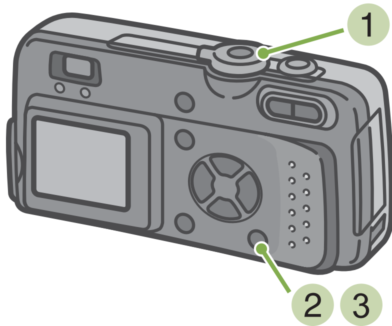
撮影メニューでの設定は，インターバル撮影，オートブラケットの設定を除いて，電源をオフにしても保持されます。

液晶モニターにグリッドガイドを表示するには

水平垂直位置を合わせて撮りたいときには，グリッドガイド（目盛線）を表示して構図を決めると，便利です。
グリッドガイドは液晶モニター画面を縦横 3 分割した線です。
グリッドガイドは撮影時の補助として表示されるだけで，撮影されません。
グリッドガイド表示時は，フラッシュ，セルフタイマー，マクロボタンのいずれかを押すと，その直後の数秒間だけは，マーク表示（→ P18）になります。

グリッドガイドを表示するには，次のように操作します。

ここで使うボタン

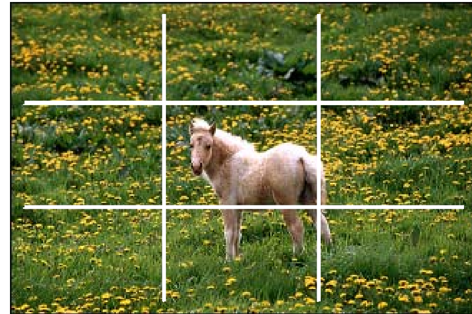


1 モードダイヤルを 📷（撮影モード）に合わせる

2 DISPLAY ボタンを押す
マークの表示が消えます。



3 DISPLAY ボタンを押す
グリッドガイドが表示されます。





DISPLAY ボタンは，1 回押すごとに，表示なし→グリッドガイド表示→液晶モニターオフ→通常のマーク表示→表示なし→・・・と切り替わります。



画面の表示切り替えについて→ P.18

文字撮影のときの濃淡を変えるには（文字濃度）

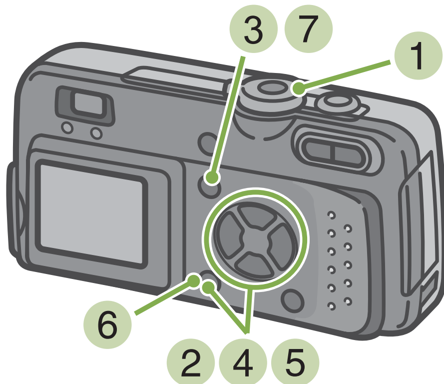
文字を撮影する場合，文字の濃淡を変更することができます。
濃淡は，濃い，標準，淡いから選択できます。



文字を撮影するには→ P.33

文字の濃淡を変更するには，次のように操作します。

ここで使うボタン



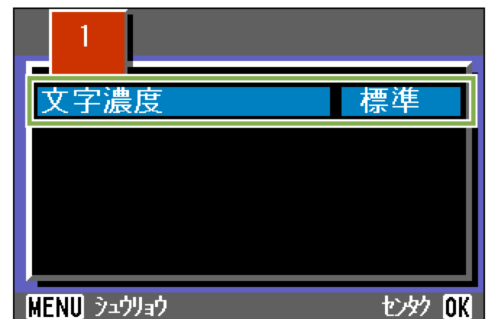
1. モードダイヤルを SCENE（SCENE モード）に合わせる
   SCENE 選択画面が表示されます。

2. ▲▼ボタンを押して，文字モードに合わせ，OK ボタンを押す



3. MENU ボタンを押す
   撮影メニューが表示されます。

4. ［ 文字濃度 ］を選び，OK ボタンを押す



5. ▲▼ボタンを押して，濃淡を選ぶ



6. OK ボタンを押す
   濃淡の設定が完了します。

7. MENU ボタンを押す
   撮影画面に戻ります。

文字濃度の設定値は画面上には表示されません。
以降，設定を変更するまで，この設定で撮影されます。



購入時には，標準に設定されています。

第 4 章　静止画や動画を見る

撮影した静止画や動画は､液晶モニターで表示して確認することができます。
ここでは､液晶モニターに静止画や動画を表示する操作について説明します。

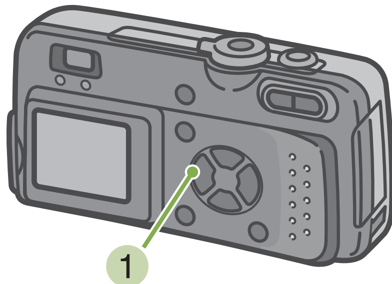
※ 液晶モニターで長い時間静止画や動画を表示する場合には、電源に AC アダプター（別売り）を使用することをお勧めします。

直前に撮った 1 枚を見る

撮影直後に､「いま撮った静止画を確認したい」というときには、撮影モードのままですぐに表示できます。この機能をクイックレビューと呼びます。
動画の場合には、最初の 1 フレームを静止画像で表示します。

直前に撮った静止画を表示するには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1. 撮影モードのまま ⊑（クイックレビュー）ボタンを押す
   液晶モニターに最後に撮影した静止画が表示されます。



2. 撮影状態に戻すには、もう一度 ⊑（クイックレビュー）ボタンを押す



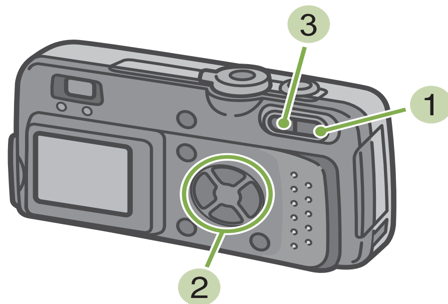
いったん電源をオフにすると、撮影モードでは再表示できません。

表示した静止画を拡大表示する

(クイックレビュー)ボタンで表示した静止画は、(拡大表示)ボタンを押すと、最大 3.4 倍まで拡大表示できます。

静止画を拡大表示して見るには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1 (拡大表示)ボタンを押す

静止画が拡大表示されます。液晶モニターには、静止画の一部分が表示されています。



2 ▲▼◀▶ボタンを押して、表示したい部分へ移動する

3 元の表示に戻すには、(サムネイル表示)ボタンを押す



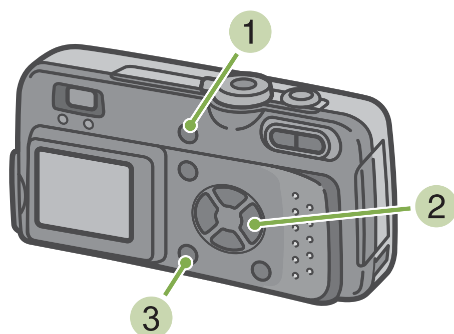
動画は拡大表示できません。

表示した静止画や動画を削除する

（クイックレビュー）ボタンで表示した静止画や動画は、（削除）ボタンを押すと、削除することができます。

表示されている静止画や動画を削除するには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1 クイックレビューの状態で（削除）ボタンを押す

2 ▶ボタンを押して、［削除］を選ぶ



3 OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、削除が完了すると、撮影画面に戻ります。



静止画や動画を選択して削除するには→ P.84

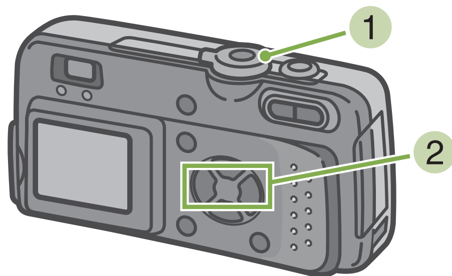
撮影した静止画や動画を見る

撮影した静止画や動画は、内蔵メモリーまたは SD メモリーカードに記録されています。内蔵メモリーまたは SD メモリーカード内の静止画や動画は，液晶モニターに表示して見ることができます。

SD メモリカードに記録された静止画を見る

静止画を見るには，次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

最後に撮った静止画が表示されます。



動画の場合には，最初の 1 フレームが静止画像で表示されます。

2 ◀▶ボタンで見たい静止画にする

▶ボタンを押すと，次の静止画または動画を表示できます。

◀ボタンを押すと，1 つ前の静止画または動画を表示できます。

◀▶ボタンを押し続けると，高速で表示と移動できます。

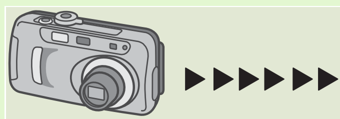


再生時に画面に表示される情報について→ P.17



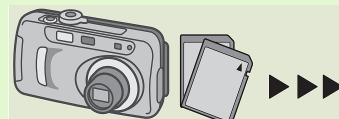
再生時には，次の記録先から再生されます。

本体のみのとき



▶▶▶▶▶▶ 内蔵メモリーから再生

SD メモリーカードがセットされているとき



▶▶▶ SD メモリーカードから再生

内蔵メモリーに記録された静止画を見る

内蔵メモリーに記録された静止画を見るときには、次のように操作します。

1 **SD メモリーカードがセットされているときには、電源をオフにして、SD メモリーカードを抜き、再び電源をオンにする**

2 **モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる**

最後に撮った静止画が表示されます。
動画の場合には、最初の 1 フレームが静止画像で表示されます。

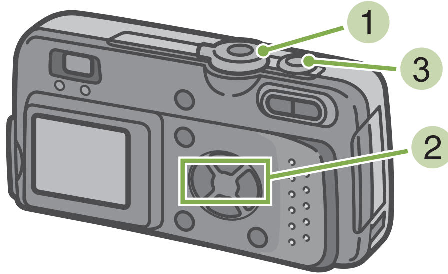
3 **◀▶ボタンで見たい静止画にする**

▶ボタンを押すと、次の静止画または動画を表示できます。
◀ボタンを押すと、1 つ前の静止画または動画を表示できます。
◀▶ボタンを押し続けると、高速で移動できます。

動画を見る

動画を見るには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

最後に撮った静止画が表示されます。
動画の場合には、最初の 1 フレームが静止画像で表示されます。

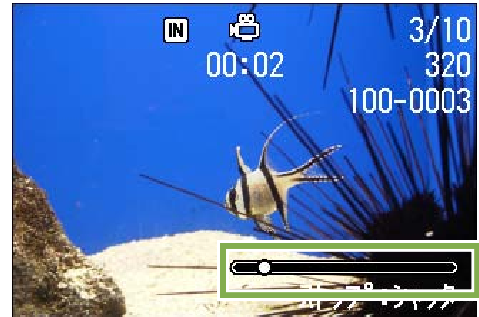
2 ◀▶ボタンで見たい動画にする

▶ボタンを押すと，次の静止画または動画を表示できます。
◀ボタンを押すと，1 つ前の静止画または動画を表示できます。



3 シャッターボタンを押す

再生が始まります。
液晶モニターに，再生経過を示すインジケーターや経過時間が表示されます。



早送り	再生中に [♠]（望遠）ボタンを押す
巻き戻し	再生中に [♠]（広角）ボタンを押す
一時停止 / 再生	シャッターボタンを押す
スロー再生	一時停止中に [♠]（望遠）ボタンを押し続ける
スロー戻し	一時停止中に [♠]（広角）ボタンを押し続ける
次のフレームの表示	一時停止中に [♠]（望遠）を押す



動画のフレーム

動画のフレームはコマともいいます。動画はたくさんのフレームで構成され，それらが高速で表示されるために動いているように見えます。



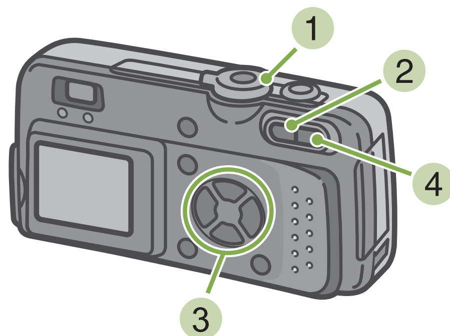
再生時に画面に表示される情報について→ P.17

一覧にして見る

液晶モニターの画面を 6 分割し、撮影した静止画や動画を一覧（サムネイル表示）にして見ることができます。
一覧から見たい静止画や動画を選び、通常の 1 枚表示にすることができます。

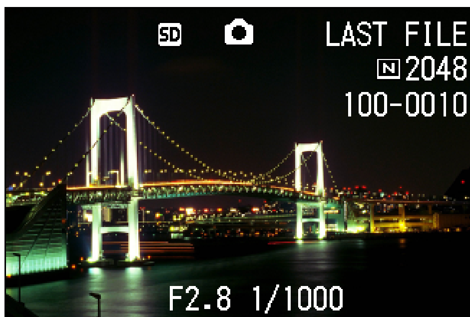
一覧を表示して、目的の静止画を見るには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

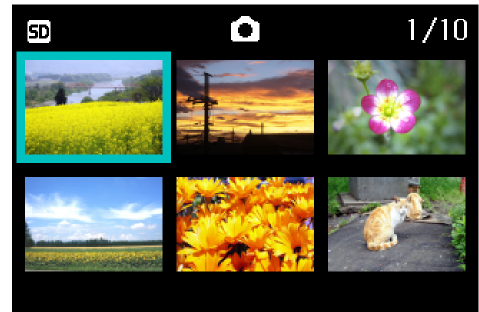
最後に撮った静止画が表示されます。



動画の場合には、最初の 1 フレームが静止画像で表示されます。

2 （サムネイル表示）ボタンを押す

画面が 6 分割されて、静止画や動画（先頭のフレーム）が縮小して表示されます。



3 ▲▼◀▶ボタンを押して、1 枚表示したい静止画や動画を選ぶ

4 Q（拡大表示）ボタンを押す

選択した静止画や動画が 1 枚表示されます。



サムネイル表示では，文字ファイルは青色で表示されます。



一覧画面で静止画を選択して削除するには→ P.84
一覧画面で静止画を選択してプロテクト（削除からの保護）を設定するには→ P.88
一覧画面で静止画を選択してプリントサービスの設定をするには→ P.92



サムネイル表示

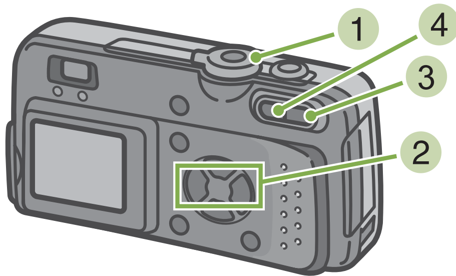
サムネイル表示とは縮小表示のことです。多くの画像を一覧にして表示する場合などによく使われる表示方法です。

拡大して見る

撮影した静止画を表示している際，Q（拡大表示）ボタンを押すと，静止画を最大 3.4 倍に拡大表示することができます。

静止画を拡大表示して見るには，次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

最後に撮った静止画が表示されます。



2 拡大表示したい静止画を表示する

3 Q（拡大表示）ボタンを押す

静止画が拡大表示されます。液晶モニターには，静止画の一部分が表示されています。



▲▼◀▶ボタンを押すと，表示される場所を動かせます。

4 元の表示に戻すには，▦（サムネイル表示）ボタンを押す


動画は拡大表示できません。

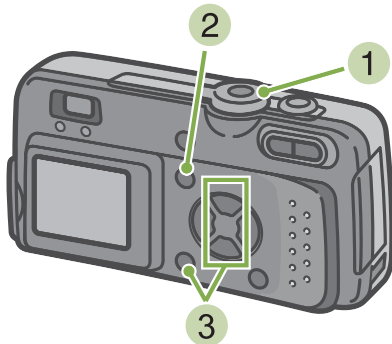

静止画を表示するには→ P.71、P.74

自動的に順に表示する（スライドショー）

内蔵メモリーまたは SD メモリーカードに記録されている静止画や動画を、順番に液晶モニターに表示することができます。この機能をスライドショーと呼びます。

スライドショーで見るには，次のように操作します。

ここで使うボタン



1 **モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる**

最後に撮った静止画が表示されます。



2 **MENU ボタンを押す**

再生メニューが表示されます。

3 **［スライドショー］が選択されていることを確認し，OK ボタンを押す**



スライドショーが開始され，静止画または動画が順に表示されます。
途中で中止したいときには，カメラのいずれかのボタンを押します。
中止するまで、繰り返しスライドショーが，続きます。



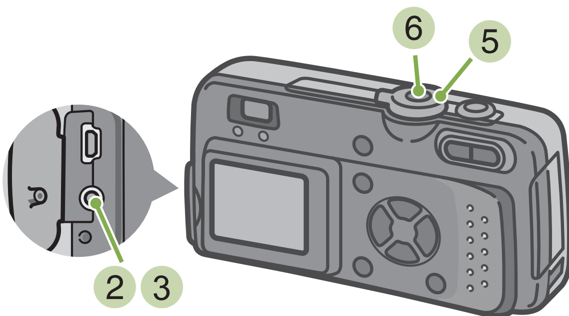
- 静止画は，3 秒ごとに表示されます。
- 動画は，1 フレームだけではなく，撮影した内容がすべて表示されます。

テレビの画面で見る

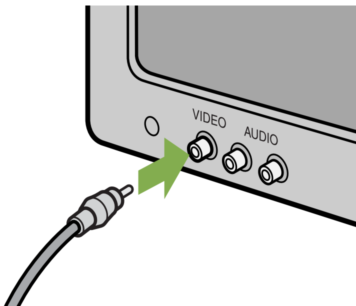
撮影した静止画や動画を、テレビの画面に表示して見ることができます。
テレビの画面には液晶モニターと同じ内容が表示されます。
テレビの画面に表示するには、カメラに付属しているビデオケーブルを使ってカメラとテレビを接続します。

静止画や動画をテレビで見るには、次のように操作します。

ここで使うボタン

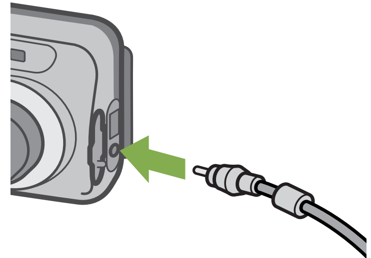


1 テレビのビデオ入力端子にビデオケーブルをしっかり接続する



2 カメラの電源がオフになっていることを確認し、端子カバーを開ける

3 ビデオ出力端子にビデオケーブルをしっかり接続する



4 テレビを「ビデオ」が表示できる状態にする（入力モードを「ビデオ」にする）

詳しくはテレビの説明書を参照してください。

5 カメラのモードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

6 カメラの電源ボタンを押して電源をオンにする



・ビデオの入力端子にビデオケーブルを接続して、撮影した内容をビデオに録画することもできます。
・テレビなどの機器での再生方式は NTSC 方式（日本などで使用されている）に設定されています。接続する機器が PAL 方式（ヨーロッパ等で使用されている）の場合には、カメラの SETUP メニューで PAL 方式に設定してから接続してください。
・ビデオケーブルで本機を接続している間は、液晶モニターの表示はオフ（消えた状態）になります。

第５章　静止画や動画を削除する

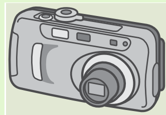
デジタルカメラの大きな利点の１つは、不要な静止画や動画をその場で削除できることです。
ここでは、撮影した静止画や動画を削除する操作について説明します。

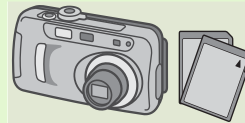


誤って静止画を消さないようにするには→Ｐ.85

不要な静止画や動画を削除する

撮影に失敗した静止画や動画は，簡単に削除することができます。
削除方法には，次の 3 種類があります。
・1 枚を削除する
・すべてを一度に削除する
・複数を選択して一度に削除する
プロテクトが設定されている静止画や動画は削除されません。


次の記録先にある静止画または動画が削除されます。
本体のみのとき


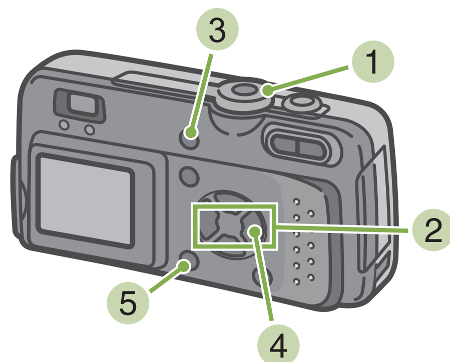
内蔵メモリーから削除
SD メモリーカードがセットされているとき


SD メモリーカードから削除

静止画 1 枚を削除する

静止画（または動画）を削除するには，次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる
最後に撮った静止画が表示されます。



2 削除したい静止画（または動画）を表示する

3 🗑（削除）ボタンを押す

4 ▶ボタンを押して，[1 ファイル削除] を選ぶ



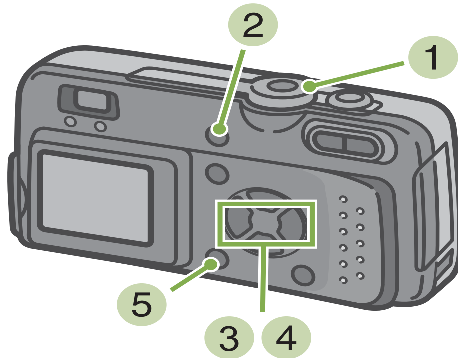
5 OK ボタンを押す
処理中のメッセージが表示され，削除が完了すると，再生画面に戻ります。


・（クイックレビュー）ボタンで表示した静止画を削除するには→ P.73
・静止画（または動画）を表示するには→ P.71，P.74

すべてを一度に削除する

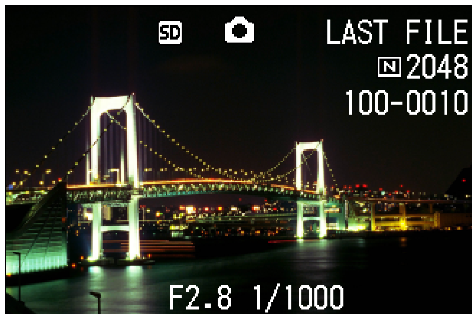
すべての静止画や動画を削除するには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

最後に撮った静止画が表示されます。



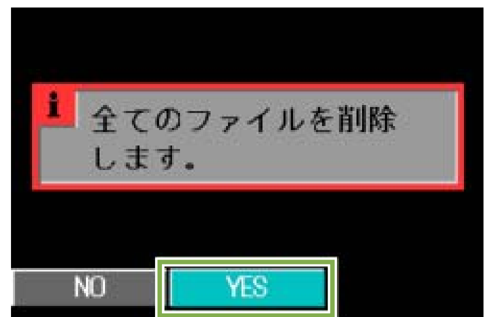
2 🗑（削除）ボタンを押す

3 ▶ボタンを押して、[全削除]を選び、OK ボタンを押す

削除の確認画面が表示されます。



4 ▶ボタンを押して［YES］を選ぶ



5 OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、削除が完了すると、再生画面に戻ります。

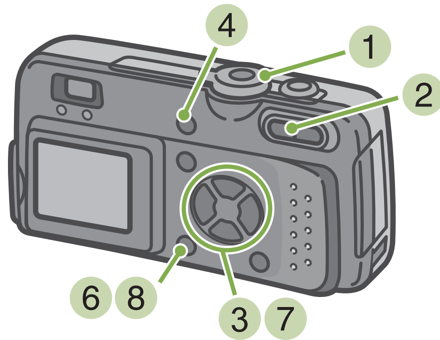


・静止画（または動画）を表示するには→ P.71、P.74
・静止画（または動画）をプロテクトするには→ P.85

複数を一度に削除する

選択した静止画や動画を一度に削除するには、次のように操作します。

ここで使うボタン



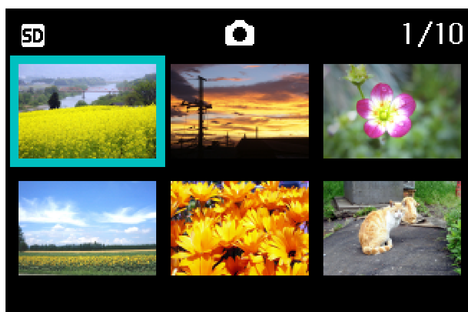
1 モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

最後に撮った静止画が表示されます。



2 ⊞（サムネイル表示）ボタンを押す

画面が 6 分割されて，静止画や動画（先頭のフレーム）が縮小して表示されます。



3 ▲▼◀▶ボタンを押して，削除したい静止画や動画を選ぶ

4 🗑（削除）ボタンを押す

静止画（または動画）の左上にゴミ箱のマークが表示されます。）

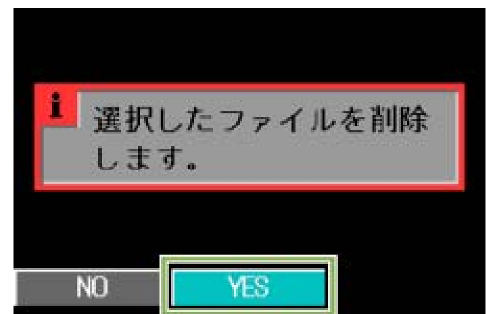


5 手順 3 と 4 を繰り返して，削除したい静止画や動画をすべて選択する

間違えて選択したときには，その静止画や動画で🗑（削除）ボタンを再度押すと選択を解除できます。

6 OK ボタンを押す

削除の確認画面が表示されます。



7 ▶ボタンを押して［YES］を選ぶ

8 OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され，削除が完了すると，一覧の画面に戻ります。



サムネイル表示の詳細について→ P.77

削除できないように設定する（プロテクト）

撮影した静止画や動画を誤って削除してしまわないように、保護する（プロテクトする）ことができます。プロテクトを設定するには、次の 3 種類の方法があります。

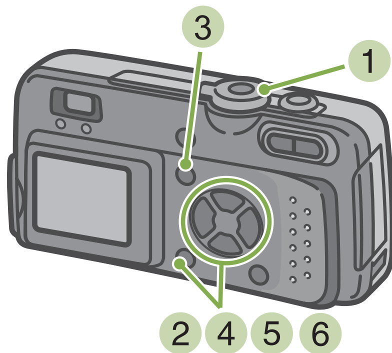
・1 枚（1 ファイル）をプロテクトする
・すべてを一度にプロテクトする
・複数を選択して一度にプロテクトする

なお、プロテクトした静止画や動画は、削除することはできませんが、フォーマットを行った場合には、プロテクト設定の有無にかかわらず、すべて消去されます。

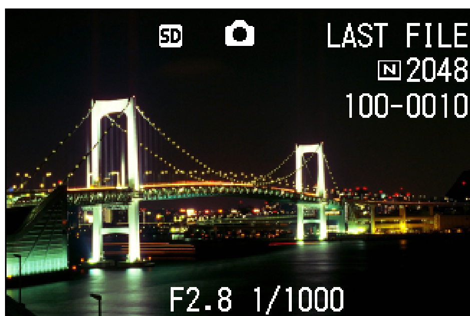
表示している静止画をプロテクトする

静止画（または動画）にプロテクトを設定するには、次のように操作します。

ここで使うボタン



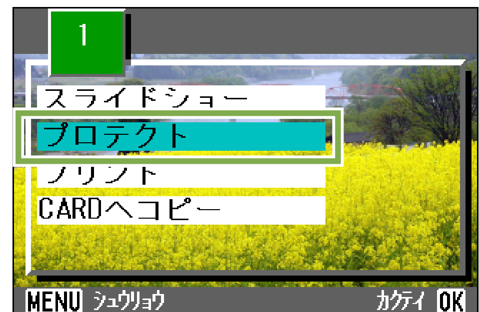
1 モードダイヤルを ▶（再生モード）に合わせる
最後に撮った静止画が表示されます。



2 プロテクトしたい静止画（または動画）を表示する

3 MENU ボタンを押す
再生メニューが表示されます。

4 ▼ボタンを押して、［プロテクト］を選び、OK ボタンを押す

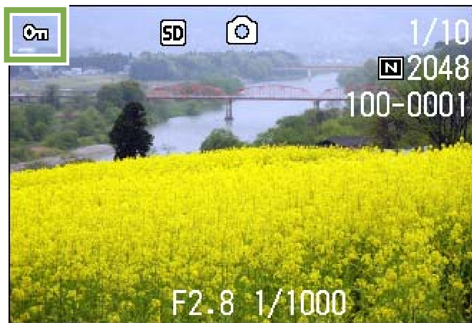


5 ▶ボタンを押して、［1 ファイル］を選ぶ



6 OK ボタンを押す

プロテクトが設定され，画面の左上にプロテクト設定を示すマークが表示されます。





1ファイルずつプロテクトを解除するには，プロテクトの設定と同じように操作します。

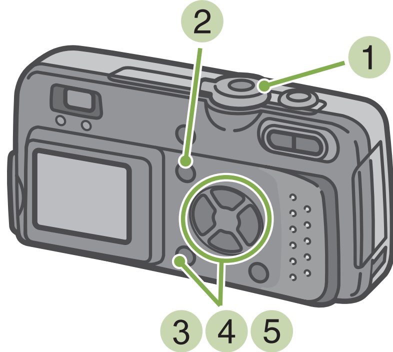


・ 静止画（または動画）を表示するには→ P.71、P.74
・ すべての静止画（または動画）にプロテクトを設定 / 解除するには→ P.87
・一覧画面で選択してプロテクトを設定 / 解除するには→ P.88

すべての静止画をプロテクトする

すべての静止画や動画にプロテクトを設定するには，次のように操作します。

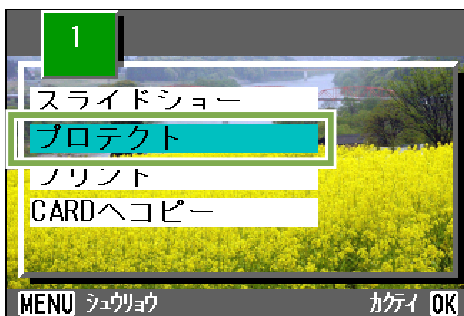
ここで使うボタン



1 モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

2 MENU ボタンを押す
再生メニューが表示されます。

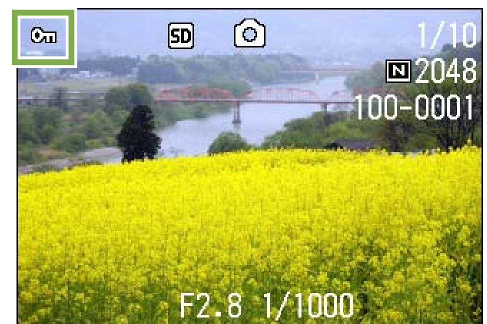
3 ▼ボタンを押して，［プロテクト］を選び，OK ボタンを押す



4 ▶ボタンを押して，［全ファイル］を選ぶ



5 ［選択］が選ばれていることを確認して，OK ボタンを押す
プロテクトが設定され，画面の左上にプロテクト設定を示すマークが表示されます。





すべての静止画（および動画）のプロテクトを解除するには，プロテクトの設定の手順 5 で［解除］を選択します。
すべてにプロテクトが設定されている場合だけでなく，複数の静止画や動画に設定されているプロテクトを一度に解除することもできます。

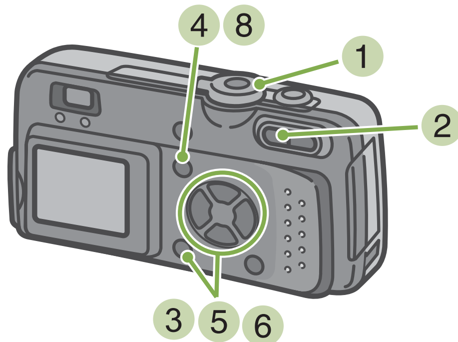


・1 枚の静止画に対してプロテクトを解除するには→ P.85
・一覧画面で選択してプロテクトを設定 / 解除するには→ P.88

複数の静止画や動画を一度にプロテクトする

選択した静止画や動画に対して、一度にプロテクトの設定を行うには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1. **モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる**

2. **（サムネイル表示）ボタンを押す**
   画面が 6 分割されて，静止画や動画（先頭のフレーム）が縮小して表示されます。

3. **▲▼◀▶ボタンを押して，プロテクトしたい，1 枚目の静止画（または動画）を選ぶ**

4. **MENU ボタンを押す**
   再生メニューが表示されます。

5. **▼ボタンを押して，［プロテクト］を選び，OK ボタンを押す**
   1 枚目の静止画（または動画）の左上にプロテクト設定のマークが表示されます。



6. **▲▼◀▶ボタンを押して，次にプロテクトの設定をしたい静止画や動画を選び，OK ボタンを押す**
   静止画（または動画）の左上にプロテクト設定のマークが表示されます。



7. **手順 6 を繰り返して，プロテクトの設定をしたい静止画や動画をすべて選択する**
   間違えて選択したときには，その静止画や動画で OK ボタンを再度押すと選択が解除できます。

8. **MENU ボタンを押す**
   一覧画面に戻ります。



複数の静止画や動画のプロテクトを解除するには，上記の手順で，解除したい静止画または動画を選択して実行します。



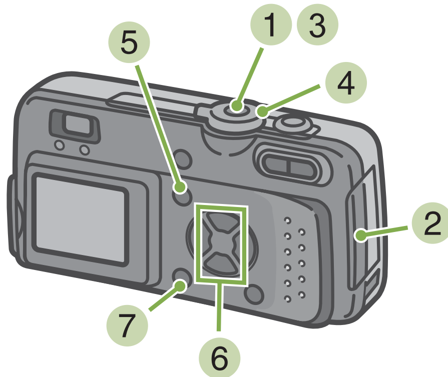
・ サムネイル表示の詳細について→ P.77
・ 1 枚の静止画のプロテクトを解除するには→ P.85
・ すべてのプロテクトを一度に解除するには→ P.87

内蔵メモリーの内容をカードへコピーする（CARD へコピー）

内蔵メモリーに記録した静止画や動画を一括して SD メモリーカードにコピーすることができます。

内蔵メモリー内の静止画や動画を SD メモリーカードにコピーするには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1 電源ボタンを押して、電源をオフにする

2 SD メモリーカードをセットする

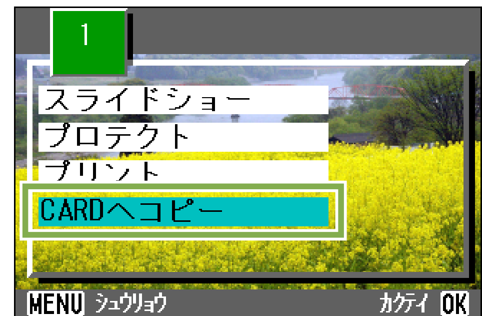
3 電源をオンにする

4 モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

5 MENU ボタンを押す

再生メニューが表示されます。

6 ▼ボタンを押して、［CARD へコピー］を選ぶ



7 OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、コピーが完了すると、再生画面に戻ります。



・コピー先の SD メモリーカードの容量が足りない場合には、容量不足を示すメッセージが表示されます。容量に収まる枚数だけコピーする場合には［YES］を選んで［OK］ボタンを押してください。コピーを取り消す場合には［NO］を選んで［OK］ボタンを押してください。
・SD メモリーカードから内蔵メモリーへは、コピーできません。

プリントサービスを利用する（プリント）

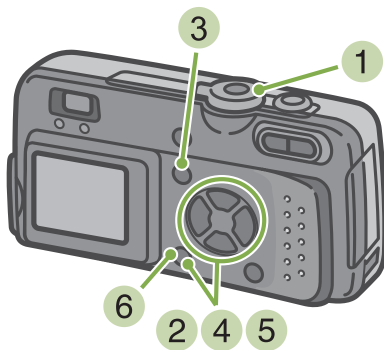
SD メモリーカードに記録した静止画は、デジタルカメラプリントサービス取り扱い店にお持ちいただくと、プリントすることができます。
プリントサービスを利用するには、プリントに必要な情報を設定する必要があります。その設定を DPOF（ディーポフ）設定と呼びます。
DPOF の設定をするには、次の 3 種類の方法があります。

- 1 枚（1 ファイル）に設定する
- すべての静止画に設定する
- 複数を選択して一度に設定する

表示している静止画に DPOF 設定する

静止画 1 枚に対して DPOF 設定をするには、次のように操作します。

ここで使うボタン



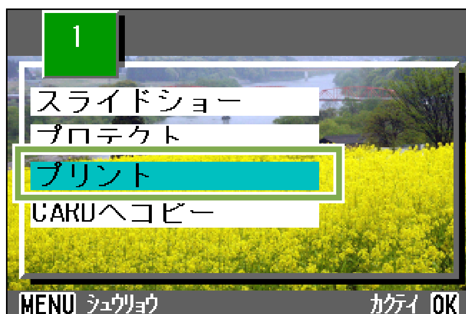
1 モードダイヤルを ▶（再生モード）に合わせる

2 設定したい静止画を表示する

3 MENU ボタンを押す

再生メニューが表示されます。

4 ▼ボタンを押して、［プリント］を選び、OK ボタンを押す

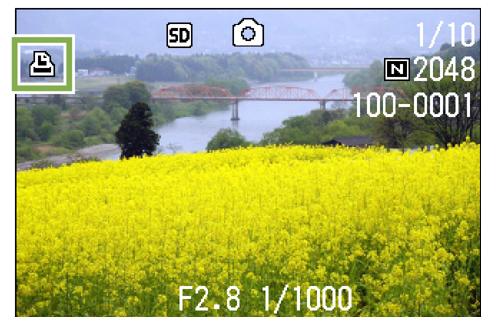


5 ▶ボタンを押して、［1 ファイル］を選ぶ



6 OK ボタンを押す

DPOF 設定が行われ、画面の左上に DPOF 設定を示すマークが表示されます。





- 1 枚ずつ DPOF 設定を解除するには、設定と同じように操作します。
- この機能では 1 静止画につき 1 枚プリントする設定ができます。

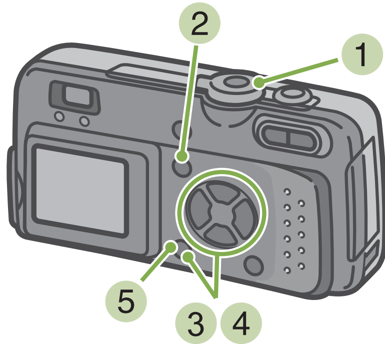


- 静止画を表示するには→ P.71、P.74
- すべての DPOF 設定を一度に解除するには → P.91

すべての静止画に DPOF 設定する

すべての静止画に対して DPOF 設定をするには、次のように操作します。

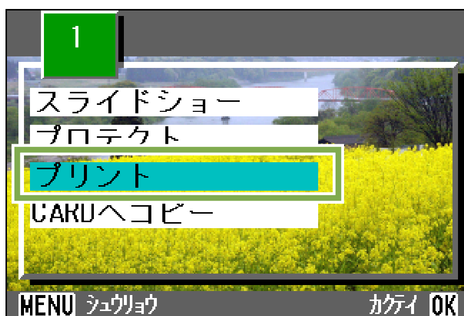
ここで使うボタン



1. モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

2. MENU ボタンを押す
再生メニューが表示されます。

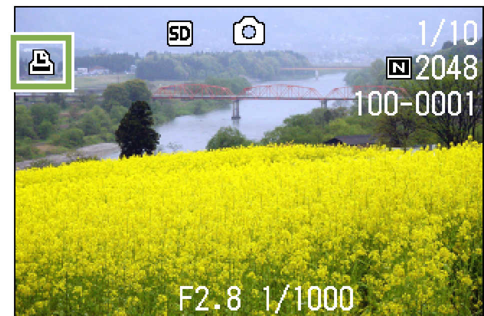
3. ▼ボタンを押して、［プリント］を選び、OK ボタンを押す



4. ▶ボタンを押して、［全ファイル］を選ぶ



5. ［選択］が選ばれていることを確認して、OK ボタンを押す
DPOF 設定が行われ、画面の左上に DPOF 設定を示すマークが表示されます。





・ すべての静止画の DPOF 設定を解除するには、設定の手順 5 で［解除］を選択します。
・ すべてに DPOF 設定されている場合だけでなく、複数の静止画の DPOF 設定を一度に解除することもできます。

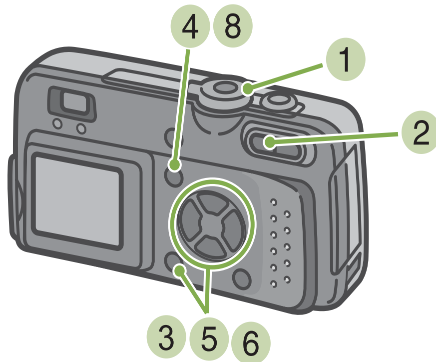


・ 1 枚の静止画の DPOF 設定を解除するには→ P.90
・ 一覧画面を選択して DPOF 設定を解除するには→ P.92

複数の静止画に DPOF 設定する

選択した静止画に対して、一度に DPOF 設定を行うには、次のように操作します。

ここで使うボタン



1 モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

2 ⊞（サムネイル表示）ボタンを押す

画面が６分割されて、静止画が縮小して表示されます。

3 ▲▼◀▶ボタンを押して、DPOF 設定したい１枚目の静止画を選ぶ

4 MENU ボタンを押す

再生メニューが表示されます。

5 ▼ボタンを押して、［プリント］を選び、OK ボタンを押す

１枚目の静止画の左上に DPOF 設定のマークが表示されます。

6 ▲▼◀▶ボタンを押して、次に DPOF 設定をしたい静止画を選び、OK ボタンを押す

静止画の左上に DPOF 設定のマークが表示されます。



7 手順 6 を繰り返して、DPOF 設定をしたい静止画をすべて選択する

間違えて選択したときには、その静止画で OK ボタンを再度押すと選択が解除できます。

8 MENU ボタンを押す

一覧画面に戻ります。

第６章　カメラの設定を変更する

ここでは、カメラの設定を変更する操作について説明します。



この章では､静止画と動画をまとめて「画像」と呼んでいます。

SD メモリーカードを使えるようにする（CARD フォーマット）

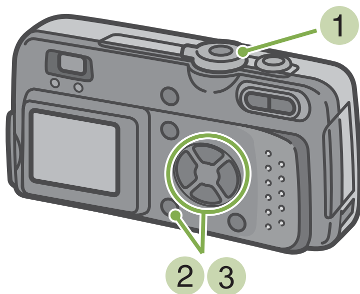
「使用できない CARD です。」等のエラーメッセージが表示されたり，パソコンなど他の機器でフォーマットしてしまった場合には，SD メモリーカードをフォーマットしてから使用する必要があります。



内蔵メモリーのフォーマットについて→ P.95

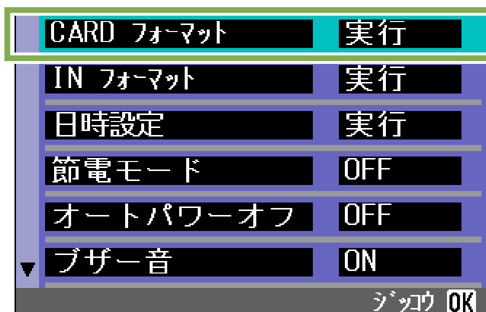
フォーマットするには，次のように操作します。

ここで使うボタン



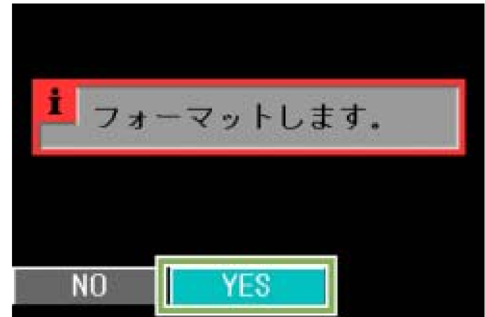
1 **モードダイヤルを SETUP に合わせる**
SETUP 画面が表示されます。

2 **［CARD フォーマット］を選び，OK ボタンを押す**



フォーマットの確認画面が表示されます。

3 **▶ボタンを押して［YES］を選び，OK ボタンを押す**



フォーマットが行われ，完了すると SETUP 画面に戻ります。
SD メモリカードが，入っていない場合には，メッセージが表示されます。
いったん電源をオフにしてから，SD メモリーカードをセットして，再度フォーマットの操作を行ってください。

誤って画像を消さないようにするには

カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にしておくと，画像の削除やフォーマットができなくなります。
解除すれば（スイッチを元の位置に戻す），削除もフォーマットもできるようになります。



画像の記録されているカードをフォーマットすると，内容がすべて消えてしまいます。



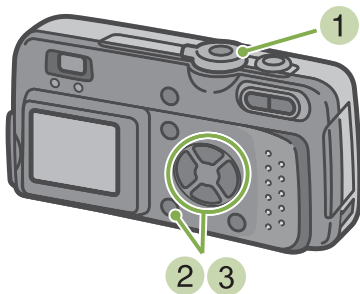
フォーマット
カードを画像データが書き込めるような状態にする処理のことです。初期化ともいいます。一般的には，フロッピーディスクなどを書き込めるようにする際によく使われる言葉です。

内蔵メモリーをフォーマットする（IN フォーマット）

内蔵メモリーに消去したくない画像が含まれているときは，フォーマットする前にリコー修理受付センターにご相談ください。

フォーマットするには，次のように操作します。

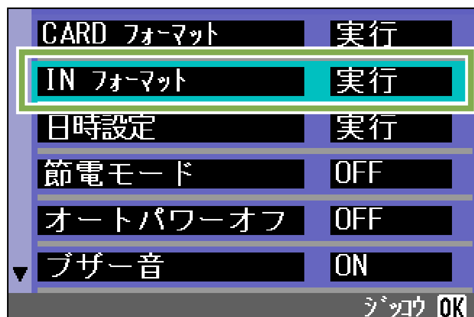
ここで使うボタン



1 **モードダイヤルを SETUP に合わせる**

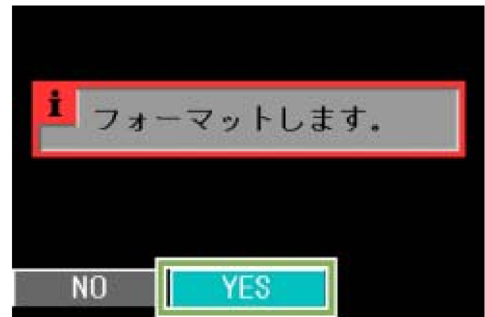
SETUP 画面が表示されます。

2 **［IN フォーマット］を選び，OK ボタンを押す**



フォーマットの確認画面が表示されます。

3 **▶ボタンを押して［YES］を選び，OK ボタンを押す**



フォーマットが行われ，完了すると SETUP 画面に戻ります。

節電モードの設定を変える（節電モード）

液晶モニターの消費電力を少なくして、電池の寿命を延ばすことができます。
購入時には、節電モードにしない設定（[OFF]）になっています。

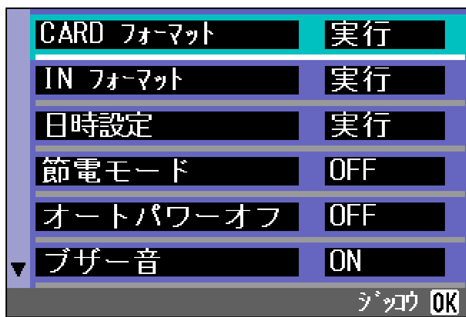
設定できる値

OFF（節電モードにしない）＊購入時の設定
ON（節電モードにする）

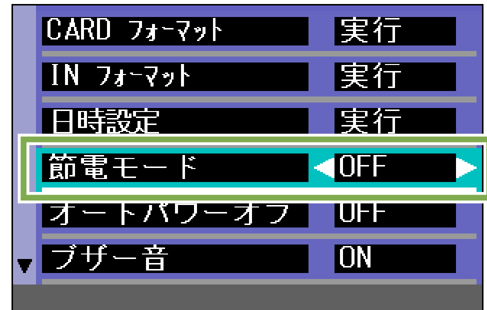
節電モードを変更するには、次のように操作します。

1 モードダイヤルを SETUP（SETUP モード）に合わせる

SETUP 画面が表示されます。



2 ▼ボタンを押して、[節電モード] を選ぶ



3 ◀▶ボタンを押して、設定値を選ぶ

以降、変更するまで、この設定です。



節電モードにした場合、消費電力は少なくなりますが、次のような制限があります。

- 液晶モニターの表示がオフになります。（クイックレビュー）ボタン、MENU ボタンを押すと液晶モニターの表示がオンになり、もう一度押すとオフになります。（セルフタイマー）ボタン、（フラッシュ）ボタン、（マクロ）ボタンを押しても、液晶モニターの表示のオン / オフは切り替わりません。
- 処理時間が遅くなることがあります。
- 撮影モードでのみ効果があります。再生モードでは動作しません。

オートパワーオフの設定を変える（オートパワーオフ）

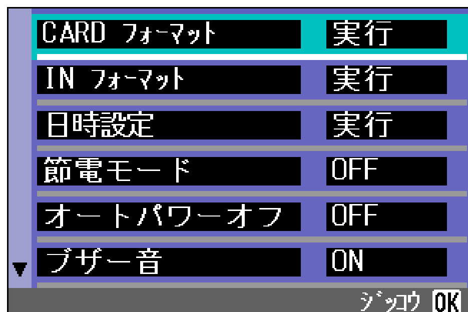
設定した時間内にカメラの操作をしないと，節電のために自動的に電源がオフになります（オートパワーオフ）。
購入時のオートパワーオフは 1 分に設定されていますが，この設定を変更することができます。

設定できる値

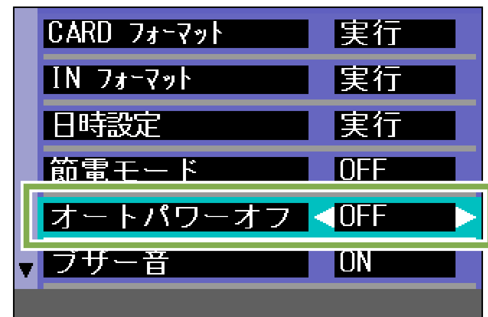
OFF（オートパワーオフ機能は働きません）
1 分 * 購入時の設定
5 分
30 分

オートパワーの設定を変えるには，次のように操作します。

1 モードダイヤルを SETUP（SETUP モード）に合わせる
SETUP 画面が表示されます。



2 ▼ボタンを押して，［オートパワーオフ］を選ぶ



3 ◀▶ボタンを押して，設定値を選ぶ

以降，変更するまで，この設定です。



・オートパワーオフで電源がオフになったとき，引き続きカメラを使用したい場合には，もう一度電源ボタンを押してオンにします。
・オートパワーオフは，パソコンと接続しているときには働きません。
・インターバル撮影をするときには，ここでの設定は無効になり，オートパワーオフは働きません。

記録時にブザー音を鳴らす（ブザー音）

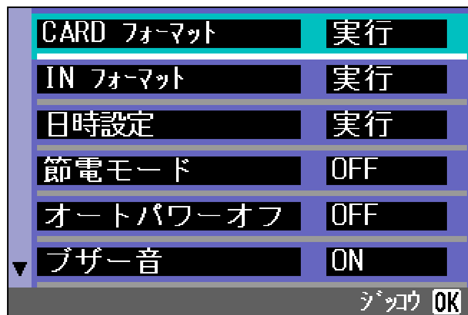
撮影した画像は、内蔵メモリーや SD メモリーカードにすぐに記録されます。記録時には、「ピッ」というブザー音が確認のために鳴ります。
ブザー音を鳴らさないように設定を変更することができます。

設定できる値

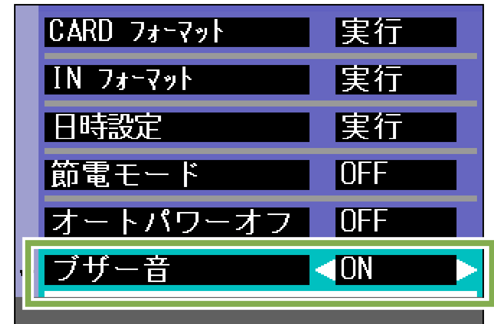
ON（鳴らす）＊購入時の設定
OFF（鳴らさない）

ブザー音の設定を変更するには、次のように操作します。

1 モードダイヤルを SETUP（SETUP モード）に合わせる
SETUP 画面が表示されます。



2 ▼ボタンを押して、［ブザー音］を選ぶ



3 ◀▶ボタンを押して、設定値を選ぶ

以降、変更するまで、この設定です。

ファイル名の設定を変える（CARD 連続 No.）

撮影した静止画には、自動的に連番のファイル名が付き、内蔵メモリーや SD メモリーカードに記録されます。
SD メモリーカードを入れ替えた場合のファイル名を、前のカードからの連番にするか、しないかを設定できます。

設定できる値

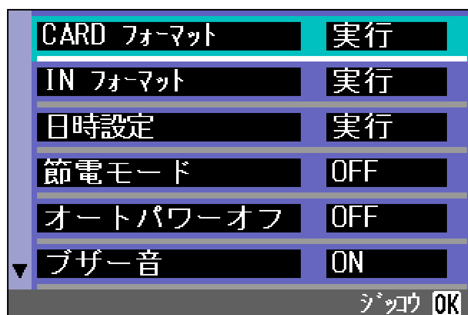
ON（連番にする）
撮影した静止画に、R0010001.jpg 〜 R9999999.jpg までの、「R」の後に 7 桁の通し番号が付いたファイル名が、自動的に付きます。
SD メモリーカードを別のカードに替えたときにも、前のカードからの連番でファイル名が付くように設定されています。

OFF（連番にしない）＊購入時の設定
新しいカードをセットするたびに、RIMG0001.jpg 〜 RIMG9999.jpg までのファイル名が付きます。
RIMG9999 を超えると、それ以上は記録できません。

ファイル名の設定を変更するには、次のように操作します。

1 モードダイヤルを SETUP（SETUP モード）に合わせる

SETUP 画面が表示されます。



2 ▼ボタンを押して、［CARD 連番 No.］を選ぶ



3 ◀▶ボタンを押して、設定値を選ぶ

以降、変更するまで、この設定で撮影されます。



内蔵メモリーに記録する場合には、常に［CARD 連番 No.］の設定が［OFF］の場合と同じにファイル名が付けられます。



拡張子
ファイル名の後のピリオドに続く文字（「jpg」）は拡張子と呼ばれ、ファイルの種類を示します。「jpg」は JPEG ファイルであることを示しています。拡張子は必ずファイル名とピリオド「.」で区切られます。

JPEG ファイル
「ジェイペグ」ファイルと読みます。画像データをファイルとして保存するときのファイル形式の１つです。静止画を記録するときによく使われ、ファイルサイズが小さいことが特長です。

画像確認時間を変える（画像確認時間）

シャッターボタンを押した直後に、撮影した静止画が確認のために表示されます。
確認時間は、購入時には 1 秒に設定されていますが、設定を変更することができます。

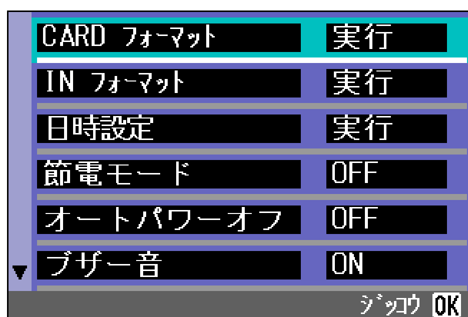
設定できる値

OFF（確認のための表示を行わない）
1 秒 * 購入時の設定
2 秒
3 秒

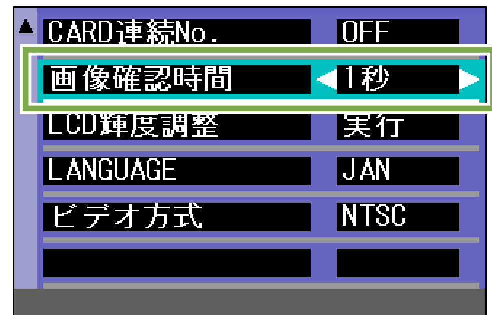
確認時間を変更するには、次のように操作します。

1 モードダイヤルを SETUP（SETUP モード）に合わせる

SETUP 画面が表示されます。



2 ▼ボタンを押して、［画像確認時間］を選ぶ



3 ◀▶ボタンを押して、設定値を選ぶ

以降、変更するまで、この設定で撮影されます。

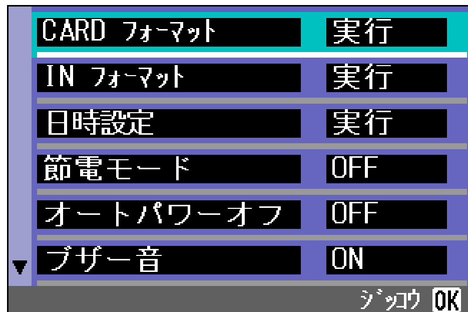
液晶モニターの明るさを調整する（LCD 輝度調整）

液晶モニターの明るさを調整することができます。

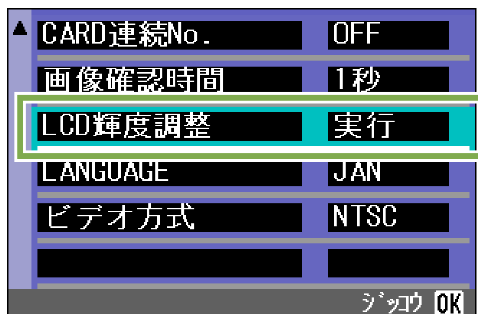
液晶モニターの明るさを調整するには、次のように操作します。

1 モードダイヤルを SETUP（SETUP モード）に合わせる

SETUP 画面が表示されます。



2 ▼ボタンを押して、［LCD 輝度調整］を選ぶ



3 OK ボタンを押す

LCD 輝度調整バーが表示されます。



4 ▲▼ボタンを押して、明るさを調整する

☀側に変更すると、暗くなります。☀側に変更すると、明るくなります。バーの後ろに表示されている画面の明るさが、設定値にしたがって変化します。

5 設定したい明るさになったら、OK ボタンを押す

SETUP 画面に戻ります。

以降、変更するまで、この設定で表示されます。

表示言語を変える（LANGUAGE）

液晶モニターに表示される言語を変更することができます。

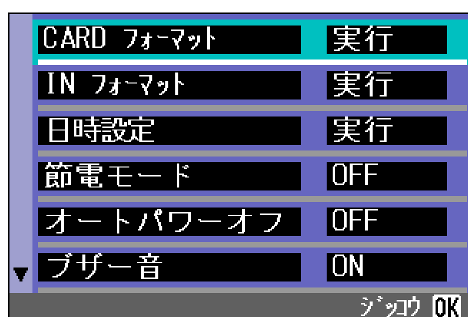
設定できる値

JPN（日本語）＊購入時の設定
ENG（英語）
FRA（フランス語）
GER（ドイツ語）
簡体（中国語：簡体字）

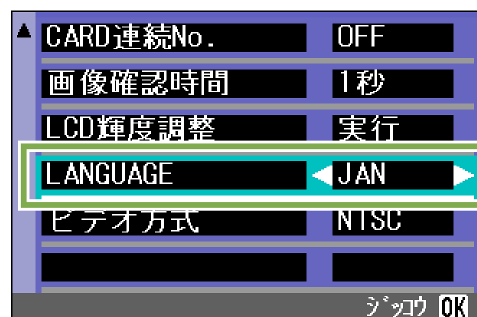
表示言語を変えるには、次のように操作します。

1 モードダイヤルを SETUP（SETUP モード）に合わせる

SETUP 画面が表示されます。



2 ▼ボタンを押して、［LANGUAGE］を選ぶ



3 ◀▶ボタンを押して、設定値を選ぶ

以降、変更するまで、この設定で表示されます。

テレビで見るときの再生方式を変える（ビデオ方式）

ビデオケーブル（付属品）でテレビにカメラを接続して、テレビの画面で静止画や動画を見ることができます。
テレビなどの機器でのビデオ方式は NTSC 方式（日本などで使用されている）に設定されています。接続する機器が PAL 方式（ヨーロッパ等で使用されている）の場合には、PAL 方式に設定してから接続します。

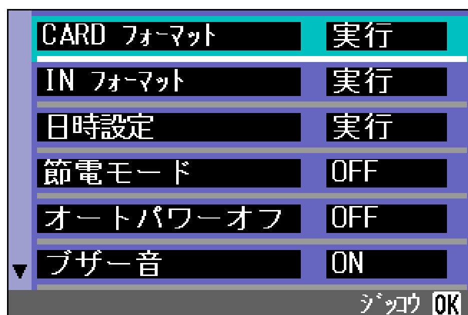
設定できる値

NTSC* 購入時の設定
PAL

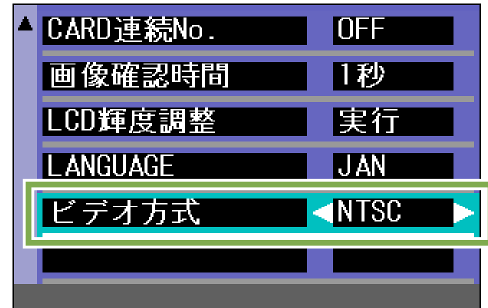
再生方式を変更するには、次のように操作します。

1 モードダイヤルを SETUP（SETUP モード）に合わせる

SETUP 画面が表示されます。



2 ▼ボタンを押して、［ビデオ方式］を選ぶ



3 ◀▶ボタンを押して、設定値を選ぶ

以降、変更するまで、この設定です。



ビデオケーブルをカメラに接続している間は、液晶モニターの表示が消えます。



テレビの画面で静止画を見るには→ P.80

第 2 部　パソコンで画像（静止画 / 動画）を楽しむ

第 1 章　画像をパソコンに取り込む

ここでは、静止画や動画などの画像をパソコンに取り込んで表示する方法について説明します。



取り込みのためのソフトをパソコンに入れる前に、カメラをパソコンと接続しないでください。
もし、ソフトを入れる前にカメラとパソコンを接続して画面に［新しいハードウェアの追加ウィザード］画面が表示されてしまった場合には、［キャンセル］をクリックしてカメラとパソコンの接続を外してから、ソフトをパソコンに入れる操作を行ってください。



- これ以降の説明文中では、静止画と動画をまとめて「画像」と呼んでいます。
- カメラから画像を取り込む場合には、確実に電源を供給できる AC アダプター（別売り）を使用することをお勧めします。ここでは AC アダプターの使用を前提に説明しています。

付属のソフトでできること

カメラに付属している CD-ROM には、パソコンへカメラの画像を取り込み、パソコンで表示するために、次のソフトウェアが入っています。

Windows 用

RICOH Gate L for Windows （リコー ゲート エル フォー ウィンドウズ）	画像を取り込むためのソフトウェア（Windows XP を除く）
WIA ドライバー（ダブリュアイエイ　ドライバー）	画像を取り込むためのソフトウェア（Windows XP 用）
USB ドライバー（ユーエスビー ドライバー）	カメラとパソコンを接続するためのソフトウェア
DU-10（ディーユーテン）	パソコンで画像を表示するためのソフトウェア

Macintosh 用

RICOH Gate L for Macintosh（リコー ゲート エル フォー マッキントッシュ）	画像を取り込むためのソフトウェア（Macintosh 用）
USB ドライバー（ユーエスビー ドライバー）	カメラとパソコンを接続するためのソフトウェア
マウンター	画像を取り込むためのソフトウェア

OS と使用ソフトの対応表

ご使用の OS によって、下記の表のように使用できるソフトが異なります。

	Win XP	Win 98/98SE/Me/2000	MacOS8.6 ～ 9.2.2	MacOS X 10.1.2 ～ 10.1.4
RICOH Gate L	×	○	○	×
DU-10	○	○	×	×
USB ドライバー	×	○	○	○
WIA ドライバー	○	×	×	×
マウンター	×	×	○	○



- MacOS X 10.1.2～10.1.4をご使用の場合には､アップル社製｢iPhoto(アイフォト)｣で画像の表示ができます。
- 動画ファイルは iPhoto で表示することができません。「QuickTime」を使用してください。
- Windows での動画ファイルの再生には、DirectX を利用しています。このバージョンが古いと動画再生ができませんので、新しいものをインストールしてください。

DirectX のインストール

1. Caplio RR30 Software CD-ROM をパソコンにセットし、エクスプローラで CD-ROM 内の［DirectX］フォルダを選択する
2. Windows98/98SE/Me の場合は［Win98Me］フォルダ内の［DX81xxx.exe］を、Windows2000 の場合は［Win2000］フォルダ内の［DX81NTxxx.exe］をダブルクリックする
（xxx は言語バージョンによって異なります）

付属ソフトを使うために必要な環境

付属ソフトを使うためには、次の環境が必要です。
ご使用のパソコンやパソコンの説明書等で、ご確認ください。

Windows

対応パソコン	Windows 98/98SE/Me/2000/XP がプレインストールされ，USB ポートを標準装備し PC メーカー側で USB ポートの動作を保証しているパソコン
CPU	Pentium 2 以上
メモリ	Windows 98/98SE：32MB 以上（推奨 96MB 以上）
	Windows Me：64MB 以上（推奨 96MB 以上）
	Windows 2000：128MB 以上（推奨 256MB 以上）
	Windows XP：128MB 以上（推奨 256MB 以上）
インストール時のハードディスクの空き容量	Windows 98/98SE：10MB 以上
	Windows Me：10MB 以上
	Windows 2000：10MB 以上
	Windows XP：10MB 以上
ディスプレイの解像度	640 × 480 ドット以上（推奨 800 × 600 ドット以上）
ディスプレイの表示色	256 色以上（推奨 65000 色以上）
CD-ROM ドライブ	上記パソコン本体で使用可能な CD-ROM ドライブ
USB ポート	上記パソコン本体で使用可能な USB ポート



・OS をアップグレードしたパソコンの場合，正常に USB 機能が動作しないことがありサポートできません。
・OS のシステム環境の変化やサービスパックなどのリリースにより，正しく動作しないことがあります。
・拡張機能（PCI バスなど）を利用して後付された USB ポートへの接続はサポートできません。
・HUB 等の他の USB 機器との組合せで使用した場合，正しく動作しないことがあります。
・動画などの大きなファイルを扱う場合は，より大きなメモリー環境で利用する事をお薦めします。

Macintosh

基本ソフトウェア	MacOS8.6 ～ 9.2.2 / MacOS X 10.1.2 ～ 10.1.4
Macintosh 本体	本体 USB ポートを標準装備している Apple 社製 Macintosh シリーズ
内蔵メモリ	MacOS8.6 ～ 9.2.2　　96MB 以上 (推奨 128MB 以上) MacOS X 10.1.2 ～ 10.1.4　　128MB 以上 (推奨 256MB 以上)
アプリケーション割り当てメモリ（Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 の場合）	圧縮ユーティリティーを使用せずに、アプリケーションメモリとして 16MB 以上（推奨 24MB 以上）
ハードディスクの空き容量	MacOS8.6 ～ 9.2.2　　10MB 以上 (インストール時) MacOS X 10.1.2 ～ 10.1.4　　100MB 以上 (インストール時)
	100MB 以上（動作時）
ディスプレイの解像度	640 × 480 ドット以上（推奨 800 × 600 ドット以上）
ディスプレイの表示色	256 色以上（推奨 32000 色以上）
CD-ROM ドライブ	上記 Macintosh 本体で使用可能な CD-ROM ドライブ
USB ポート	上記 Macintosh 本体で使用可能な USB ポート



・ OS のシステム環境の変化などにより，正しく動作しないことがあります。
・ 拡張機能（PCI バスなど) を利用して後付された USB ポートへの接続はサポートできません。
・ ※ HUB 等の他の USB 機器との組合せで使用した場合，正しく動作しないことがあります。



・ 動画などの大きなファイルを扱う場合は，より大きなメモリー環境で利用する事をお薦めします。MacOS8.6 ～ 9.2.2 の場合，より大きなメモリー環境で利用するとともに，より多くのアプリケーションメモリを割り当ててください。
・ ディスプレイの表示色は，256 色以上表示できれば動作しますが，できるだけ 32000 色以上でお使いいただくことをお勧めします。
・ ご使用のパソコンに USB ポートがない場合には，PC カードスロットやカードリーダーを利用すると，画像を SD メモリーカードからパソコンに取り込むことができます。



SD カードを使ってパソコンに画像を取り込むときには→ P.130

ソフトをインストールする

画像をパソコンに取り込むためのソフトをパソコンに入れます（ソフトをパソコンに入れる操作を「インストール」といいます）。
ご使用の OS ごとにインストール方法を説明します。

ご使用の OS	インストールするソフト	インストール方法の参照ページ
Windows 98 98SE Me 2000	RICOH Gate L DU-10 USB ドライバー 『使用説明書（使いこなしガイド）』	P.109
Windows XP	DU-10 WIA ドライバー 『使用説明書（使いこなしガイド）』	P.112
MacOS8.6 ～ 9.2.2	RICOH Gate L マウンター USB ドライバー 『使用説明書（使いこなしガイド）』	P.114
MacOS X 10.1.2 ～ 10.1.4	マウンター USB ドライバー 『使用説明書（使いこなしガイド）』	P.116

Windows 98/98SE/Me/2000 をご使用の場合

Windows 2000 の場合、インストールは管理者権限を持ったユーザーが行ってください。

1 **パソコンを起動する**

2 **パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM をセットする**

パソコンの画面に、自動的に次の画面が表示されます。



3 **［Install Software］をクリックする**

しばらくすると［設定言語の選択］画面が表示されます。



4 **使用言語を確認して［OK］ボタンをクリックする**

［InstallShield　ウィザード］へ［ようこそ］画面が表示されます。



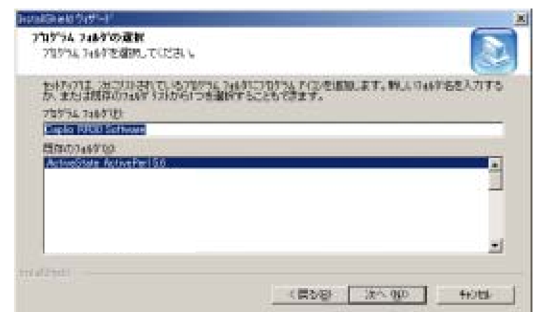
5 **［次へ］ボタンをクリックする**

［インストール先の選択］画面が表示されます。



6 **インストール先を確認して［次へ］ボタンをクリックする**

［プログラムフォルダの選択］画面が表示されます。



7 プログラムフォルダを確認して［次へ］ボタンをクリックする

インストールが始まり，しばらくすると次の画面が表示されます。



8 ［ 完了 ］ボタンをクリックする

インストールが終了します。



・ 自動的に表示されない場合には，次のようにしてください。
　①［マイ　コンピュータ］アイコンをダブルクリックして開き，CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックする
　② 表示された CD-ROM ドライブのウィンドウ内にある AutoRun ファイル(AutoRun.exe)をダブルクリックする
・ インストール後に，再起動が必要な場合があります。

ソフトを削除するには（Windows 98/98SE/Me/2000 の場合）

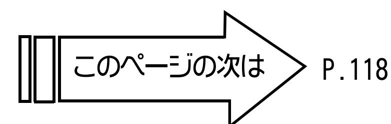
インストールしたソフトを削除したいときには、次のように操作します（ソフトをパソコンから削除する操作を「アンインストール」といいます）。
Windows 2000 の場合、アンインストールは管理者権限を持ったユーザーが行ってください。

1 Windows のタスクバーにある［スタート］をクリックする
［スタート］メニューが表示されます。

2 ［設定］を選択し、［コントロールパネル］を選択する
コントロールパネルが表示されます。

3 ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする




このページの次は P.118

4 「Caplio RR30 Software」を選択し、［追加と削除］をクリックする



5 使用言語を確定して［OK］ボタンをクリックする

6 削除を確認するメッセージが表示されるので、［はい］をクリックする

7 削除が開始され、完了するとメッセージが表示されるので［完了］ボタンをクリックする
場合によっては、この画面に再起動を促すメッセージが表示されます。そのときには再起動を選択してから［完了］をクリックし、再起動してください。

8 ［OK］ボタンをクリックして［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックスを閉じる

9 ［×］（閉じる）ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じる

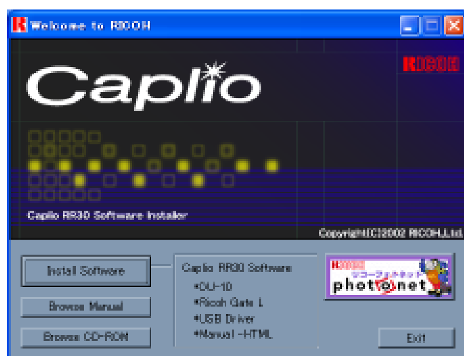
Windows XP をご使用の場合

インストールは管理者権限を持ったユーザーが行ってください。

1 パソコンを起動する

2 パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM をセットする

パソコンの画面に、自動的に次の画面が表示されます。

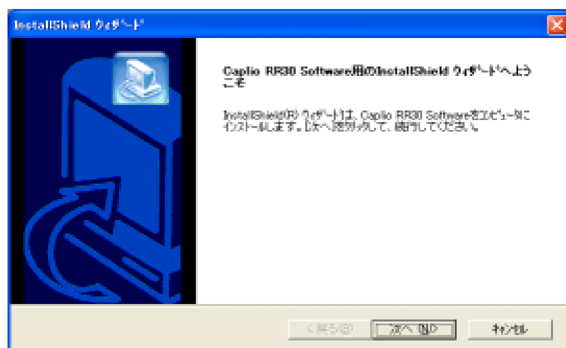


3 ［Install Software］をクリックする

しばらくすると［設定言語の選択］画面が表示されます。

4 使用言語を確認して［OK］ボタンをクリックする

［InstallShield　ウィザードへようこそ］画面が表示されます。

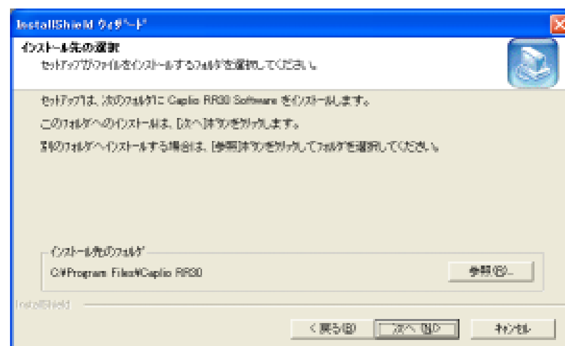


5 ［次へ］ボタンをクリックする

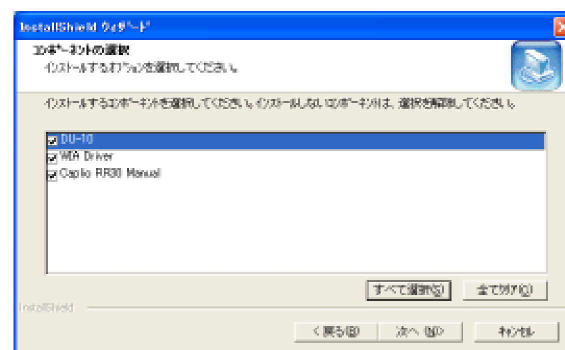
［インストール先の選択］画面が表示されます。

6 インストール先を確認して［次へ］ボタンをクリックする

［コンポーネントの選択］画面が表示されます。



7 インストールするソフトを確認して［次へ］ボタンをクリックする

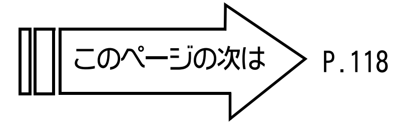


以降、メッセージにしたがって操作を続けると、［InstallShieldウィザードの完了］画面が表示されます。
再起動を促すメッセージが表示された場合は、［ はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択して、［ 完了 ］をクリックするとパソコンが再起動します。



自動的に表示されない場合には、次のようにしてください。
①タスクバーの［スタート］ボタンをクリックして、スタートメニューから［マイ　コンピュータ］を選択する
②表示された［マイ　コンピュータ］ウィンドウで CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックする
③表示された CD-ROM ドライブのウィンドウ内にある AutoRun ファイル（AutoRun.exe）をダブルクリックする

ソフトを削除するには（Windows XP の場合）



P.118

インストールしたソフトを削除したいときには、次のように操作します（ソフトをパソコンから削除する操作を「アンインストール」といいます）。
アンインストールは管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 **Windows のタスクバーにある［スタート］をクリックする**
［スタート］メニューが表示されます。

2 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択する**
コントロールパネルが表示されます。

3 **［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックする**

4 **「Caplio RR30 Software」を選択し，［変更と削除］をクリックする**

5 **使用言語を確定して［OK］ボタンをクリックする**

6 **削除を確認するメッセージが表示されるので，［OK］をクリックする**

7 **削除が開始され，完了するとメッセージが表示されるので［完了］ボタンをクリックする**
場合によっては，この画面に再起動を促すメッセージが表示されます。そのときには再起動を選択してから［完了］をクリックし，再起動してください。

8 **［OK］ボタンをクリックして［プログラムの追加と削除］ダイアログボックスを閉じ，［×］（閉じる）ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じる**
アンインストール後は，一度パソコンを再起動してください。

Mac OS 8.6～9.2.2をご使用の場合

過去に RDC-i Mounter 6.0 をインストールしている場合は以下の方法でファイルを削除して下さい。

・コントロールパネルフォルダ内の RDC で始まるファイルを削除する
・機能拡張フォルダ内の RDC で始まるファイルを削除する
・初期設定フォルダ内の RDC で始まるファイルを削除する

1 Macintosh の電源を入れる

2 CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM をセットする

CD-ROM アイコンがデスクトップに表示されます。

3 CD-ROMアイコンをダブルクリックし,[MacOS9] フォルダを開く

[Caplio RR30 Installer] のアイコンが表示されます。

4 インストーラー（[Caplio RR30 Installer]）アイコンをダブルクリックする



Caplio RR30 Installer

インストーラーが起動し，スタート画面が表示されます。

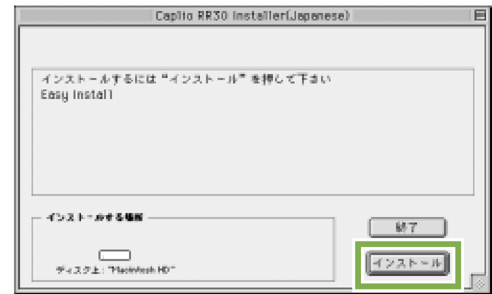
5 [Caplio RR30 Software] をクリックする



6 [OK] ボタンをクリックする

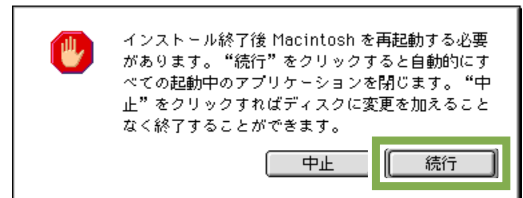
インストール画面が表示されます。

7 [インストール] をクリックする



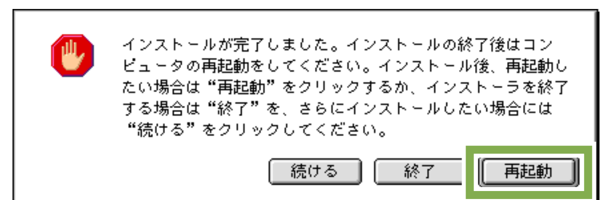
8 [続行] をクリックする

インストールが行われ，インストール完了のメッセージが表示されます。



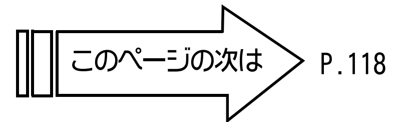
9 [再起動] ボタンをクリックする

Macintosh が再起動します。



これ以降，Macintosh を起動すると，同時に RICOH Gate L も起動します。

ソフトを削除するには（Mac OS 8.6 〜 9.2.2 の場合）



P.118

インストールしたソフトを Macintosh から削除（アンインストール）する場合は、インストールしたファイルをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてください。

インストールされているファイル名とインストール先フォルダは、次のとおりです。

ファイル名	インストール先フォルダ
RICOH Gate L	システムフォルダ：コントロールパネル
RICOH Gate L Prefs	システムフォルダ：初期設定
Caplio Mounter	システムフォルダ：機能拡張
Caplio Mounter Prefs	システムフォルダ：初期設定

Mac OS X 10.1.2 ～ 10.1.4 をご使用の場合

1 Macintosh の電源を入れる

2 CD-ROM ドライブに，付属の CD-ROM をセットする

3 CD-ROM アイコンをダブルクリックし，Mac OS X フォルダを開く

［Caplio Mounter.pkg］のアイコンが表示されます。

4 マウンターアイコン（［Caplio Mounter.pkg］）をダブルクリックする

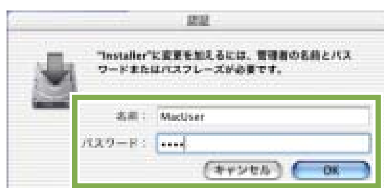
インストーラーが起動し，管理者パスワードを要求する画面が表示されます。

5 カギのアイコンをクリックする



認証ウィンドウが表示されます。

6 管理者の名前とパスワードを入力し，［OK］をクリックする



7 ［続ける］をクリックする



インストール先を選択する画面が表示されます。

8 インストールするボリュームをクリックし，［続ける］をクリックする

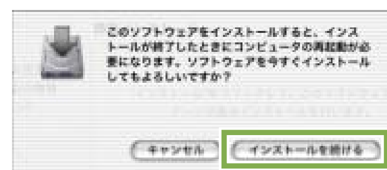


9 ［インストール］をクリックする



インストール終了後，Macintosh を再起動する必要があることを確認するメッセージが表示されます。

10 ［インストールを続ける］をクリックする



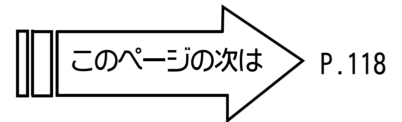
インストールが行われ，しばらくするとインストール完了のメッセージが表示されます。

11 ［再起動］をクリックする



Macintosh が再起動します。

ソフトを削除するには（Mac OS X 10.1.2 ～ 10.1.4 の場合）



P.118

インストールしたソフトを Macintosh から削除（アンインストール）する場合は、インストールしたファイルをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてください。

インストールされているファイル名とインストール先フォルダは、次のとおりです。

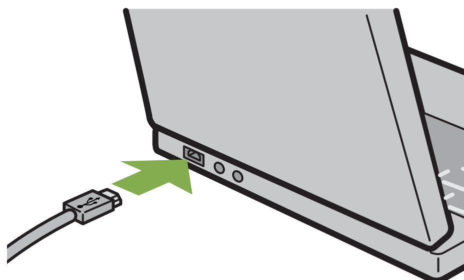
ファイル名	インストール先フォルダ
Caplio Mounter	/Application
Caplio Mounter Prefs	ホームディレクトリの Library/Preferences
CaplioStartup	CaplioStartup″Terminal プログラムを使用して ¨sudo rm -rf /System/Library/Startupitems/CaplioStartup¨ を入力して削除″

カメラとパソコンを接続する

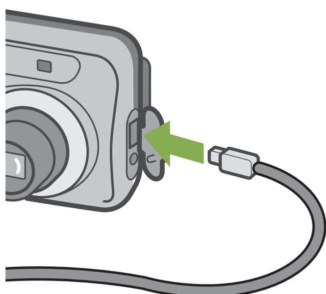
ソフトをパソコンに入れたら、カメラとパソコンを接続します。

1 カメラの電源がオフになっていることを確認する

2 付属の USB ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する



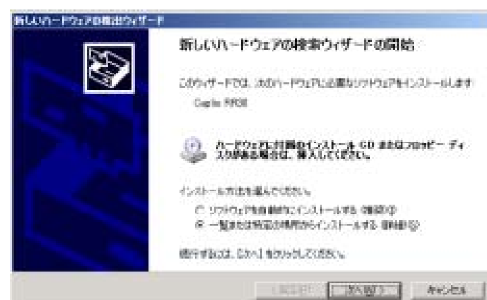
3 カメラの端子カバーを開けて、USB ケーブルを USB 端子に接続する



カメラの電源がオンになります。

Windows XP の場合、初めてカメラと PC を USB ケーブルで接続すると［ 新しいハードウェアの検出ウィザード ］画面が表示されます。

1 ［ 一覧または特定の場所からインストールする（ 詳細 ）］を選択する



2 ［ 次へ ］を選択する

3 ［ 次の場所で最適のドライバを検索する ］－［ 次の場所を含める ］を選択し、［ 参照 ］ボタンを押す



4 Caplio RR30 Software をインストールした場所にある［WIA driver］フォルダ（ 基本は C:¥Program Files¥Caplio RR30¥WIA driver）を選択し、［ 次へ ］を選択する

WIA Driver がインストールされます。



・カメラとパソコンの接続をやめるには
　①カメラの電源ボタンを押して、電源をオフにする
　② USB ケーブルを外す
・カメラから画像を取り込む場合には、電源に AC アダプター（ 別売り ）を使用することをお勧めします。

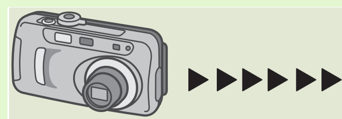
画像をパソコンに取り込む

カメラとパソコンの接続ができたら，画像をパソコンに取り込むことができます。



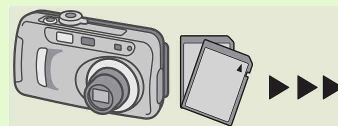
取り込み時には，次の記録先からパソコンに取り込まれます。

本体のみのとき



内蔵メモリーから取り込み

SD メモリーカードがセットされているとき



SD メモリーカードから取り込み



記録時のファイル名を変更するには→ P.99

ご使用になっているパソコン環境によって，取り込み方法が下記の表のように異なります。参照ページの手順にしたがって取り込みを行ってください。

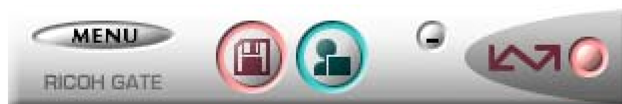
Windows 98/98SE/Me/2000 の場合	RICOH Gate L を使って取り込みます。　→　P.120
Windows XP の場合	Windows XP の機能を使って取り込みます。　→　P.121
Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 の場合	RICOH Gate L を使用して取り込みます。　→　P.123
Mac OS X 10.1.2 ～ 10.1.4 の場合	マウンターを使って取り込みます。　→　P.124

Windows 98/98SE/Me/2000 の場合

RICOH Gate L は［My Documents］フォルダの中に自動的に［Caplio］フォルダを作成します。取り込んだ画像は，撮影日付ごとのフォルダに入れて［Caplio］フォルダ内に保存されます。

1 カメラとパソコンを USB ケーブルで接続する

カメラの電源がオンになり，RICOH Gate L が起動して，RICOH Gate L のウィンドウが表示されます。



自動的に画像の転送が開始されます。
取り込みが完了すると，DU-10 が起動し，取り込んだ画像を見ることができます。



・RICOH Gate L を終了する前に，カメラの電源をオフにしたり，USB ケーブルを抜いたりすると，RICOH Gate L のウィンドウは最小化して Windows のタスクバー上にアイコンとして表示されます。アイコンをクリックすると，再びウィンドウが表示されます。
・もし，［MENU］ボタンをクリックして，［終了］を選択して RICOH Gate L を終了させた後，再度 RICOH Gate L を起動させたい場合には，次のように操作してください。
［スタート］メニューから［プログラム］→［Caplio RR30 Software］→［RICOH Gate L］を選択する
・画像の取り込み先（保存先）フォルダは変更することができます。

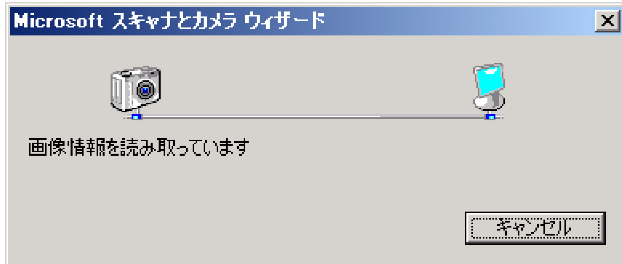


・保存先フォルダを変更したいときには→ P.126
・RICOH Gate L の起動について→ P.125
・RICOH Gate L の画面について→ P.125
・画像の転送がうまくできないときには→ P.149

Windows XP の場合

1 カメラとパソコンを USB ケーブルで接続する

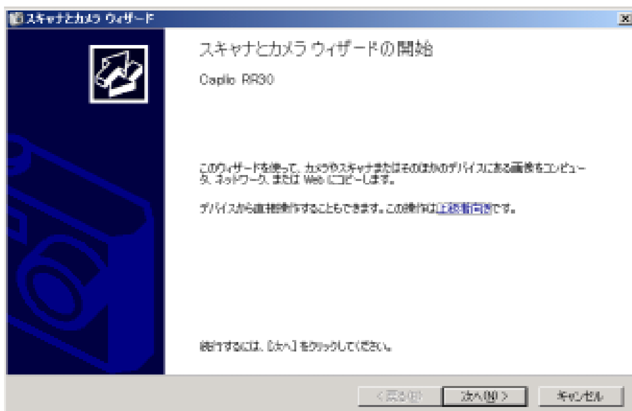
カメラの電源がオンになり，ダイアログボックスが表示されます。



もし，以下の画面が表示されたら，
［Microsoft　スキャナとカメラのウィザード　画像をカメラまたはスキャナからダウンロードします］を選択し，［この動作には常にこのプログラムを使う］にチェックを入れて，［OK］をクリックしてください。

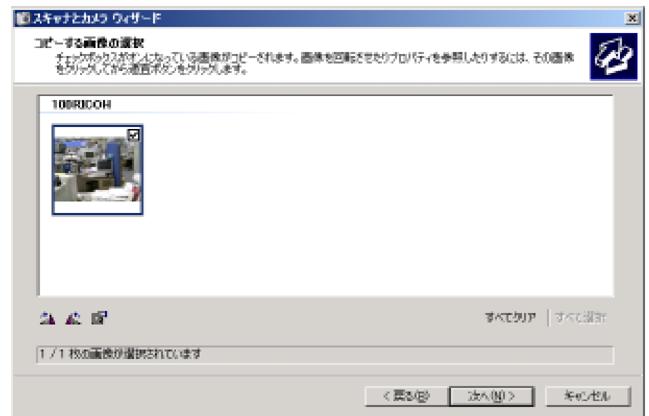


スキャナとカメラウィザードが起動して，画面が表示されます。



2 ［次へ］ボタンをクリックする

［コピーする画像の選択］画面が表示されます。

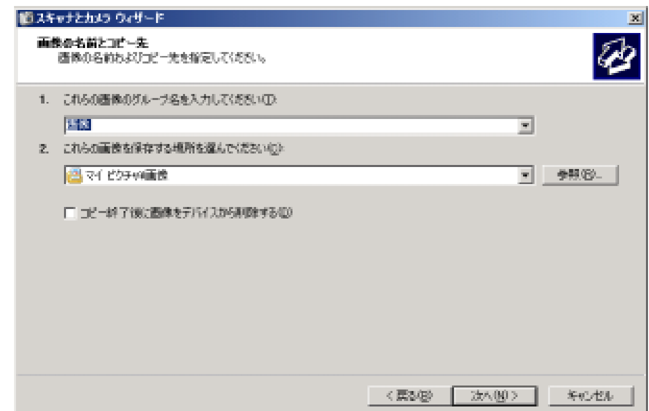


カメラ内の画像が表示され，チェックマークが付いています。チェックマークが付いている画像は，パソコンへ転送されます。

3 転送したくない画像のチェックマークを消す

4 ［次へ］ボタンをクリックする

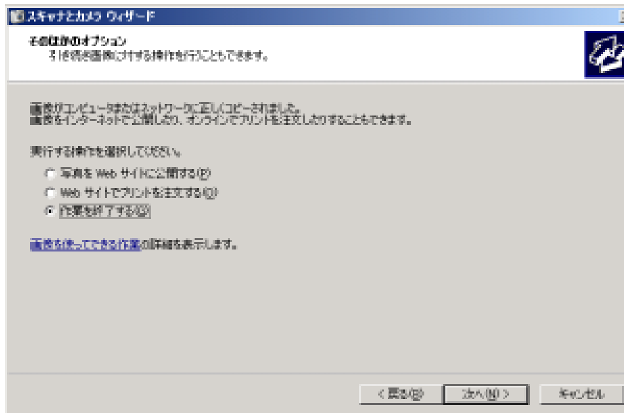
［画像の名前とコピー先］画面が表示されます。



［1.　これらの画像のグループ名を入力してください］に名前を入力すると，その名前の後に連番を付けて画像が保存されます。
［2.　これらの画像を保存する場所を選んでください］には画像の保存先を指定します。
［コピー終了後に画像をデバイスから削除する］にチェックマークを付けると，画像をパソコンに転送後に，カメラの SD メモリーカードからそれらの画像を削除します。

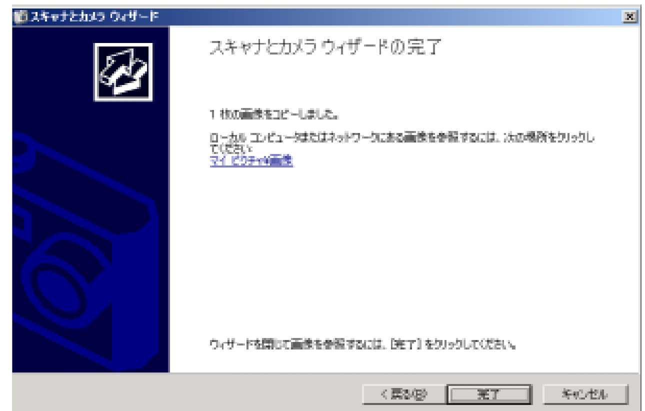
5 必要な設定を行い，［次へ］ボタンをクリックする

［画像のコピー］画面が表示されれて，転送が開始されます。
転送が完了すると，［そのほかのオプション］画面が表示されます。



6 ［作業を終了する］が選択されていることを確認して［次へ］ボタンをクリックする

［スキャナとカメラウィザードの完了］画面が表示されます。



7 ［完了］ボタンをクリックする

スキャナとカメラウィザードが終了して，転送した画像のフォルダのウィンドウが開き，中の画像が表示されます。以降の操作については，Windows XP のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。



・［そのほかのオプション］画面に表示されている［静止画を Web サイトに公開する］［Web サイトでプリントを注文する］の使いかたについては，Windows XP のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。
・もし，カメラとパソコンを USB ケーブルで接続してもパソコンの画面上に何も表示されず，カメラからの画像取り込みが開始されない場合，Windows のタスクバーにある［ スタート ］をクリックし，［ すべてのプログラム ］－［ アクセサリ ］－［ スキャナとカメラ ウィザード ］を選択してください。
カメラからの取り込みが開始されます。

Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 の場合

Mac OS 8.6、Mac OS 9.1 未満 の場合は、起動ディスク［Macintosh HD］のルートディレクトリに［Caplio］フォルダを作成します。
Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 の場合は、起動ディスク［Macintosh HD］内の［書類］フォルダの中に自動的に［Caplio］フォルダを作成します。

1 カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する

カメラの電源がオンになり、RICOH Gate L が起動して、RICOH Gate L のウィンドウが表示されます。



RICOH Gate L が起動して、RICOH Gate L のウィンドウが表示されます。
自動的に画像の転送が開始されます。

2 ［ファイル］メニューを表示し、［終了］を選択する



RICOH Gate L が終了します。

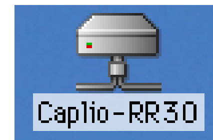
●マウンターを使う場合

マウンターを使って画像を転送することもできます。

1 カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する

カメラの電源がオンになります。

SDメモリーカードがない場合は［Caplio-RR30］アイコンが表示され、カメラの内蔵メモリーに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



SDメモリーカードがある場合は［Caplio-RR30.SD］アイコンが表示され、カメラにセットされたSDメモリーカードに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



2 表示されたアイコンをダブルクリックする

通常のドライブと同じように扱うことができます。アイコンをダブルクリックすると、［DCIM］というフォルダーが表示され、そのフォルダー内に［100RICOH］というフォルダが表示されます。［100RICOH］フォルダの中にカメラで撮影した画像ファイルがあります。
ファイルをドラッグアンドドロップし、ハードディスクにコピーしてご使用ください。



- カメラを接続しない状態で RICOH Gate L を起動したい場合には、システムフォルダ：コントロールパネルフォルダ内の［RICOH Gate L］アイコンをダブルクリックします。
- 取り込んだ画像は、撮影日付ごとのフォルダに入れて［Caplio］フォルダ内に保存されます。



保存先フォルダを変更したいときには→ P.129

Mac OS X の場合

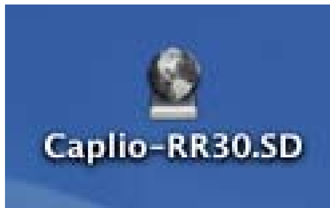
1 カメラとパソコンを USB ケーブルで接続する

カメラの電源がオンになります。

SDメモリーカードがない場合は[Caplio-RR30]アイコンが表示され，カメラの内蔵メモリーに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



SD メモリーカードがある場合は [Caplio-RR30.SD] アイコンが表示され，カメラにセットされた SD メモリーカードに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



2 表示されたアイコンをダブルクリックする

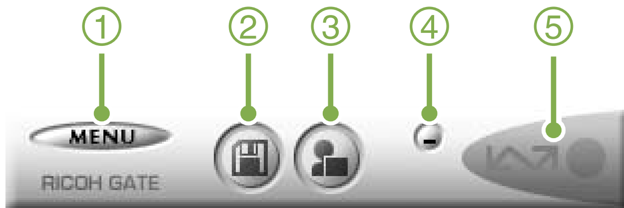
通常のドライブと同じように扱うことができます。アイコンをダブルクリックすると，[DCIM] というフォルダーが表示され，そのフォルダー内に [100RICOH] というフォルダが表示されます。[100RICOH] フォルダの中にカメラで撮影した画像ファイルがあります。
ファイルをドラッグアンドドロップし，ハードディスクにコピーしてご使用ください。

RICOH Gate L の使いかた

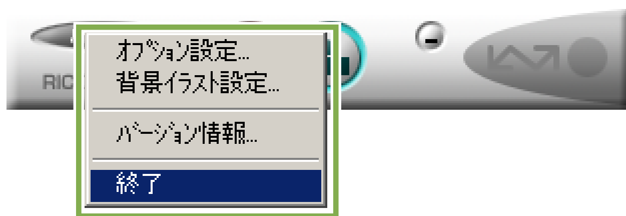
RICOH Gate L のウィンドウでは、接続時自動保存や画像の取り込み先（保存先）など、さまざまな設定ができます。
詳しくは、次のページをお読みください。
■ Windows 98/98SE/Me/2000 をご使用の場合は→　P.125
■ Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 をご使用の場合は　→　P.128

RICOH Gate L のウィンドウ（Windows 98/98SE/Me/2000 の場合）

RICOH Gate L が起動すると、パソコンの画面上に次のようなRICOH Gate L のウィンドウが表示されます。



① ［MENU ボタン］
クリックすると次のメニューが表示されます。



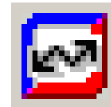
メニュー

［オプション設定］：
画像の保存先や、保存後およびアプリケーションボタンを押したときに起動するアプリケーションを設定します。（→ P.126）
［背景イラスト設定］：
RICOH Gate L のウィンドウの背景デザインを変更します。（→ P.127）
［バージョン情報］：
RICOH Gate L のバージョンを表示します。
［終了］：RICOH Gate L を終了します。

② ［保存ボタン］
クリックするとカメラから画像を取り込みます。

③ ［アプリケーションボタン］
オプション設定で登録されたアプリケーションを起動します。DU-10 があらかじめ登録されています。

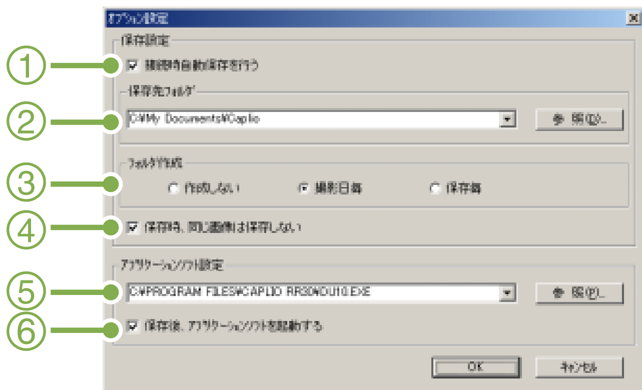
④ ［最小化ボタン］
ウィンドウを最小化してWindows のタスクバー上にアイコン表示します。アイコンをクリックすると、ウィンドウが表示されます。



⑤ ［インジケータ］
カメラが USB ケーブルで接続されていると、インジケータが点灯します。このときインジケータにマウスポインタを合わせると、「カメラ接続中」と表示されます。接続されていないときには、インジケータはグレー表示され、マウスポインタを合わせても、「カメラ接続中」は表示されません。

［オプション設定］の使いかた

RICOH Gate L のウィンドウにあるボタンで表示したメニューから［オプション設定］を選ぶと，［オプション設定］ダイアログボックスが表示されます。



①［接続時自動保存を行う］

チェックマークを付けると，カメラとパソコンが接続されたときに自動的に画像がパソコンに取り込まれ，保存されます。

チェックマークを消すと，カメラを接続しても画像は自動的には取り込まれません。とりこみたいときには，［保存］ボタンをクリックします。

初期値 **自動保存を行う**

②［保存先フォルダ］

画像を保存するフォルダを指定します。あらかじめ［My Documents］フォルダ内の［Caplio］フォルダに設定されているので，変更したいときには，［参照］ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し，指定したいフォルダを選択します。

③［フォルダ作成］

フォルダの作成方法を指定します。

［作成しない］　取り込んだ画像を，すべて②で指定されているフォルダ内に保存します。

［撮影日毎］　フォルダ名を撮影日にしてフォルダを新規作成し，同じ日に撮影した画像を同じフォルダに保存します。
作成されるフォルダ名は，「撮影日付」になります。
例）2002 年 5 月 1 日に撮影した場合：［20020501］フォルダ

［保存毎］　保存毎にフォルダを新規作成して，保存毎に同じフォルダに画像を保存します。1 日に複数回保存を行った場合には，そのたびに別のフォルダに保存されます。
作成されるフォルダ名は，「保存日付＋アンダーバー＋ 3 桁の連番」になります。
例）2002 年 5 月 1 日に 2 回保存した場合：［20020501_001］フォルダ，［20020501_002］フォルダ

初期値 **撮影日毎**

④［保存時，同じ画像は保存しない］

［フォルダ作成］で［保存時，同じ画像は保存しない］にチェックが付いていない状態か，フォルダ作成で［作成しない］もしくは［撮影日毎］を選択したときだけ指定できます。

保存しようとしたフォルダに同じファイル名の画像があった場合には，保存しません。

初期値 **同じ画像は保存しない**

⑤［アプリケーションソフト設定］

保存後にアプリケーションを起動したい場合に，アプリケーション名を指定します。あらかじめ DU-10.exe（DU-10 のファイル名です）に設定されているので，変更したいときには，［参照］ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し，指定したいアプリケーションを選択します。

⑥［保存後，アプリケーションを起動する］

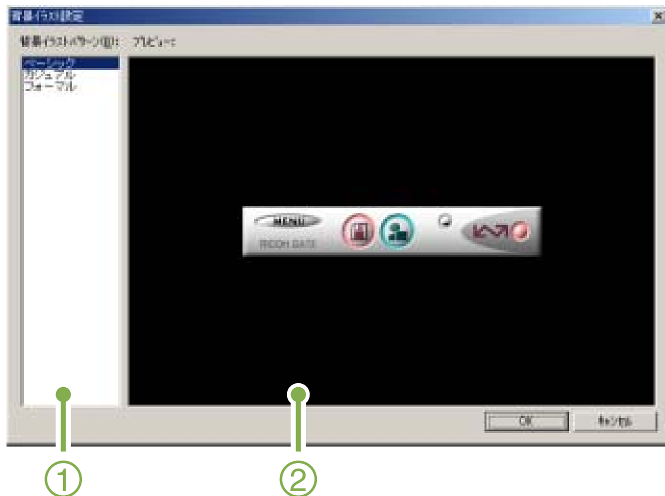
チェックマークを付けると，保存後にアプリケーションを起動します。

チェックマークを消すと，起動しません。

初期値 **保存後，アプリケーションを起動する**

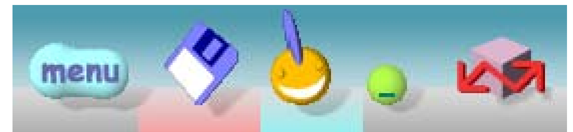
［背景イラスト設定］の使いかた

3種類のイラストパターンから、RICOH Gate Lのウィンドウの背景イラストを選択できます。
RICOH Gate Lのウィンドウにある［MENU］ボタンで表示したメニューから［背景イラスト設定］を選ぶと、［背景イラスト設定］ダイアログボックスが表示されます。



①［背景イラストパターン］
3種類のイラストパターンから，使いたいパターンを選択します。





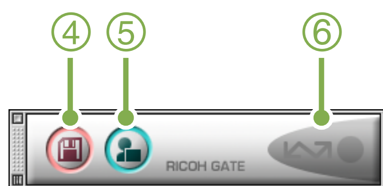


②［プレビュー］
［背景イラストパターン］で選択したパターンが表示され，確認できます。

RICOH Gate L のウィンドウ（Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 の場合）

RICOH Gate Lが起動すると、画面上にRICOH Gate L のメニューバーと次のようなウィンドウが表示されます。





①［RICOH Gate について］

RICOH Gate L のバージョンを表示します。

②［終了］

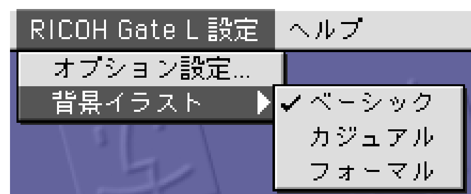
RICOH Gate L を終了します。

③［オプション設定］

画像の保存先や、保存後およびアプリケーションボタンを押したときに起動するアプリケーションを設定します。（→ P.129）

［背景イラスト］

選択するとサブメニューが表示されるので、RICOH Gate L のウィンドウの背景デザインを変更できます。



サブメニューの図

④［保存ボタン］

クリックするとカメラから画像を取り込みます。

⑤［アプリケーションボタン］

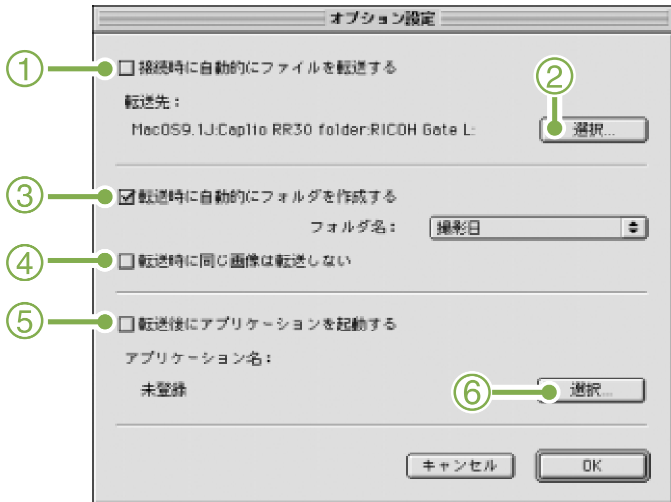
オプション設定で登録されたアプリケーションを起動します。

⑥［インジケータ］

カメラが USB ケーブルで接続されていると、インジケータが点灯します。

［オプション設定］の使いかた

［RICOH Gate L 設定］メニューから［オプション設定］を選ぶと、［オプション設定］ダイアログボックスが表示されます。



①［接続時に自動的にファイルを転送する］

チェックマークを付けると、カメラとパソコンが接続されたときに自動的に画像がパソコンに取り込まれ、保存されます。

チェックマークを消すと、カメラを接続しても画像は自動的には取り込まれません。取り込みたいときには、［保存］ボタンをクリックします。

初期値 自動的にファイルを転送する

②［選択］

画像を保存するフォルダを指定します。

Mac OS 8.6、Mac OS 9.1 未満 の場合は、起動ディスク［Macintosh HD］のルートディレクトリの［Caplio］フォルダに、

Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 の場合は、起動ディスク［Macintosh HD］内の［書類］フォルダの中の［Caplio］フォルダに設定されているので、

変更したいときには、［ 選択 ］ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいフォルダを選択します。

③［フォルダ作成］

フォルダの作成方法を指定します。

［作成しない］取り込んだ画像を、すべて②で指定されているフォルダ内に保存します。

［撮影日］　フォルダ名を撮影日にしてフォルダを新規作成し、同じ日に撮影した画像を同じフォルダに保存します。
作成されるフォルダ名は、「撮影日付」になります。
例 ）2002 年 5 月 1 日に撮影した場合：
［20020501］フォルダ

［ 転送日＋転送回数 ］
保存毎にフォルダを新規作成し、保存毎に同じフォルダに画像を保存します。
例）2002 年 5 月 1 日に 2 回保存した場合：
［20020501_001］フォルダ、
［20020501_002］フォルダ

初期値 撮影日毎

④［保存時、同じ画像は保存しない］

［ フォルダ作成 ］で［ 転送時に自動的にフォルダを作成する ］にチェックが付いていない状態か、フォルダ名に［ 撮影日 ］を選択したときだけ指定できます。

保存しようとしたフォルダに同じファイル名の画像があった場合には、保存しません。

初期値 同じ画像は保存しない

⑤［転送後にアプリケーションを起動する］

チェックマークを付けると、保存後にアプリケーションを起動します。

チェックマークを消すと、起動しません。

初期値 転送後にアプリケーションを起動しない

⑥［選択］

保存後にアプリケーションを起動したい場合に、アプリケーション名を指定します。［選択］ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいアプリケーションを選択します。

SD メモリーカードから直接パソコンに画像を取り込むときには

USB ケーブルでカメラとパソコンを接続して画像を取り込む方法を説明しましたが、PC カードスロットやカードリーダーを使って、SD メモリーカードからパソコンへ画像を取り込むことができます。PC カードスロットやカードリーダーに SD メモリーカードをセットするには、PC カードアダプタ FM-SD53（別売り）が必要です。

PC カード内の画像

SD メモリーカードには、図のような階層で画像が記録されています。

```
DCIM
  100RICOH
   RIMG0001.jpg
   RIMG0002.jpg
      •
      •
      •
```



カードリーダーが SD メモリーカード対応（そのままセットできる）であれば、PC カードアダプタ FM-SD53（別売り）は必要ありません。



カードリーダー

パソコンに接続して、SD メモリーカードのようなカードの内容を読みとるための機器です。PC カードをセットするタイプの他に、SD メモリーカードがそのままセットできる SD メモリーカード対応のカードリーダーなど、各種のカードに対応したカードリーダーがあります。

第 2 章　画像をサムネイル表示する（DU-10 の使いかた）

パソコンに取り込んだ画像は、DU-10 を使って一覧表示したり、回転させて保存しなおすなどの編集ができます。
ここでは、DU-10 の使いかたについて説明します。



DU-10 は、Windows 専用のソフトウェアです。

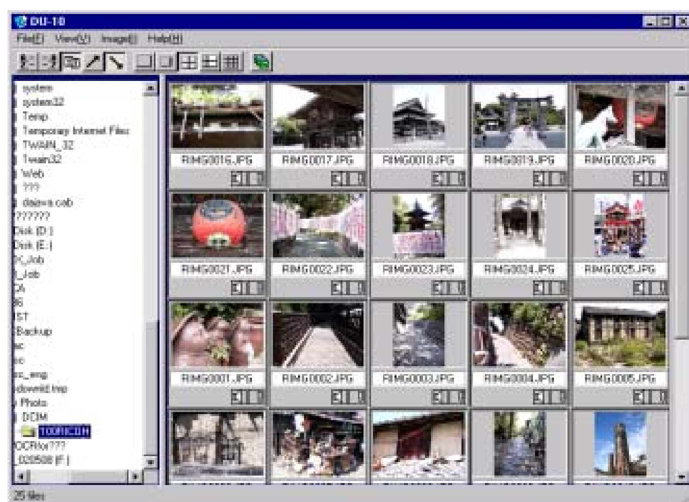
DU-10 の起動と終了

DU-10 を起動するには、次の 2 種類の方法があります。

- RICOH Gate L から自動起動する
  RICOH Gate L のオプション設定にて、アプリケーションソフト設定に DU-10 が設定されており、［ 保存後、アプリケーションソフトを起動する ］にチェックが入った状態であれば、RICOH Gate L でカメラから画像ファイルを取り込んだ後に、DU-10 が自動起動します。
- Windows の［スタート］メニューから起動する
  ［スタート］メニューから［プログラム］→［Caplio RR30 Software］→［DU-10］を選択すると起動できます。

DU-10 のウィンドウ

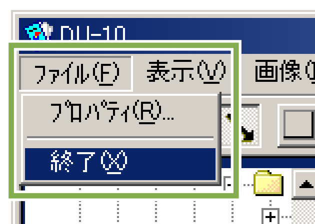
DU-10 が起動すると、次のようなウィンドウが表示されます。



ウィンドウには、保存した画像が一覧表示されます。このような画像を縮小して一覧表示する方法を、サムネイル表示と呼びます。

DU-10 を終了する

DU-10 を終了してウィンドウを消すには、メニューバーで［ファイル］を選択して［ファイル］メニューを表示し、［終了］を選択するか、ウィンドウの右上端にある［×］（閉じる）ボタンをクリックします。

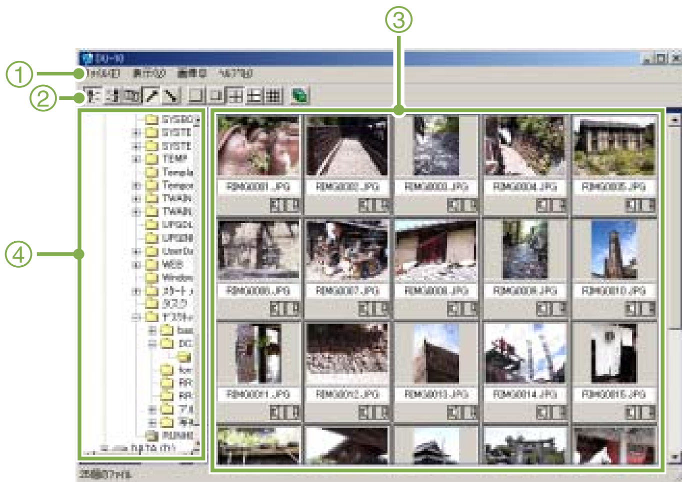




自動的に起動しないように設定するには→ P.126

サムネイル表示の見かた

DU-10 を起動すると，画像がサムネイル表示されます。

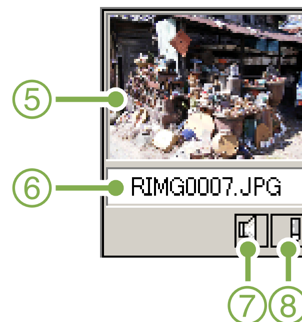


① **メニューバー**
画像の並べ替えや表示サイズの変更などができます。

② **ツールバー**
メニューで行える機能の中から使用頻度の高いものがアイコンで表示され，クリックだけで簡単に機能を使うことができます。

③ **サムネイル表示領域**
画像を縮小したものが一覧で表示されます。

④ **フォルダ表示領域**
［マイ コンピュータ］内のフォルダが階層で表示されます。ここで選択したフォルダ内の画像がサムネイル表示領域に表示されます。

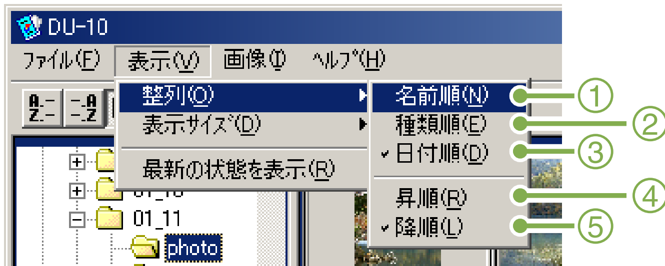


⑤ **画像のサムネイル**
⑥ **ファイル名**
⑦ **音声設定有無表示**
⑧ **メモ設定有無表示**
本ソフトでメモを付けることはできません。
他のリコーのソフトでメモを付けたときに選択できるようになります。

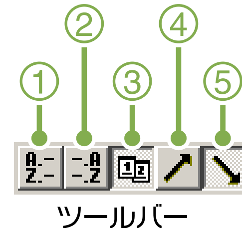
画像を並べ替える

サムネイル表示された画像は，日付順（降順）で並べられています。この並び順を名前の順，ファイルの種類の順に変更することができます。また，それぞれを昇順で並べるか降順で並べるかも選択できます。

画像を並べ替えるには，［表示］メニューの［整列］を使うか，ツールバーを使います。



メニュー



ツールバー

① **名前順**
ファイル名の順に並べ替えます。

② **ファイルの種類順**
ファイルの種類（拡張子のアルファベット順）に並べ替えます。

③ **日付順**
撮影日付順に並べ替えます。

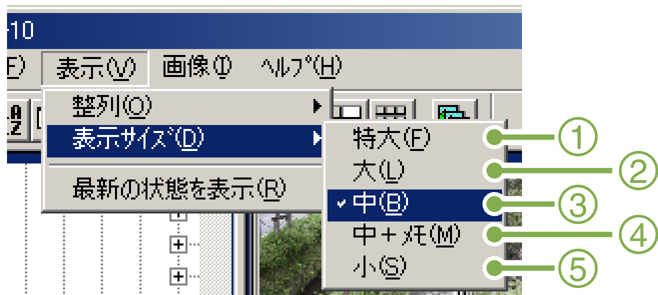
④ **昇順／⑤降順**
小さい方から大きい方へ並べるのが昇順で，その逆が降順です。アイウエオ順の場合には，アイウエオが昇順でオエウイアが降順になります。
①②③で並び順を選択し，昇順か降順を選びます。

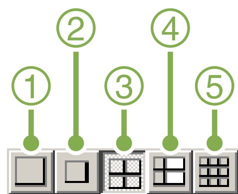


ファイルの種類で並べた場合には，拡張子のアルファベット順で並べ替えられます。

表示サイズを変更する

表示サイズを変更するには，［表示］メニューの［表示サイズ］を使うか、ツールバーを使います。



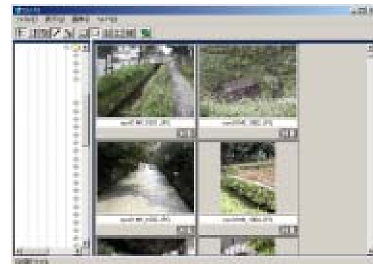


画像の表示サイズは５種類あり，変更することができます。

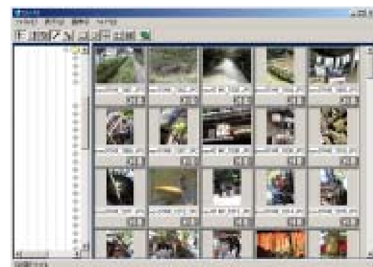
①特大



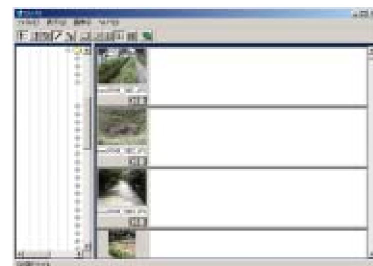
②大



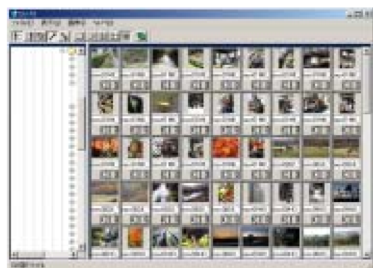
③中



④中＋メモ



⑤小



スライドショーで見るには

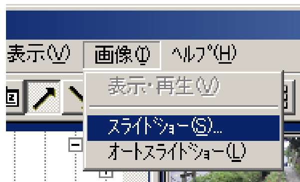
スライドショーでは，画像を選択して，その画像のみスライドショー表示することができます。
スライドショーを開始するには，次のように操作します。

1 スライドショーで見たい画像を選択する

連続する複数画像を選択するときには，先頭の画像をクリックした後，［Shift］キーを押しながら最後の画像をクリックします。
離れた位置にある複数画像を選択するには，［Ctrl］キーを押しながらクリックします。

2 次のいずれかの方法で［スライドショー］を選択する

- メニューバーで［画像］→［スライドショー］を選択する
- 選択したいずれかの画像上で，マウスの右ボタンをクリックしてメニューから［スライドショー］を選択する

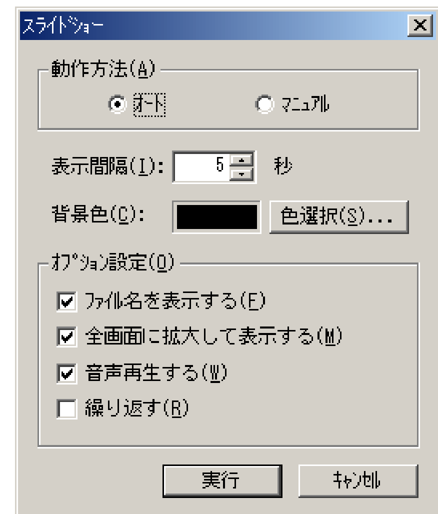


メニュー



右クリックで表示したショートカットメニュー

3 ［スライドショー］ダイアログボックスが表示されるので，必要な設定を行う



4 ［実行］ボタンをクリックする

スライドショーが開始されます。

■スライドショーでの操作

スライドショーの種類	使用できるキー	働き
③で［オート］を選択	［Esc］キー	スライドショーを中止します。
③で［マニュアル］を選択	［Esc］キー	スライドショーを中止します。
	マウスの左ボタン ［スペース］キー ［Enter］キー ［→］キー	次の画像を表示します。
	［Backpace］キー ［←］キー	前の画像に戻ります。

オートスライドショーで見るには

オートスライドショーでは，サムネイル表示されているすべての画像が順番に表示されます。オートスライドショーを開始するには，次のように操作します。

1 次のいずれかの方法で［オートスライドショー］を選択する

・メニューバーで［画像］→［オートスライドショー］を選択する

・ツールバーの ボタンをクリックする

・サムネイル表示されたいずれかの画像上で，マウスの右ボタンをクリックしてメニューから［オートスライドショー］を選択する

スライドショーが開始されます。
画像は［スライドショー］ダイアログボックスで設定されている表示間隔（秒数）で，自動的に切り替わります。
［Esc］キーで中止します。

［スライドショー］ダイアログボックスの使いかた

［スライドショー］ダイアログボックスでは，スライドショーの表示設定ができます。



①［動作方法］
オートスライドショー（自動的に画面が切り替わる）かマニュアルスライドショー（［Enter］キーを押すか、クリックで切り替える）かを選択します。

②［表示間隔］
オートスライドショーのときの画像の表示時間を秒数で指定します。

③［背景色］
画像の背景の色を選択できます。［色選択］ボタンをクリックして，表示されたダイアログボックスで色を選びます。

④［ファイル名を表示する］
チェックマークを付けると，画像の下にファイル名を表示します。

⑤［全画面に拡大して表示する］
チェックマークを付けると，画像を画面いっぱいに表示します。

⑥［音声再生する］
チェックマークを付けると，音声の付いている画像の場合，音声も再生します。

⑦［繰り返す］
チェックマークを付けると，［Esc］キーを押して中止しない限り，画像を繰り返し表示し続けます。チェックマークを消すと，フォルダ内の画像をひととおり表示したらスライドショーを終了します。

画像の情報を見る

撮影日時や画像サイズなどの画像情報を表示することができます。



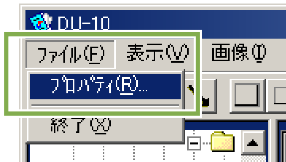
情報のダイアログボックス

画像情報を表示するには、次のいずれかの操作をします。

[ファイル] メニューを使う

1 サムネイル表示領域で情報を見たい画像をクリックする

2 [ファイルメニュー] の [プロパティ]を選ぶ

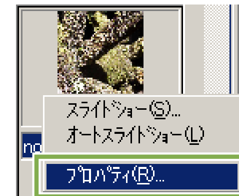


ショートカットメニューを使う

1 サムネイル表示領域の画像上で、マウスの右ボタンをクリックする

メニューが表示されます。

2 メニューから [プロパティ] を選ぶ



ビューワー画面に表示する

ビューワー画面を使うと，画像をサムネイル表示でなく，大きく表示することができます。
ビューワー画面にするには，次のいずれかの操作をします。
・サムネイル表示で表示したい画像をダブルクリックする
・サムネイル表示領域で表示したい画像をクリックし，［画像］メニューの［表示・再生］を選ぶ

ビューワー画面



ビューワー画面

①メニューバー
②ツールバー

上書き保存

画像を上書き保存します。

［左 90 度回転］
［右 90 度回転］

画像を左右に 90 度回転させることができます。
撮影した画像の縦横を正しい向きになおすことができます。

［拡大表示］
［実寸表示］
［縮小表示］
［全体表示］

表示サイズを拡大 / 縮小できます。
［**拡大表示**］を繰り返すことで，元サイズの 16 倍まで拡大できます。
［**縮小表示**］を繰り返すことで，元サイズの 1/16 まで縮小できます。



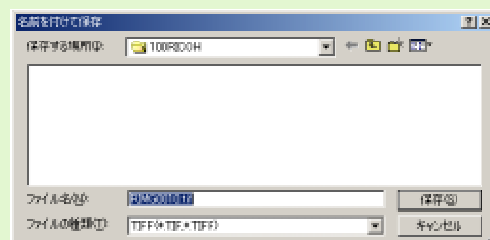
新しいファイル名で保存するには

画像の複製を作ったり，回転で向きを変えた画像を別のファイルにしたいときには，新たに別のファイル名を付けて保存しておきます。
保存できるファイル形式は，TIFF のみです。

新しいファイル名で保存するには，次のように操作します。

1 ［ファイル］メニューの［名前を付けて保存］を選ぶ

［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。



2 ［保存する場所］で新しいファイルの保存先を指定する

3 ［ファイル名］に新しいファイルの名前を入力する

4 ［保存］をクリックする



TIFF ファイル

「ティフ」ファイルと読みます。画像データをファイルとして保存するときのファイル形式の 1 つです。RR30 では，画像（静止画）をファイルサイズの小さい JPEG（ジェイペグ）ファイルとして保存します。TIFF ファイルは，JPEG ファイルよりファイルのサイズが大きくなりますが，何度も加工して保存しなおす場合に劣化を防ぐことができます。

付録

A. 主な仕様

カメラ本体

■総合

●ビデオ信号方式　：NTSC 方式，PAL 方式
●電源電圧　：単三アルカリ乾電池（1.5V）× 2 本
：リチャージャブルバッテリー（3.7V）× 1 本
：外部（AC アダプター）; 3.8V
●外形寸法　：114mm（幅）× 54.5mm（高さ）× 32.5mm（奥行き）（突起部含まず）
●質量　：本体　約 160g（電池 /SD メモリーカード / ハンドストラップを除く）
●使用温度範囲　：0 ℃～ 40 ℃
●使用湿度範囲　：85% 以下
●保存温度範囲　：-20 ℃～ 60 ℃

■カメラ部

●使用撮像素子　：総画素数 334 万画素（有効画素数 324 万画素）
●レンズ　：ズームレンズ　F2.6 ～ 4.7
・焦点距離　：f:5.5 ～ 16.5mm（35mm 換算 35 ～ 105mm）
・最短撮影距離　：約 1cm（マクロモード / 広角時）
・マクロ撮影距離　：約 1 ～ 60cm
・デジタルズーム　：3.4 倍
●モニター表示部
・画面サイズ　：1.6 型
・種類　：透過型アモルファスシリコン TFT 液晶
・画素数　：約 8 万画素
●ホワイトバランス　：AUTO/ 固定（屋外、曇天、白熱灯、蛍光灯、ワンプッシュ）
●露出調整
・測光感度分布　：マルチ測光（256 分割）、中央重点測光、スポット測光
・露出補正　：マニュアル露出補正± 2.0EV（1/3EV ステップ）
・測光方式　：TTL-CCD 測光方式
・フラッシュ AE　：あり（日中シンクロ　あり）
・シャッター　：静止画；8,4,2,1 ～ 1/2000 秒、　動画；1/30 ～ 1/2000 秒
・ISO 感度　：AUTO（ISO125）、ISO200、ISO400、ISO800
●距離調節
・AF 方式　：通常撮影領域；外部パッシブ・CCD 方式、マクロ領域；CCD 方式
・AF 測距範囲　：通常撮影領域；約 30cm ～∞、マクロ時；約 1 ～ 60cm
●内蔵フラッシュ
・方式　：オート
・撮影距離　：約 0.2 ～ 4.5m（W）、約 0.15 ～ 2.5m（T）
・動作モード　：発光禁止 / 強制発光 /AUTO/ スローシンクロ / 赤目

■画像データ録再部
●画素数（ピクセル）
・静止画　　：2048 × 1536、1280 × 960、640 × 480
・文字　　：1280 × 960
・動画　　：320 × 240、160 × 120
●ファイルフォーマット
・静止画　　：圧縮；JPEG（Exif2.2）、非圧縮なし
・文字　　：TIFF（MMR 方式 ITU-T.6）
・動画　　：AVI（Open DML Motion JPEG フォーマット準拠）
●カメラファイルシステム規格
：DCF ※ DCF は JEITA で標準化された『Design rule for Camera File System』規格の略称です。
●圧縮方式　　：JPEG ベースライン方式準拠（静止画、動画）
●画像サイズ
・2048 × 1536　　N；約 568KB/ 画面、F；約 1.12MB/ 画面
・1280 × 960　　N；約 307KB/ 画面、F；約 614KB/ 画面
・640 × 480　　N；約 72KB/ 画面

■入出力端子
●電源入力　　：3.8V（AC アダプター）
●ビデオ出力　　：1.0 Vp-p（75Ω）

■デート保持時間　　：約 2 週間

■記録再生可能なメモリカードの種類
●メモリ種類　　：SD メモリーカード、マルチメディアカード

B. 別売り品について

Caplio RR30 では，下記の別売り品が使用できます。

商　品　名	型名	備　考
AC アダプター	AC-4a	家庭用コンセントから直接電源を供給するときに使用します。
PC カードアダプター	FM-SD53	SD メモリーカードをパソコンの PC カードスロットに直接セットするときに使用します。
リチャージャブル バッテリー	DB-43 DB-40	RR30 専用の充電池です。
バッテリーチャージャー	BJ-2	リチャージャブルバッテリー専用の急速充電器です。

C.SD メモリーカードに記録できる枚数一覧

SD メモリーカードの容量別，画質 / サイズ別の記録可能枚数の目安は，次のとおりです。

モード	画質	画像サイズ	8MB	32MB	64MB
静止画	F	2048 × 1536	4	19	40
	F	1280 × 960	8	37	75
	N	2048 × 1536	8	37	77
	N	1280 × 960	14	67	138
	N	640 × 480	41	189	387
文字	――	1280 × 960	41	189	387
動画	――	320 × 240	20 秒	90 秒	180 秒
	――	160 × 120	70 秒	320 秒	650 秒

＊ただし，160 × 120 は 1 回最長 120 秒，
320 × 240 は 1 回最長 30 秒まで

D. 海外でお使いのときは

AC アダプター（型名：AC-4a）について

・ 交流 100V，50Hz/60Hz の地域でご使用になれます。
・ 電源コンセントの形状が異なる国では，使用先の国の電源コンセントにあった変換アダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねのうえ，ご用意ください。

保証書について

・ 本製品は国内仕様です。付属している保証書は，国内のみ有効です。
・ 外国で万一，故障，不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については，ご容赦ください。

再生等で現地のテレビを使用する場合

・ 映像入力端子付きのテレビ（またはモニター）で再生することができます。付属のビデオケーブルをご使用ください。
・ 本機では，テレビ方式は NTSC と PAL に対応しています。現地のテレビ環境にあわせて，カメラのビデオ方式を切り替えてご使用ください。
・ 海外へお出かけの際は，ビデオ方式をご確認の上，ご使用ください。

E. お手入れと保管について

■お手入れ

●レンズに指紋や汚れがつくと，画質が悪くなることがありますので，ご注意ください。
●レンズにゴミや汚れがついたときは，直接手を触れず市販のブロアーで吹き飛ばすか，柔らかい布で軽くふき取ってください。
●海辺や薬品を使う場所で使用したあとは，特に入念にふいてください。
●万一カメラの具合が悪いときは，リコー修理受付センターにご相談ください。
このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
●シンナー，ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり，塗料がはげるなどの原因となります。
●液晶モニターの表面は，傷つきやすいので，かたい物でこすったりしないでください。
●液晶モニターの表面は，液晶ディスプレイの表面清掃用に市販されている溶剤を，柔らかい布に少量含ませて軽くふき取ってください。

■保管について

●次のような場所での保管は，カメラの故障の原因になりますので避けてください。
・高温多湿，または湿度，温度変化の激しい場所
・砂，ほこり，ちりの多い場所
・振動の激しいところ
・防虫剤などの薬品やゴム，ビニール製品などに長時間接触するところ
・強い磁場の発生するところ（モニター，トランス磁石のそばなど）
●単三アルカリ乾電池（LR6）をご使用の場合、長時間本機をご使用にならないときは、電池を取り出して保管してください。

お手入れ時のご注意

(1) 必ず電源をオフにしてください。
(2) バッテリーや AC アダプターを取り外して，お手入れしてください。

F. お困りのときは

修理にお出しになる前に，もう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは，リコー修理受付センターにお問い合わせください。

■電源について

症　状	原　因	処　置	参照頁
電源が入らない。	バッテリーがセットされていない。または消耗している。	バッテリーを正しくセットする。または充電する。必要に応じて AC アダプターを使う。	P.9 P.10
	AC アダプターが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。	P.10
電源が途中で切れる。	何の操作もしないで放置したので，オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.11 P.97
	バッテリーが消耗している。	充電するか，新しい電池をセットする。または必要に応じて AC アダプターを使う。	P.9 P.10
電源が切れない。	カメラの誤動作。	電池をセットしなおす。 AC アダプター使用時には接続しなおす。	P.9 P.10
バッテリーを充電できない。	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーに交換する。	P.9
バッテリーの消耗が早い。	温度が極端に低いところや高いところで使用している。	－	－
	暗い屋内などの撮影で，フラッシュ発光回数が多い。	－	－

■撮影について

症　状	原　因	処　置	参照頁
シャッターボタンを押しても撮影できない。	バッテリーがセットされていない。または消耗している。	アルカリ電池使用時は新品電池に交換する。リチャージャブルバッテリー使用時は充電するか，AC アダプターを使う	P.9
	電源が入っていない。または撮影モードになっていない。	電源を入れ，モードダイヤルを撮影モードに合わせる。	P.11
	シャッターボタンを押し切っていない。	シャッターボタンを押し切る。	P.30
	SDメモリーカードがフォーマットされていない。	フォーマットする。	P.94
	SD メモリーカードに空き容量がない。	不要なファイルを削除するか，新しいカードをセットする。	P.13 P.82
	SD メモリーカードの寿命。	新しいカードをセットする。	P.13
	フラッシュが充電中。	フラッシュランプの点滅が終了するまで待つ。	P.44
シャッターボタンを押しても撮影できない。	SD メモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.13
	SDメモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	－
撮影画像を確認できない。	画像確認時間が短い。	画像確認時間を長くする。	P.100

症　状	原　因	処　置	参照頁
液晶モニターに映らない。	電源が入っていない。または液晶モニターが暗い。	電源を入れる。または液晶モニターの明るさを調整する。	P.11 P.101
	ビデオケーブルをさした状態になっている。	ビデオケーブルを抜く。	P.80
	画面表示が「シンクロモニターモード」になっている。	DISPLAY ボタンを押して表示を切り替える。	P.18
	節電モードになっている。	節電モードをオフにする。	P.96
オートフォーカスなのにピントが合わない。	レンズが汚れている。	乾いた柔らかい布できれいに拭き取る。	−
	被写体が撮影範囲枠の中央にいない。	フォーカスロックで撮影する。	P.32
	ピントの合いにくい被写体である。	フォーカスロック，またはマニュアルフォーカスで撮影する。	P.32 P.55
フラッシュが発光しない。またはフラッシュの充電ができない。	撮影モードが（連写），（動画）になっている。	撮影モードを（静止画）に切り替える。	P.44
	フラッシュが（発光禁止）になっている。	ボタンで発光禁止を解除する。	P.44
	ホワイトバランスがオートモード以外になっている。	ホワイトバランスをオートモードにする。	P.49
	バッテリーが消耗している。	アルカリ電池使用時は新品電池に交換する。リチャージャブルバッテリー使用時は充電する。または必要に応じて AC アダプターを使う	P.9 P.10
フラッシュが発光したのに画像が暗い。	被写体までの距離が，望遠時で約 2.5m 以上，広角時で約4.5m以上離れている。	被写体に近づいて撮影する。	P.44
画像が明るすぎる。	被写体までの距離が近すぎる。	ボタンで発光禁止にする。	P.44
	露出がオーバーしている。	露出補正を行う。長時間露光を解除する。	P.47 P.63
	液晶モニターの明るさがおかしい。	液晶モニターの明るさを調整する。	P.101
画像が暗すぎる。	暗いところを（発光禁止）で撮影している。	ボタンで発光禁止を解除する。	P.44
	露出が不足している。	露出補正を行う。長時間露光を設定する。	P.47 P.63
	液晶モニターの明るさがおかしい。	液晶モニターの明るさを調整する。	P.101
画像が自然な色合いにならない。	オートホワイトバランスの調整しにくい状況で撮影した。	被写体に白色系のものを入れて撮影する。またはフラッシュ撮影やオートモード以外のホワイトバランスを使用する。	P.44 P.49
日付などの記録情報が表示されない。	画面表示の機能で，表示なしになっている。	DISPLAY ボタンを押して表示を切り替える。	P.18
AF 動作中，液晶モニターの明るさが変化する。	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき，または暗いところで使用している。	故障ではありません。	−
縦に尾を引いた画像になる。	明るい被写体を写したときに起こる現象。スミア現象という。	故障ではありません。	−

■再生 / 削除について

症　状	原　因	処　置	参照頁
再生できない。または再生画面が出ない。	▶（再生モード）になっていない。	モードダイヤルを ▶（再生モード）に合わせる。	P.74
	SDメモリーカードがセットされていない。または画像が記録されていない SD メモリーカードをセットした。	記録済みのカードをセットする。	—
	本機でフォーマットしていないSDメモリーカードを再生した。	本機でフォーマットし，記録したカードをセットする。	P.94
	正常に記録されていない SD メモリーカードを再生した。	正常に記録されているカードをセットする。	P.13
	本機で再生できない形式のファイルが記録されている。	ファイル形式を確認する。	—
	ビデオケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。	P.80
	SDメモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	—
再生できない。または再生画面が出ない。	使用中のSDメモリーカードに異常がある。	記録済みの別のカードを再生し，異常がなければカメラは正常です。カードの異常が考えられるため，そのカードを使用しないでください。	—
画像が消えた。	バッテリーが消耗している。	アルカリ電池使用時は新品電池に交換する。 リチャージャブルバッテリー使用時は充電する。または必要に応じて AC アダプターを使う	P.9 P.10
	何の操作もしないで放置したので，オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.11
ファイルを削除できない。	プロテクトが設定されている。	プロテクトを解除する。	P.85
	SD メモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.13
SD メモリーカードをフォーマットできない。	SD メモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.13

■その他

症　状	原　因	処　置	参照頁
SD メモリーカードが入らない。	挿入方向が違う。	正しくセットする。	P.13
カメラのボタンを操作しても作動しない。	バッテリーが消耗している。	アルカリ電池使用時は新品電池に交換する。 リチャージャブルバッテリー使用時は充電する。または必要に応じて AC アダプターを使う	P.9 P.10
	カメラの誤動作。	一度電源を切り，電源を再投入して （静止画）に切り替える。	P.11
		電池をセットしなおす。 AC アダプター使用時には接続しなおす。	P.9 P.10
日付が正しくない。	正しい日付･時刻が設定されていない。	正しい日付・時刻を設定する。	P.12
設定した日付が消えてしまった。	バッテリーを抜いてしまった。	バッテリーを取り出した状態が約 2 週間以上続くと、日付がリセットされます。再度、設定し直してください。	P.12
オートパワーオフが働かない。	オートパワーオフがOFFになっている。	オートパワーオフの時間を設定する。	P.97
ブザー音が鳴らない。	消音が設定されている。	ブザー音の設定を ON にする。	P.98
テレビに映らない。	ビデオ方式の設定が間違っている。	正しい方式を設定する。	P.103
	ケーブルが接続されていない。	ケーブルを正しく接続しなおす。	P.80
	出力先のビデオ入出力スイッチの設定が間違っている。	出力先のビデオ入出力スイッチが正しいか確認する。	−

■パソコンとの接続 / ソフトウェアについて

症状	原因	処置
画像の取り込みができない	カメラを USB ハブを経由して，パソコンに接続している。	USB HUB などを経由してパソコン本体の USB ポートに接続した場合，カメラが正常に認識されない場合があります。パソコン本体の USB ポートに直接つないでみてください。
画像の取り込みができない (Windows 98/98SE/Me の場合のみ)	COM ポートの設定が誤っている。	①パソコンとカメラを USB ケーブルで接続します。[コントロールパネル] 内の [システム] を開き，[システムのプロパティ] ダイアログ上で [デバイスマネージャ] を表示します。 ②[ポート (COM/LPT)] 左の [+] をクリックして開き,[Ricoh Camera Port] を指定し，[プロパティ] をクリックします。 ③[Port Select] タブをクリックします。 ④[PortName] から使用していない COM 番号を選択します。現在カメラが割り当てされているポートの後ろには「*」がついています。USB ドライバのインストール直後には，COM7 が選択されているはずですので，COM8 以降いずれかを選択してみてください。
画像の取り込みができない (Windows 全 OS 共通)	カメラが正しくパソコンに認識されていない。	①パソコンとカメラを USB ケーブルで接続します。Windows のタスクバーにある [スタート] をクリックします。 ②[設定] を選択し，[コントロールパネル] 内の [システム] を開き,[システムのプロパティ] ダイアログ上で [デバイスマネージャ] を表示します。 ※ Windows2000/XP の場合は，[ハードウェア] タブをクリックし，[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。 ③[その他のデバイス] の左の [+] マークをクリックして，その下に [Digital Still Camera] がないか確認します。もしあれば，それを選択した上 [削除 (E:)] ボタンをクリックし削除します。[コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] から [Caplio RR30 Software] を選択し，[追加と削除] ボタンをクリックして，ソフトをアンインストールします。 ④パソコンとカメラの電源を切ります。 ⑤再度パソコンの電源を入れ，CD-ROM より，ソフトウェアの再インストールを行います。(この時，カメラは接続しないでください。) 次に，カメラとパソコンを USB ケーブルで接続してください。パソコンがカメラを認識すると，[新しいハードウェア] の画面が起動し，カメラがパソコンに登録されます。

症状	原因	処置
画像の取り込みができない（Windows 98/98SE/Me の場合）	カメラが正しくパソコンに認識されていない。	①パソコンとカメラを USB ケーブルで接続します。Windows のタスクバーにある [スタート] をクリックします。 ② [設定] を選択し、[コントロールパネル] 内の [システム] を開き、[システムのプロパティ] ダイアログ上で [デバイスマネージャ] を表示します。 ③ [ポート (COM/LPT)] 左の [+] をクリックして開き、[Ricoh Camera Port] に、または [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] 左の [+] をクリックして開き、[RICOH USB Virtual COM] に不明なデバイスのマーク（！）がついていないかどうか確認します。もしあれば、それを選択した上 [削除 (E:)] ボタンをクリックし削除します。 ④ [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] から [Caplio RR30 Software] を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックして、ソフトをアンインストールします。 ⑤パソコンとカメラの電源を切ります。 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROM より、ソフトウェアの再インストールを行います。(この時、カメラは接続しないでください。) ⑥次に、カメラとパソコンを USB ケーブルで接続してください。パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア] の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。
画像の取り込みができない（Windows 2000 の場合）	カメラが正しくパソコンに認識されていない。	①パソコンとカメラを USB ケーブルで接続します。 ② Windows のタスクバーにある [スタート] をクリックします。 ③ [設定] を選択し、[コントロールパネル] 内の [システム] を開き、[ハードウェア] タブを選択し [デバイスマネージャ] をクリックします。 ④ [ポート (COM と LPT)] 左の [+] をクリックして開き、[Ricoh Camera Port(COMxx)] に不明なデバイスのマーク（！）がついていないかどうか確認します。 もしあれば、それを選択した上 [削除 (U:)] ボタンをクリックし削除します。 ⑤ [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] から [Caplio RR30 Software] を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックして、ソフトをアンインストールします。 ⑥パソコンとカメラの電源を切ります。 ⑦再度パソコンの電源を入れ、CD-ROM より、ソフトウェアの再インストールを行います。(この時、カメラは接続しないでください。) ⑧次に、カメラとパソコンを USB ケーブルで接続してください。パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア] の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

症状	原因	処置
画像の取り込みができない（Windows XP の場合）	カメラが正しくパソコンに認識されていない。	①パソコンとカメラを USB ケーブルで接続します。 ② Windows のタスクバーにある［スタート］をクリックします。 ③［コントロールパネル］を開き，［クラシック表示に切り替える］をクリックすると［システム］アイコンが表示されます。 ④［システム］アイコンをクリックし，［ハードウェア］タブを選択し［デバイスマネージャ］をクリックします。 ⑤［イメージングデバイス］左の [+] をクリックして開き，[Caplio RR30] に不明なデバイスのマーク（！）がついていないかどうか確認します。 もしあれば，それを選択した上［削除 (U:)］ボタンをクリックし削除します。 ⑥［コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］から［Caplio RR30 Software］を選択し，［変更と削除］ボタンをクリックして，ソフトをアンインストールします。 ⑦パソコンとカメラの電源を切ります。 ⑧再度パソコンの電源を入れ，CD-ROM より，ソフトウェアの再インストールを行います。（この時，カメラは接続しないでください。） ⑨次に，カメラとパソコンを USB ケーブルで接続してください。パソコンがカメラを認識すると，［新しいハードウェア］の画面が起動し，カメラがパソコンに登録されます。
Ricoh Gate L のオプション設定で，［保存時，同じ画像は保存しない］にチェックを入れていても，同じ画像がパソコンに取り込まれてしまう	カメラの時計が正しく合わせられていない，もしくはカメラの時計情報がリセットされてしまっている。	［保存時，同じ画像は保存しない］の機能を正しく働かせるには，カメラの時計を正しく合わせる必要があります。カメラの時計情報を正しく合わせてください。 カメラの時計情報の合わせ方は P.12 をご覧ください。
カメラから取り込んだファイルをパソコン上で削除した。同じファイルを再度カメラから取り込もうとしたが，取り込まれない	Ricoh Gate L のオプション設定で，［保存時，同じ画像は保存しない］にチェックが入っていると，一度取り込んだファイルはパソコンに取り込まれない。	Ricoh Gate L のオプション設定で，［保存時，同じ画像は保存しない］のチェックを外してください。

G. エラーメッセージが表示されたら

液晶モニターにエラーメッセージが表示されたときは，次の方法で対処してください。

エラーメッセージ	対処法	参照
CARD を入れてください。	カードがセットされていません。カードをセットしてください。	P.13
日付を設定してください。	日付が設定されていません。日付を設定してください。	P.12
FILE NUMBER OVER	ファイル番号の制限を越えています。不要なファイルを削除するか，他のカードをご使用ください。	P.13 P.82
表示できないファイルです。	再生できないファイルを選択しました。	－
容量不足です。コピーしますか。	カードの容量が不足しているため，すべてのファイルをコピーできません。他のカードをご使用ください。	P.89
プロテクトされています。	プロテクトされたファイルを削除しようとしています。	P.85
ライトプロテクトされています。	カードが「LOCK（書き込み禁止）」されています。ロックを解除してください。	P.13
プリント設定できないファイルです。	プリント設定できないファイル（動画など）です。	－
容量不足です。	ファイルを記録できません。ファイルを削除するか，空き容量を確保してください。	P.82
	画像のプリント指定枚数が制限を越えています。どれか画像を選択し，枚数を 0 にしてください。	P.90
内蔵メモリーをフォーマットしてください。	内蔵メモリーをフォーマットする必要があります。	P.95
CARD をフォーマットしてください。	カードがフォーマットされていません。カードをフォーマットしてください。	P.94
使用できない CARD です。	再度フォーマットし直してください。それでもエラーメッセージが表示されるときは，カードの異常が考えられます。そのカードを使用しないでください。	－
メモリー書き込み中	ファイルをメモリーに書き込んでいます。書き込みが終わるまでお待ちください。	－
ファイルがありません。	再生できるファイルがありません。	－
記録できません。	撮影可能枚数が 0 になりました。他のカードや内蔵メモリーに切り替えてください。	－



上記の対処法で改善されない場合は，リコー修理受付センターまたはお買い上げ店までご連絡ください。

H. アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は，保証書に記載された保障期間内で無料修理いたしますので，リコー修理受付センターかお買い上げの販売店にお申し出ください。なお，リコー修理受付センターにご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2. つぎの場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
   ①使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障。
   ②使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理，改造，分解掃除等による故障。
   ③火災，天災，地変等による故障。
   ④保管上の不備（高温多湿や防虫剤の入った場所での保管，電池等の液漏等，カビ発生等）による故障。
   ⑤浸（冠）水，飲物（ジュース，酒類等）かぶり，砂（泥）入り，ショック，落下等による故障。
3. 保証書に記載された保障期間経過後は，本製品に関する修理は有償修理とさせていただきます。なお，その際の運賃諸掛りにつきましては，お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証書の添付のない場合や，販売店名，ご購入年月日の記入がない場合ならびに記載事項を訂正された場合には，保証期間内でも有償修理とさせていただきます。
5. 保証期間内であっても，本製品について各部点検，精密検査等を特別に依頼された場合には，別途実費をお客様にご負担いただきます。
6. 保証の対象となる部分は本体のみでケース，ストラップ等の付属品類および本製品に付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
7. 無償修理期間中であると否とにかかわらず，本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および得べかりし利益の損失）等については補償いたしかねます。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   ＊以上の保証規定は無料修理をお約束するもので，これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
   ＊以上の保証規定は本製品に関する保証書にも同様の趣旨で記載されています。
9. 本製品の補修用性能部品（機能，性能を維持するために不可欠な部品）は，７年を目安に保有しております。なお，期間後であっても修理可能の場合もありますので，リコー修理受付センターかお買い上げの販売店にお問い合わせください。
10. 浸（冠）水，砂（泥）入り，強度の衝撃，落下等で損傷がひどく，故障前の性能に復元できないと思われるもの等は修理できない場合もあります。ご了承ください。



- 修理にお出しになる前に，バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合もございますので，修理には余裕を持ってお出しください。
- 修理にお出しになる際は，故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- 修理にお出しになる際は，修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。
- 大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには，前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださるとともに，使用説明書や予備のバッテリーの携帯等をお勧めいたします。
- 修理にお出しになった場合，SD メモリカードおよび内蔵メモリー内のデータについては保証できません。

リコー修理受付センター

万一，本製品がご使用中に故障した場合は，下記のサービスメニューからお客様がご希望のサービス方法をお選びいただき，記載されている修理受付センターまでお申し込みください。

＊本製品の保証書に記載された保証期間内は，無料修理となりますが，保証書裏面の保証規定第２項の記載に該当する場合は，保証の対象にはなりません。
＊各サービスメニューの対象は，製品本体のみとさせていただきます。
＊本サービスは，日本国内のみ有効です。

● たくはいサービス●



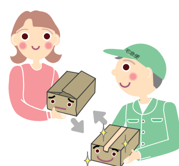
着払い宅配便にてお送りいただくサービスです
リコー修理受付センターにお電話でお申込みいただきますと，その日のうちに梱包材料および送り先を印刷した着払い伝票をお送りします。お送りした材料で梱包し，最寄りの宅配便取扱店へお持ちください。
（期間）宅配便取扱店がお預かりしてから，弊社営業日で 10 日間ですが，修理完成後あらためてお届け日をご連絡させていただきます。
（料金）保証内（無料）修理の場合は料金はかかりません。保証外（有料）修理の場合には修理料金を配達の際に申し受けます。

● ひきとりサービス●



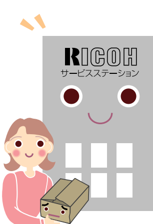
訪問・お預かりサービスです
リコー修理受付センターにお電話でお申込みいただきますと，運送業者がお客様のご自宅（事務所）に訪問し，機械を梱包してお預りします。
（期間）宅配便取扱店がお預かりしてから，弊社営業日で 10 日間ですが，修理完成後あらためてお届け日をご連絡させていただきます。
（料金）初年度保証期間中でも有効ですが，引取り梱包料金 2,000 円を別途申し受けます。
初年度保証期間以後は規定料金に 2,000 円が加算となります。修理料金は配達の際に申し受けます。

● こうかんサービス●



同一機種との訪問・交換サービスです
本サービスは機械を連続してご使用になっていて，修理のためにお預りできないお客様に最適です。リコー修理受付センターにお電話でお申込みいただきますと，お使いの機種と同一機種を運送業者が持参し，交換致します。
※本サービスは初年度保証期間終了後有効となります。
（期間）お申込み日から弊社営業日で３日以内に交換いたします。
（料金）故障内容で決めさせていただいた規定料金に引取梱包料金 2,000 円と交換料金 5,000 円が加算となります。料金は配達の際申し受けます。
※新たにご提供する機械については，新品ではないこと，および外観，色合い等が交換前の機械と同一でないことをあらかじめご了承願います。
※本サービスにより回収した機械のお客様へのご返却はいたしかねます。
※回収する機械のお客様のプライベート情報や，必要なデータ等が残ったままにならないように，十分ご注意願います。
※限定販売品や名入れ・刻印等を施した製品は対象外とさせていただきます。

● もちこみサービス●



サービスステーションへ御持参いただくサービスです
お買い上げのご販売店，または「リコー製品サービス相談窓口」一覧に記載されている最寄りのサービスステーションにお持ちいただいた場合でも修理の受付をいたします。修理期間，料金はお持ちいただいた際におたずねください。

時間帯指定サービス

たくはいサービス，ひきとりサービス，こうかんサービスの各サービスで，修理完成品の配達日の時間帯指定ができます。時間帯は 10：00 〜 20：00 までの間で，時間帯区切りは 2 時間です。

① 10：00 〜 12：00　② 12：00 〜 14：00　③ 14：00 〜 16：00
④ 16：00 〜 18：00　⑤ 18：00 〜 20：00

＊リコー修理受付センターへご連絡の際，お申し込みください。

1. 修理に際し，メモリー等記憶装置内のデータの保存については保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 修理におだしになる前に，バッテリーのチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いします。
3. 修理個所によっては規定以上の日数がかかる場合がございますので，修理には余裕を持ってお出しください。
4. 修理ご依頼の際は，故障内容と故障個所をできるだけ詳しくお申し出ください。
5. 「リコー修理受付センター」は上記取扱商品の故障に関する修理方法，修理期間等のお問い合わせに限らせていただきます。

修理以外の製品に関する機能・性能，使用方法のお問合せ，ご相談は巻末に記載のリコーお客様相談室までお願い申し上げます。

デジタルカメラ相談窓口

相談窓口製品に関する要望、その他お困りの点についてのご相談

リコーお客様相談室　フリーダイヤル：0120-000475
FAX:0120-479417

●受付時間：9：00～17：00（月～金）●土曜・日曜・祝日は勝手ながら休ませていただきます。

インターネットでもご相談をお受けしています。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

デジタルカメラ修理受付窓口

デジタルカメラ修理に関するお問い合わせ

・全国サービス拠点一覧（リコーテクノシステムズ株式会社）
http://www.r-ts.co.jp/kyoten/index.html

・リコー修理受付センター〈デジタルカメラ修理受付センター〉（リコーロジスティックス株式会社）
フリーダイヤル：0120-053956
（宅配便を利用した修理品の受付センター）
●受付時間：9：30～17：00（月～金）●土曜・日曜・祝日は勝手ながら休ませていただきます。

・銀座カメラサービスセンター
〒104-0061　東京都中央区銀座6-14-7（リコー三愛ビル別館）電話03-3543-4187
●受付時間：9：30～17：00（月～金）●土曜・日曜・祝日は勝手ながら休ませていただきます。

リコーデジタルカメラの情報がインターネットでご覧頂けます。
http://www.ricoh.co.jp/dc/index.html